

カリフォルニア州法 試験過去問

⑬ トラスト

2002年から2022年まで

https://lawyer.sakura.ne.jp/inhouse/post_lp/calbar

トラスト

2001年7月カリフォルニア州司法試験エッセイ問題および選択された回答

本書は、2001年7月のカリフォルニア州司法試験で出題された6つのエッセイ問題と、各問題に対する選択解答2つを収録しています。

答案は、合格した応募者が書いたもので、良い成績を収めました。答案は著者が作成し、読みやすくするためにスペルや句読点を若干修正した以外は、提出されたものをそのまま転記した。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

質問番号

目次

- | | |
|----|----------|
| 1. | 民事訴訟法 |
| 2. | リアルプロパティ |
| 3. | エビデンス |
| 4. | けんぼう |
| 5. | トーツ |
| 6. | 遺言書/信託書 |

QUESTION 6

寡婦であったテッドには、デブという子供がいた。エイブ、ボブ、カールの3人の兄弟がいた。

1998年、エイブは子供のアンに先立たれ、亡くなった。そんなテッドのもとに、かつて交際していた女性から手紙が届いた。その手紙には、1997年に彼女が産んだ子供、サムがテッドの息子であると書かれていた。それまでサムの存在を知らなかったテッドは、1998年、自分がサムの父親かどうか疑わしいと返事を書いた。

1999年、テッドは遺言を実行した。遺言は、下部にある証人の署名を除き、すべてテッドの自筆で、テッドが署名したものであった。遺言は、テッドの財産の半分を10年間トラスティ社に信託し、収入は毎年「兄弟に」支払われ、10年後の元金は「私の子供、デブに」渡されることを定めた。残りの半分の遺産は、そのままデブに渡ることになった。テッドが遺言に署名した1ヵ月後、テッドの2番目の兄ボブが、子供のベスに先立たれて亡くなった。

2000年、テッドは亡くなった。テッドの死後、DNA検査でテッドがサムの父親であることが確認された。

デブ、サム、アン、ベス、カールは、テッドの遺産および/または信託に対して、どのような利害関係を有しているか。議論してください。カリフォルニア州法に従って答えなさい。

ろんりよく

In re: エステート・オブ・テッド (T)

まず、遺言の有効性について述べ、次に、信託を含む遺言の条件について述べます。そして、その条件に従って遺産をどのように分配すべきか、そしてその分配がサムの請求によってどのように変化するかについて説明します。

I. 遺言の有効性

カリフォルニア州の法律では、有効な遺言は、遺言者が署名し、遺言の項目を知っている2人の証人の前で同時に署名または証明し、その後遺言に署名する必要があります。さらに、遺言者は、この文書を自分の遺言とする意思を有していなければなりません。

この遺言はTによって署名されたが、適切な立会いがなされていない。つまり、1人の証人しか署名していないように見えるが、法律では2人の署名が必要である。したがって、この遺言は遺言の形式を遵守していない。

しかし、この遺言はホログラフィック・ウィルとして有効です。ホログラフィック・ウィルはカリフォルニア州で有効です。ホログラフィック・ウィルとは、遺言の重要な条項（遺言の意図、分配される財産、意図する受益者）がすべて遺言者の筆跡で書かれているものです（意図は、市販の遺言フォームとして見つけることもできますが、ここでは該当しません）。次に、ホログラフィック・ウィルには、遺言者の署名が必要です。

ここでは、それらの要件が満たされている。遺言書全体はTが書いたもの（証人の署名の下）なので、重要な部分はTの筆跡（意思表示、財産の処分、受益者の指定）であり、Tは遺言書に署名しています。

II. 遺言の条件

遺産の半分はデブ(D)に。残りの半分は、信託に行く。

信託とは、受益者が持つ衡平法上の所有権と受託者が持つ法的所有権を分離した財産の処分のことです。受託者は、受益者の利益のために信託を管理しなければなりません。

A. 信託の有効性

信託が有効であるためには、次のことが必要である。1) 受託者、2) 信託の資金調達、3) 確実な受益者、4) 公序良俗に反しないこと。

ここでは、受託者である株式会社トラスティが指定されています。たとえTrustee, Inc. が実際にはまだ存在していなくても、信託は破綻することはない。信託は受託者がいないからといって破綻することはなく、裁判所は受託者を指名するだけです。

次に、信託は受益者を確認できるものである。受託者は、受益者を特定することができなければなりません。

信託の受益者である。ここで、Debは、受益者の氏名が記載されていないため、受益者を把握できないと主張するかもしれない。しかし、ここでは、クラスギフトが存在する。Tは10年間の信託の収益を "彼の兄弟に "と残している。受託者はその兄弟を特定することができる。

Dは、このクラスギフトが「永続性禁止規則」に違反すると主張するかもしれない。この規則では、持分は、執行時の生後21年で、少しでも権利化されなければならないとされています。ここで、Dは、Tにはまだ多くの兄弟がいる可能性があるとして主張するでしょう。しかし、Tの死後、便宜上、このクラスは閉鎖されるため、持分は確定する。

次に、信託の原資は、死亡時に遺言から信託に移されることである。これは遺言信託と呼ばれ、有効です。

最後に、この信託には不適切な目的はありません。したがって、この信託は有効である。

III. 流通

ここでは、サムスの請求が却下された場合の分配を説明します。サムスの請求がこの分配に与える影響については、後ほど説明します。

A. 遺言でDebの遺産の1/2

Debがこの持ち分をそのまま取得する。

B. 信託の分配。

上述したように、信託の収益はTの兄弟に10年間分配されます。問題は、このクラス贈与をどの兄弟またはその号が分担するかである。

Tが死んだとき、カールはまだ生きていて、エイブとボブはすでに死んでいた。カールは、このクラスの生存者は自分だけなので、1/2の持分をそのまま取得すると主張するだろう。彼は、エイブとボブの持分は失効しているため、失敗したと主張するだろう。

しかし、カリフォルニア州には失効防止法があります。この法律では、次のような場合 **1)**死亡した受益者が遺言者と関係があった場合、**2)**死亡した受益者に問題があった場合、**3)**反対の意図がない場合、死亡した受益者の問題が受益者を代表し、その取り分を取得します。カリフォルニア州では、クラス贈与の場合、そのクラスのメンバーが実行前に死亡し、遺言者がそれを知っていた場合を除き、アンチラプスも適用される。

ここで、BobはTが遺言を執行した1ヶ月後に死亡しているため、法令上、失効防止の適用を受ける資格がある。また、Bobは、T（弟）と血縁関係にあり、issue (Beth) が生

存しており、遺言に遺族条項のような反対の意図がないことから、法令を満たしている。従って、BethはCarlと一緒にクラスに加わる。

しかし、阿部は遺言の執行前に死亡しており、Tがこのことを知っていれば（通常、人は兄弟がいつ死亡するかを知っているので、おそらく知っていた）、阿部は類型贈与の要件を満たさないため、法令による保護を受けることはできません。したがって、たとえ阿部

は、法令を充足しているため、Annは法令を援用できず、クラスには参加しない。

したがって、カールとベスは10年間、信託からの収入を得る権利があります。10年が過ぎると、デブが元本を取得し、したがって遺産全体を取得する。

IV. サムの主張

サムは、自分がTの息子であることを証明できれば、いくつかの主張をすることができる。

まず、サムは自分がTの息子であることを証明しなければならない。生前、サムはTを認めるか、Tを父親とする出生証明書に記載されるか、母親とTの結婚によって生まれることで父性を証明できたが、ここではTの生前、父性は確立されていなかった。Tはサムの母親に「自分がサムの父親かどうか疑わしい」と返事を出し、Tはサムの存在を知らなかったため、二人の関係は保たれなかった。

死後、父子関係を証明することは可能ですが、それは明確で説得力のある存在によるものでなければなりません。ここでは、DNAによりTがSの父親であることが確認されており、これは説得力のある明確な証拠であるため、サムは以下の主張を行うことができます。

1. 早産児

法令上、遺言執行後に生まれた子供でも、遺言で世話にならなかった場合、遺言外で、反対利益がなく、親が遺産のほとんどを遺族に残していない場合は、遺留分をとることができます。

ここで、Sは1997年に生まれました。Tは1998年にそのことを知った。Tが遺言を実行したのは1999年である。したがって、Tが遺言を執行したのはSが生まれた後であるから、Sはこの法令を援用することはできない。

2. 未知の子供

法令により、遺言執行前に生まれた子供で、遺言や遺言外の他の文書で規定されていない場合、遺言者がその子供の存在を知らず、そのために子供が死んでいるか生まれていないと誤解して規定しなかった場合は、遺留分を得ることができることになっています。

デボは、Tが遺言を実行したときにサムの存在を知っていたと主張する。Tは1998年に自分がサムの父親であることを伝える手紙を受け取っている。したがって、サムは法令に基づく資格を得ることはできない。

サムは、Tはサムの存在は知っていたが、サムが自分の子供であることは知らなかったと主張するだろう。この証拠は、Tが死んだ後、DNA検査で初めて明らかになった。サ

ムは、TがSが自分の子供だと知っていれば、TはSを省くことはなかったと主張するでしょう。

しかし、その信念は不作為の原因でなければならない。ここでは、Tはサムに興味がなかったようで、父子関係を確定することも、サムとの関係を確立することも試みなかったため、サムはこの法律の下で資格を得ることはできない。

そうすれば、全財産を配分してもらえることになる。

ロジック

遺言の有効性カリフォルニア州は、カリフォルニア州法または遺言が執行された他州の法律に基づいて有効な遺言の有効性を認めます。ここでは、テッドが死亡し、カリフォルニア州で遺言を実行したと仮定する。

CA州では、認証された遺言、法定遺言、ホログラフィック遺言を認めています。ホログラフィック遺言は、遺言者が署名し、重要な条項が遺言者の筆跡であることが必要である。ここでは、テッドが遺言書に署名し、重要な条項を含むであろう遺言書全体が彼の筆跡であった。したがって、この遺言は有効である。

信託の有効性遺言は信託を作成することができる。テッドの遺言は信託を作成した。信託は以下の条件を備えていなければならない。(1) 能力のある設定者。テッドは設定者であり、能力を有している。(2) 設定する現在の意思。テッドは、自分の遺言で信託を設定することを意図していた。(3) 信託財産が存在し、確認されていること。テッドの財産はこの要件を満たしている。(4) 永続性のルールの範囲内で存在する受益者。テッドのすべての規定は、受益者が10年以内に取り取ることを要求している。したがって、すべての受益者が永続性の規則の範囲内で存在することになる。(5) 有効な目的：親族のための信託は、有効な目的である。さらに、Tedにはすでに受託者がいる。信託は有効である。

アン、ベス、カール

カール：カールは、指名されたクラスの生き残りメンバーなので、間違いなく信託収入の分け前を取ります。「テッドの兄弟」である。しかし、彼の取り分は、他の皆の主張次第である。

ベス：ベスが持つあらゆる権利は、彼女の父、ボブに由来するものです。ボブはテッドに先立たれた。従って、Bobとその子供は、この証書では権利を得られない。しかし、ベスはCAアンチラプスに従うことができる。アンチラプスは、受益者が遺言者に先立たれた場合（注：アンチラプスは信託を含む全ての遺言書に適用される）、反対の意図がない限りその人の子が自分の取り分を取るというものである。クラスギフトはAnti-lapseに含まれます。従って、Bethは父Bobの取り分を取ることになります。(Anti-lapseについてはAnnを参照)

Ann：Abeの娘をBethとする以外は、Anti-lapseまで同じ分析。クラスギフトが行われ、その際にクラスメンバーの一人が死亡していた場合、遺言者がその人が死亡していることを知っていれば、その人には消滅防止が適用されないという例外もある。

ここで、テッドは1999年に遺言を作成する際、弟のエイブが死んでいること（エイブは1998年に死亡）を知っていた可能性が高い。さらに、エイブはクラスギフトのメンバー

である。したがって、テッドがエイブの死を知らなかった場合を除き、アンは取得せず、アンチラプスの取り分を取得する。

デブ：信託と遺言が有効であるため、デブは証書に記載された株式を取得する。しかし、サムスの請求により、彼女の取り分が変更される可能性がある。

Sam：Samは計器に基づく取得はしない。SamはCAのOmitted Childの下に引き取ることができる。

規定があります。テッドは2000年に死亡したため、省略された子供の規定はすべての遺言文書に適用されます。

省略された子とは、文書の執行後に生まれた子、死んだと思われる子、または遺言者が生まれたことを知らない子をいいます。

ここで、テッドはサムのことには知っていたが、サムが自分の子供であることは知らなかった。しかし、証書執行後、実際にはテッドの死後、DNAによりサムがテッドの子供であることが証明された。したがって、サムは、執行後に生まれたと仮定して、あるいは生まれたことを知らなかったと仮定して、その資格を得ることができる。テッドにとってサムは生まれたことを知らなかったのだから、これらの議論のいずれかが成立するはずである。

従って、TedがSamを証書外で規定し、除外することを意図し、またはほとんどの財産を生存している親に与えた場合を除き、Omitted Childの規定が適用されるべきです。

デボは、テッドがサムのことを知っていて、サムが父親であることを疑っていたから、テッドはサムを除外するつもりだったのだと主張するだろう。テッドはサムが自分の子供であることを知らなかったし、他の例外も該当しないので、デボの主張はおそらく失敗するだろう。

したがって、サムは、遺留分である省略された子供の取り分を取る可能性が非常に高いです。


サムの遺留分。テッドには生存配偶者がいなかったため、テッドの扶養家族が彼の遺留分継承者となる。テッドにはデブとサムの2人の嗣子がいた。遺留分はそれぞれテッドの財産の1/2である。ただし、デブは遺言により相続するため、遺留分にはならない。

サムの取り分。信託に入る前の遺産の1/2、または、彼が省略された子供である場合はDebに。そうでない場合、彼は何も得られない。

概要

1. ベスとカールは、テッドがエイブの死を知らなかった場合を除き、10年間の信託収入を分割する可能性が高い。その場合、アン、ベス、カールが収入を分け合うことになります。
2. Debは10年後に信託の元本を取得し、Samの利益を条件として遺産の1/2をそのまま取得する。

3. サムは、他の処分が行われる前に、遺産の $1/2$ を取得する可能性が高い。あるいは何も取らない。

The seal of the State Bar of California is a circular emblem. It features a central shield with an open book and a scale of justice. The shield is flanked by two figures holding a banner. The outer ring of the seal contains the text "STATE BAR OF CALIFORNIA" at the top and "JULY 29th 1927" at the bottom.

カリフォルニア州弁護士試験

エッセイの質問と
回答例 2002年2月

質問4

カリフォルニア州在住のRichardは、1998年、弁護士でもある妻のAliciaの勧めで、取り消し可能な生前信託を作成した。Aliciaは信託文書を作成した。

リチャードは自分の別個の財産をすべて信託に譲り渡した。信託証書には、信託を管理し、その資産を投資する全権限を持つ受託者としてアリシアが指名された。信託の条項により、リチャードは生前の収入のすべてを受け取るようになっていた。彼の死後、彼の前婚の子であるブライアンとアリシアの前婚の娘であるセリアは、収入か元本かを問わず、受託者の裁量で適切と思われる金額を生涯にわたって受け取ることになる。最後の収入受益者の死亡時に元本が残っていれば、ブライアンとセリアのその時生きている相続人に平等に分配されるようになっていた。セリアを信託の受益者に加えたのは、アリシアがリチャードに、セリアによる訴訟の可能性を避けるために必要であると説得した後であった。

セリアは10thの誕生日から1990年に21歳で大学を卒業するまで、アリシアとリチャードと暮らしていた。リチャードは一度、セリアの養子縁組に興味を示したが、実の父親が同意を拒んだため、養子縁組をすることができなかった。しかし、セリアの大学卒業後は、リチャードともアリシアともほとんど連絡を取ることとはなかった。

信託設定後、リチャードが活着している間に、アリシアは信託財産の2分の1を新しく設立された遺伝子工学会社Gencoに投資した。信託財産の残り2分の1は、自分がパートナーであった法律事務所に市場実勢金利で貸し付けた。

Richardは2000年に死亡し、Alicia、Brian、Celiaが生存している。ブライアンはアリシアの信託資産の扱い方に憤慨し、信託の無効を宣言するか、あるいはアリシアを受託者として解任し、信託の損失を補償するよう求める。

1. Brianは、カリフォルニア州法上、どのような理由で信託を無効とすることができるのか、また、Brianが成功する可能性はどの程度あるのか。議論してください。

2. ブライアンは、アリシアを受託者から解任し、信託の補償を要求するために、カリフォルニア州法上どのような根拠を主張できるか、また、ブライアンが成功する可能性はどの程度あるか。議論してください。

3. 弁護士として、受託者としての立場とは無関係に、アリシアは職業上の責任に関する規則に違反したか。議論してください。

だいよんとう

第1回 ブライアン（以下「B」）が主張できるカリフォルニア州法上の信託無効事由とその成立可能性

問題は、カリフォルニア州法に従ってリチャード（以下「R」）が設定した信託に、Bがその設定に法的欠陥があり、信託が無効であることを主張できるかどうかである。信託が有効に設定されるためには、設定者は、有効な法的目的のために、特定の受益者の利益のために信託資産（res）を受託者に渡さなければならない。事実によれば、詐欺罪の問題を満たす信託証書が締結され、設定者であるRは、その別個の財産を信託に譲渡している。従って、resの要件は満たされている。カリフォルニア州の裁判所は、受託者がいないことを理由に信託を無効にすることはないが、受託者が1人しかおらず、その受託者が唯一の受益者でもある場合は、信託を無効とすることができる。ここでは、RがAlicia（以下「A」）を受託者として指定し、受益者は当初R、次にBとCecilia（以下「C」）、そしてその他となっている。最後の法的ハードルは、信託に有効な法的目的があることです。このケースでは、結婚の禁止など、法律で嫌われる行為を制限するものではないので、その目的は有効である。

事実によれば、Rの信託は有効に設定されたものである。信託を無効にするためのBの最善の主張は、Rが（1）不当な影響力および（2）詐欺により信託を設定する遺言能力および意思を欠いていたということである。Bは、この根拠で成功する可能性が高い。不当な影響力については、Bは、弁護士であるAが信託文書を作成し、Rに信託を設定するよう促したという外形的証拠を指摘するだろう。コモンローによれば、信託や遺言の受益者は、親族で同じ家に住んでいる場合を除き、信託の起草を行うことは（中略）禁止されている。AはRの妻であり、Rと同居しているため、この例外を満たしているが、Aは外部の弁護士に依頼して、その文書を確認すべきであった。Bが不当な影響力の主張で成功するためには、強い影響力がなければRが信託を締結し、そこに記載された特定の分配を行うことはなかったということを示す必要がある。事実を考慮すると、Bが不当な影響力の証明に成功することは困難である。

Bの他の訴因は、より強力なもので、信託の設定における詐欺である。詐欺を主張する場合、Bは、AがRを信託に加入させるために意図的に事実誤認を行い、Rがそのような表明を信頼したことを証明しなければならないだろう。この要件は、本件では満たされている。事実は、Cが信託の受益者に含まれたのは、Cによる訴訟の可能性を回避するために必要であるとAがRを説得した後であることを示している。Aは、Rが娘として正式に養子縁組も認知もしていない連れ子のCを信託の受益者に含めるようRを誘導するために、明らかに法律を詐称し、必要な科学性を有していた。詐欺の要件が満たされているため、Bは、信託または少なくともCに利益を与える信託の条項を無効にすることに成功する可能性が高い。

第2回 カリフォルニア州法に基づきBが主張できるアリシア（以下「A」）を受託者から解任しAに補償を求める根拠とその成功可能性

受託者としてのAの権限は、信託証書で明示的に付与される場合と黙示的に付与される場合があります。また、受託者であるAは、受託者としての義務、主に注意義務、忠実義務を負う。信託ではAの権限について具体的に説明されていないため、Aの善管注意義務と忠実義務に注目する必要があります。Aの注意義務は、慎重な投資家ルールと表現され、Aが自己の財産を投資する合理的な投資家の程度の注意、技術、慎重さを行行使することを要求しています。プルードント・インベスター・ルールでは、受託者は、特に、信託の収益生産力を維持しながら、信託資産を分散し、リスクの高い投資を回避することを要求されます。

本件では、Aは、Rを含む他の受益者に対する善管注意義務に違反し、信託財産の50%を新たに設立した遺伝子工学会社Gencoに投資し、残りの50%を自分がパートナーである法律事務所に市場実勢金利の借金の形で投資した。これらの投資判断は、いずれも慎重な投資家が決定するような判断ではありません。第一に、Aは、50%と50%の投資に代表されるように、信託の資産を分散させていないことである。第二に、設立されたばかりで、一定期間の営業成績が公表されていないGenco社への投資は、非常にリスクの高い投資である。ほとんどの金融機関や賢明な投資家は、新会社の株式は、営業成績や長年の財務報告の公開がないため、避けるように投資家に助言する。違反した

この

の基本的なルールは、新しく設立された遺伝子工学の会社に**50%**の資金を投資することである。事実上、**Genco**社が公開企業であることは示されておらず、非公開企業は投資家保護を目的とした会計・財務上の制約や開示の多くを受けないため、この投資のリスクはさらに高まった。最後に、**A**は、残りの**50%**の資金を、実勢金利で法律事務所に対する債務として投資した。この投資は、同じ金利の銀行に資金を預けるよりもリスクが高い。後者の選択肢がある場合、**R**の別財産をよりリスクの低い投資先に投資しなかったことで、**A**も**A**の注意義務に違反した。

Bは、**A**が忠実義務に違反したと主張することもできる。忠実義務とは、受託者が信託に対して分け隔てなく忠実であり、受益者を害するような取引を信託に対して行ってはならないとするものである。本件では、**A**は、**A**がパートナーである法律事務所に対して信託財産の貸付を行った。前項で述べたように、より安全な投資先やより収益性の高い投資先が存在する可能性があったため、これは受益者の不利益となるものである。

Aは注意義務と忠実義務に違反したため、**B**は**A**を受託者として解任し、信託を補償するよう要求する強い主張を持っています。受託者がこれらの義務に違反した場合、受託者を解任することができるだけでなく、受益者は、以下のことを見ることができます。

(1)受託者が行った取引を追認する、(2)受託者に課徴金を課す（受益者の損失を補償する）、(3)信託財産を追跡して当該財産を回収する。**A**のジェンコへの投資やローンへの

投資の結果は分からないので

しかし、**B**は**A**に対して信託の損失を補償するよう求めているため、**B**がそのような選択肢を自由に選べることは明らかです。また、裁判所は別の受託者を任命する権限を有しているため、信託証書で指定された別の受託者がいないことを理由に**A**を受託者として解任することに躊躇することはないでしょう。

第3部.**A**による職務上の責任に関する規則違反の可能性について

Aは、弁護士として、管財人としての立場とは無関係に、職業上の責任に関する多くの規則に違反した。まず、**A**は**R**に対して忠実義務を負っており、これは、**A**が依頼者である**R**の最善の利益のために行動すべきであり、彼女自身の個人的利益が彼女の代理に悪影響を及ぼしてはならないことを意味する。そのような個人的またはその他の利害が代理に影響を及ぼす場合、**A**は、自分の個人的および起こりうる利益相反が**R**の代理に悪影響を及ぼさないと合理的に考え、**R**が相談を受けて状況を説明し、同意した場合のみ、**R**を代理することができます。カリフォルニア州法に基づき、このような同意は書面であるべきである。このケースの事実によると、**A**は受託者に指名され、**A**の娘が受益者であったため、潜在的な対立があった。これは潜在的なコンフリクトではなく、実際のコンフリクトであった。また、**A**は**R**の同意を求めたり、紛争について助言したりはしていない。実際、**A**は紛争をよく理解しており、**R**が**C**を受益者として含めるように意図的に**R**に嘘をつき、信託証書の作成を継続した。このようなコンフリクトがあることを知らされたとき、**A**は撤回するか、**R**に他の弁護士に代理を依頼するよう求めるべきだった（少なくとも、信託証書に関する外部の弁護士の意見を聞くべきだった）

o

信託証書)を作成した。この利益相反のため、**A**は**R**に対する忠実義務に違反した。

Aはまた、能力義務に違反した。弁護士は、依頼者の利益を守るために必要な法的知識、技術、準備、徹底を持つべきである。本件では、**A**は、**R**への助言に反映されるように、そのような知識を有していなかった。**A**は、利益相反を考慮して**R**の弁護士を辞退し、**C**を含めないことの法的結果について**R**に助言すべきでなかった。

最後に、**A**は嘘をついたり、依頼者を欺いたりしてはならない義務を負っているため、不正行為を行った。**A**は、裁判所の役員として、**R**に対して、**C**を信託に含める必要があると告げることで、弁護士としての役割を意図的に濫用してはならなかった。このような意図的な法の不告知は、職業上の責任に関する規則に違反する違法行為である。

これらの職務上の責任に関する規則に違反する行為であるため、**A**はその行為を非難されるべきである。

ロジック

1. ブライアンの信託無効事由について

妻の勧めで、Richardは自分の別個の財産を明示的に生前信託し、その財産からの収入を自分の余生の間、そして自分の死後は自分の子供たちに渡すことができるようにした。ブライアンは、(1) 信託が有効に成立していないこと、(2) アリシアがリチャードに対して不当な影響力を行使し、リチャードの死亡時に別個の財産を信託で処分する際に彼の意志を打ち消したこと、(3) セリアに関するアリシアのリチャードに対する不実表示により信託が無効であることを主張できる。

信託の要件

ブライアンは、まず、生前贈与信託が有効に設定されていないことを主張することができる。

カリフォルニア州法では、有効な生前信託には、(1)信託を設定する意図、(2)財産の交付（推定的交付を含む）、(3)財産（信託に入れるべき財産Trust assets）、(4)指名した確認できる受益者、(5)受託者、(6)有効な合法的目的、が必要とされています。

今回のケースでは、有効な信託の要件が満たされていると思われる。Richardは妻の勧めで信託を設定したが、実際には信託を設定する意図があったと思われる。さらに、Res、Brian、Celiaとその相続人が確実な受益者に指名されたため、彼の別個の財産は

信託に移された。

アリシアは受託者として指名され、信託目的（リチャードの子供たちのために提供すること）は合法的なものである。したがって、この信託は、有効な信託の要件を表面的に満たしていると思われる。

不当な影響力

しかし、ブライアンは、アリシアが不当な影響力を行使したため、信託は無効であると主張する。

(1)リチャードに別個の財産を信託するよう促し、(2)リチャードの意思に反して、信託財産を連れ子のセリアに残すよう説得したことである。

カリフォルニア州法では、遺言による処分が不当な影響の結果であった場合、無効となる。不当な影響を証明するために、ブライアンは、(1)アリシアがリチャードに対して影響力を行使したこと、(2)リチャードの遺言がアリシアの影響により黽となったこと、(3)影響力がなければ、処分は異なっていたことを示す責任を負っています。しかし、当事者が遺言者に影響を与える能力を有していたこと、およびその動機の証明は、それ自体で不当な影響を証明するには不十分である。

本事例では、アリシアはリチャードに対して、彼の別個の財産を信託するよう促した。この事実は、彼女がリチャードに対して影響力を行使しようとしたことを示しているが、この働きかけによってリチャードの意思が覆されたこと、あるいはリチャードが既に自分の意思で信託を作成することを望んでいなかったことを指摘する事実はない。

さらに、リチャードはセリアを信託に入れたくなかったが、アリシアが、そうしないと訴えられるかもしれないからと説得した。これは、より近い判断である。

この場合、アリシアはリチャードに誤った法的助言を与えることで影響力を行使し、リチャードはその影響力のみに基づいて考えを変え、アリシアの勝手な助言がなければセリアを信託に組み入れることはなかったと考えられます。裁判所や事実認定者が、アリシアが不当な影響力を行使したと考える場合、セリアを信託に含めることは無効となり、信託は無効とされる可能性があります。

虚偽表示

また、ブライアンは、アリシアのセリアに関する虚偽の説明は、リチャードが信託を作成しセリアを含めるように仕向けた詐欺であると主張する予定です。

信託が虚偽の説明に基づいていたことを証明するために、ブライアンは以下のことを示す必要があります。

(1) アリシアがリチャードに対して重要な虚偽の情報を提供したこと、(2) アリシアがその情報が虚偽であることを知っていたこと、(3) リチャードが実際に虚偽の情報に依拠したこと、(4) リチャードの信頼が正当なものであること、および (5) 損害賠償。

本件では、アリシアは、セリアがリチャードに対して訴訟を起こす根拠がないことを知りながら、それでもリチャードに対して、訴訟を避けるためにセリアを信託に組み入れるべきであると述べた。リチャードは、この助言に依存して、実際にセリアを信託に組み入れたが、その信頼は、妻が弁護士であり、自分は弁護士ではないので、妻の法的助

言を合理的に信頼することから正当化される。本件の損害は、**Celia**が不当に信託に加えられたことに起因するものである。

この虚偽の説明に基づいて、信託全体が無効とされるか、セリアに関する条項が無効とされるかは、微妙なところである。RichardはBrianとその相続人のために信託を作成するつもりであったと思われ、虚偽表示以前から信託を作成するつもりであったと思われる。したがって、Celiaへの贈与は虚偽表示に基づいて無効とされる可能性が高いが、信託そのものは取り消されない可能性が高い。

2. アリシアの管財人としての解任と免責

アリシアは信託財産の半分を新しいバイオテクノロジー企業に投資し、残りの半分を自分の法律事務所に貸与した。彼女の受託者としての行為に基づき、ブライアンは彼女を解任し、信託を補償させるべきといういくつかの主張を持っている。

受託者の権限

コモンローの下では、受託者は信託財産を売買する権利はあるが、信託のために借りたり、信託から資金を貸し付けたりする権利はないものとされていた。しかし、現代の傾向では、受託者は一定の状況下で、信託の利益のために資金を貸し借りする権利を有するとされています。

ブライアンは、アリシアには信託財産を融資する権限がないのに、自分の法律事務所に資金を融資したため、受託者としての義務を逸脱したと主張することができる。しかし、現代の傾向では、受託者は信託財産を貸し付ける権利があるからだ。

(ただしアリシアの法律事務所への融資に関する自己取引／忠実義務については後述する。) Brianはこの の議論に負ける可能性がある。

ダイバーシティ信託財産への義務

ブライアンはまた、アリシアが信託財産を分散させるという受託者としての義務に違反したと主張するだろう。受託者は、信託財産を枯渇させないために分散させる義務がある。

今回のケースでは、アリシアは信託財産の半分をリスクの高い1つの会社に投資し、残りの半分を自身の法律事務所に融資していた。このように、彼女は信託財産を適切に分散投資することを怠り、2つの投資のうち1つが損失を被った場合、信託財産が枯渇する危険性を孕んでいた。したがって、アリシアはこの義務に違反した。

投機回避の義務

ブライアンはまた、アリシアが信託財産の投機や危険な投資を避ける義務に違反したことを主張する予定です。受託者は、信託財産を投機したり、信託財産を失うことを危惧するようなリスクの高い投資に回したりすることを避ける義務がある。慎重な投資家ルールでは、受託者は、合理的に慎重な人が自身の事業資産を管理する際に行うように行動しなければなりません。

今回のケースでは、アリシアは信託財産の半分を、投機的な新しいバイオテクノロジー企業に投資した。アリシアが実際にこの会社が良い会社だと信じていたかどうかにかかわらず、新しい、テストされていないバイオテクノロジー企業は、本質的にリスクのある投資である。 において

アリシアは、信託資金の半分をこの会社に投資することで、合理的に判断できる投資家としての行動をとらず、投機回避義務に違反したことになります。

信託財産の生産性を維持する義務

また、受託者は信託財産の生産性を維持する義務を負っている。この場合、アリシアは信託財産の半分を自分の法律事務所に貸与した。この融資がどのような収益率になるかは不明ですが、もしそれが相当なものでない場合、あるいは適切に投資された場合に得られる収益を下回る場合、アリシアは信託財産を生産的に保つという義務に違反したことになります。

公平性の義務

また、受託者は、ある受益者を他の受益者より優遇しない公平な義務を負っている。今回のケースでは、**Celia**は**Alicia**の娘であり、**Brian**は**Richard**の前妻との間に生まれた子である。

したがって、アリシアはブライアンよりもセリアを優先することはできない。さらに、アリシアは、将来の受益者のための信託財産を危険にさらす危険を冒してまで、セリアの生存中に信託財産に利益をもたらすために、リスクの高い投資を試みることはできません（信託収入の生涯利益を有する）。クイックプロフィット（バイオテクノロジー企業）のために危険な投資をすることで、アリシアはこの義務に違反しているように見える。

受託者の忠実義務

アリシアが違反した主な義務は忠実義務である。受託者は、信託財産を自己売買したり、信託財産を自己のものと混同したりしない義務を負っている。今回のケースでは、アリシアは信託財産の半分を、自分がパートナーである法律事務所に貸し付けた。したがって、アリシアは、自分が持分所有者である企業にお金を貸したので、混同や自己売買を避ける義務に違反した。

損害賠償

ブライアンには、アリシアの受託者としての義務違反に対する損害賠償を受けるためのいくつかの選択肢があります。まず、アリシアが行った投資で信託に利益をもたらし、利益を上げたものについては、その行為を承認し、その収益を得ることができます。アリシアが行った取引のうち、損失を出したものについては、ブライアンは受託者に課金することができ、彼女はその損失を信託に補償する必要があります。最後に、アリシアの法律事務所への融資のような自己売買については、ブライアンはその資金を追跡し、信託に返還させることができる。

3. **Alicia**の職務上の責任に関する規則違反 **Alicia**は、職務上の責任に関するいくつかの規則に違反した。

忠誠の義務

まず、弁護士は、依頼者に対して利益相反を回避する忠実義務を負っています。利益相反は、弁護士の、第三者に対する、あるいは他の依頼者に対する義務や利益が、依頼者に重大な不利益を与える、あるいは直接的に不利益を与える場合に発生する。がある場合です。

潜在的な利益相反がある場合、弁護士は、(1)依頼者に有効な代理を提供できると弁護士が合理的に信じる場合、(2)弁護士が依頼者に相反の性質を知らせ、(3)依頼者が同意し、(4)その同意が妥当である場合に限り、その問題で依頼者を代理できる。

本事例では、アリシアは、娘を養うという自身の利益が代理に影響を及ぼす可能性があるため、受託者として、またリチャードのために信託文書を作成することに利益相反があった。(このことは、彼女がリチャードにセリアを遺言に含めるための法律について誤った情報を与えたという事実によって証明された)。対立があったにもかかわらず、アリシアはリチャードに対立を知らせず、リチャードは同意せず、与えられた事実の下では、彼がした同意は不合理であっただろう。

また、弁護士は、依頼者のために、弁護士または弁護士の近親者に贈与や献身を与えるような文書を作成してはならない。アリシアは、アリシアの娘であるセリアに信託の権利を与える遺言信託を作成したことで、この義務に違反した可能性があります。弁護士が依頼者の親族である場合には例外がありますが、アリシアの詐欺行為と娘への贈与を考えると、この例外は適用されないかもしれません。

コンピテンスの義務

また、弁護士は、依頼者に対して、その依頼者の利益を増進するために、精力的かつ有能に行動する能力的義務を負っています。この義務の下、弁護士は有能な法的助言を与え、クライアントの利益を精力的に増進し、倫理規則に違反するような場合は事件を受

任しない義務があります。 アリシアはリチャードの利益を増進させませんでした。

の利益があり、利益相反のため、本証券の起案を拒否すべきであった（前述）。

品位・礼節の義務

品位と礼節の義務の下、弁護士は虚偽または誤解を招く法的助言を提示しない義務がある。アリシアは、リチャードに対して、セリアが遺言に含まれないと法的請求権が発生すると虚偽の説明をしたとき、この義務に違反しました。これは、不法な不実告知（上記参照）にも該当する可能性があります。

2004年7月カリフォルニア州司法試験論文式問題お

よび選択解答

本書は、2004年7月のカリフォルニア州司法試験で出題された6つのエッセイ問題と、各問題に対する選択解答2つを収録しています。

答案は、合格した応募者が書いたもので、良い成績を収めました。答案は著者が作成し、読みやすくするためにスペルや句読点を若干修正した以外は、提出されたものをそのまま転記した。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

<u>質問番号</u>	<u>目次</u>	<u>ペー ジ</u>
1.	刑事法	1
2.	けんぽう	12
3.	遺言書・信託書	22
4.	エビデンス	33
5.	プロフェッショナルの責任	44
6.	タルト	51

質問3

熱心なスキーヤーであるハンクは、娘のアンと一緒に州Xに住んでいた。ハンクの最初の妻、アンの母親は数年前に亡くなっていた。

1996年、ハンクは2番目の妻であるワンダと結婚した。その後、X州に居住していたハンクは、信託を設定し、「私の財産の5%を受託者に渡し、私の死後10年間、私の死の直前の12ヶ月間に私と最も頻繁にスキーに行った人にほぼ均等に分割して支払う」という遺言を作成した。遺言書には、受託者の名前はありませんでした。遺言では、ハンクの残りの財産は、ワンダが生存している場合、すべてワンダに残されました。遺言書には、アンのことは書かれていませんでした。ワンダは、遺言の2人の証人のうちの1人であった。X州の法律では、受益者が立ち会った遺言は無効である。

1998年、ハンクとその家族はカリフォルニアに永住した。そして、ハンクは、ワンダの先妻との間の未成年の息子であるカールを合法的に養子にしました。

2001年、ハンクは足の大怪我のためにスキーを完全に諦め、代わりに釣りを始めました。その後2年間、彼は熱心な釣り仲間であるフレッドと何度も釣りに出かけた。

2003年、ハンクが亡くなりました。

検認手続きにおいて、ワンダは遺言によりハンクの全財産を請求し、アンとカールはそれぞれ遺産の遺留分を請求し、フレッドは裁判所がサイ・プレの原則を適用して自分を信託の受益者とすべきと主張する。

1. カリフォルニア州の法律では、裁判所はどのように裁定すべきなのか。
 - a. ワンダの主張？議論してください。
 - b. アンの主張？議論してください。
 - c. カールの主張？議論してください。
2. 裁判所はフレッドの主張に対してどのような裁定を下すべきでしょうか。議論してください。

質問3に対する回答A

3)

1. カリフォルニア州法の下で、裁判所の判決で

A. WANDA'S CLAIM

ワンダは、遺言は有効であり、したがって遺言に記載されたハンクの財産の少なくとも95%を受け取る権利があると主張することになる。

1. 遺言の有効性

a. 法律の選択

遺言が有効かどうかを判断するためには、まずどのような法律が適用されるかを決める必要があります。事実は、**Hank**がカリフォルニアに住んでいるときに死亡したというものです。遺言は、それが執行された州、執行時に遺言者が居住していた州、または遺言者が死亡した州において有効であれば、有効となるであろう。遺言は**X**州において、ハンクが**X**州に居住している間に執行された。事実上、遺言は**X**州では無効となるが、ハンクが死亡時に居住していたカリフォルニア州では必ずしも無効とはならない。以下、カリフォルニア州における遺言の有効性について考察する。

b. 認証された遺言の要件

カリフォルニア州法では、認証された遺言が有効であるためには、利害関係のない2人の証人の立会いのもと、遺言者が署名する必要があります。利害関係のある証人とは、遺言に基づく受益者である証人のことです。証人が「利害関係者」である場合、遺言書全体が無効になるわけではありませんが、利害関係者の証人が受け取った部分は無効であると推定されます[sic]。

このケースの事実の下では、**Wanda**は遺産の95%を受け取ることになっていました。また、彼女は遺言の2人の証人のうちの1人であった。したがって、彼女に残された部分は無効であると推定されます。もし**Wanda**がこの推定を覆せなかったとしても、何も残らないわけではなく、むしろ遺言に基づく遺留分の権利は残ります。

c. ワンダの遺留分

遺留分では、配偶者は、被相続人が遺族を残しているかどうかに応じて、すべての共有財産と、亡くなった配偶者の別居財産の少なくとも3分の1から最高ですべてを受け取る権利があります。今回のケースでは、**Hank**は**Ann**と**Carl**を残している。2人の子供が残された場合、遺言者の遺産は1/3の割合で配偶者と2人の子供に分割されます。し

たがって、WandaはHankの残りの財産の1/3を取得することになります。

B. ANN'S CLAIM

1. 省略された子供

アンは、自分は省略された子供であり、遺言が全体として有効と判断された場合、他の利害関係は消滅し、ハンクの遺産の遺留分を受け取るべきであると主張するだろう。しかし、アンは、ハンクが遺言を執行する前に生きていて、その存在を知っており、遺言に規定されていなかったのので、アンはこの主張で不成功に終わるだろう。

2. 遺留分

したがって、アンは、前述のワンダへの贈与は無効であり、このようにして残りの持分の遺留分を得る権利があると主張することになる。前述のように、アンは遺留分によってハンクの財産の1/3を得る権利を有することになる。

C. カール・クライム

1. 早産児

カールは、まず、遺言執行後に養子縁組をしたため、自分が先天性の子供であることを主張します。したがって、ワンダへの贈与が有効であれば、ワンダの利益は遺留分を考慮して減殺されるべきであると主張することになる。しかし、アンが遺言から除外されたことは、自分の遺産の一部を子供たちに贈与しない意思を示す証拠となるため、カールの利益を害することになる。

2. 遺留分と養子縁組

したがって、カールは、ワンダへの遺贈は無効であり、遺留分によって遺留分の一部を取得する権利があると主張することになります。カリフォルニア州法では、養子は血縁のある子供と同じように遺留分として扱われるため、カールがハンクの血縁のある子供ではなく養子であることは、カールの相続分に影響しない。

2. フレッドさんの主張に対する裁判所の判断

ハンクの遺言には、信託も含まれていました。これは、注連続遺言と呼ばれるものです。注ぎ足し遺言が有効であるためには、有効な信託の要件を満たしている必要があります。

A. 信託の有効性

1. 必要条件

信託が有効であるためには、1) 受益者が確定していること、2) 設定者、3) 受託者、4) 有効な信託目的、5) 信託を設定する意図、6) 信託財産があることが必要です。

(res) 、7) 配信される。

2. トラスティの欠如

事実関係では、信託は受託者を欠いている。しかし、裁判所が信託を管理するために受託者を任命することができるので、受託者の欠如は致命的ではありません。

3. 信託財産

信託財産は、遺言で "私の財産の5%...私の死後10年間にわたりほぼ均等に分割して支払われる..."と明確に特定されています。したがって、この要件は満たされている。

4. 配送について

ハンクの遺言に信託を含めることで、引渡しの要件は満たされる。

5. 受益者不確定

受益者の名前がないことが、信託の最大の問題点です。信託が有効であるためには、受益者が確認できる必要があります。今回のケースでは、受益者の名前はなく、「私が亡くなる前の12ヶ月間、最も頻繁に私とスキーに行った人」と説明されています。裁判所は、遺言書に受益者の名前が明記されていない場合、受益者の身元を確認するために、以下のような様々な方法を用いることができます。例えば、「参照による取り込み」や「独立した意義のある事実」などです。本事例では、いずれも参考にならない。

参照による取り込みは、遺言者が、遺言の時点で存在し、明確な識別がなされ、取り込む意思がある場合に、その文書や文章を遺言に取り込むことができるものです。本事例では、受益者の同一性が現存していなかった。したがって、この方法は、受益者を確認するための支援にはならない。

独立した意義のある事実は、外部のものを遺言に取り込むためにも利用できます。ハンクと最も頻繁にスキーをしていた人物の身元は独立した意味を持つが、ハンクは足に重傷を負い、スキーを断念したため、ここではほとんど役に立たない。したがって、この方法も受益者の身元を確認するのに役立たない。

受益者が確定していない場合、結果信託が発生します。つまり、信託財産は設定者の財産に戻る。

5. Cy Pres

しかし、フレッドは、サイ・プレの原則に基づき、この財産は不要であると主張するでしょう。

は、設定者の遺産に戻されるのではなく、本人に渡されるべきものです。

Cy presとは、慈善信託が受益者の欠如やその他の非現実的な理由で破綻した場合、裁判所は**cy pres**を適用して信託財産を信託目的に合致する別の慈善団体に付与すべきとする教義である。

今回のケースでは、フレッドは信託の目的がレジャースポーツと仲間意識を高めることであったと主張するだろう。フレッドは釣りをスキーと比較し、この2つのアクティビティは友人たちが集まって楽しむ機会を提供するという点で類似していると主張することでしょう。したがって、この2つの目的は非常に似ており、フレッドはハンクと何度も釣りに出かけていたため、フレッドは信託財産を受け取る権利があるはずだと主張するでしょう。

しかし、**cy pres**が適用されるためには、信託の目的が慈善的でなければならぬ。エリザベス憲章やコモンローの下では、フレッドがどのように定義しようとも、この信託の目的は慈善的なものではありません。飢餓の緩和、病人の救済、教育の向上、健康増進などではない。したがって、サイプレの原則は適用されず、結果信託が発生することになります。したがって、5%はハンクの財産に残り、それに応じてワンダ、アン、カールに分配されることになります。

したがって、フレッドは何も得られず、ワンダ、アン、カールはそれぞれハンクの別個の財産の1/3を得、ワンダは彼女とハンクの共同財産のすべてを得ることになります。

質問3の回答B

3)

1. カリフォルニア州の法律では、裁判所はどのように裁定すべきなのか。

a. ワンダ

ワンダ (W) は、遺言によりハンク (H) の全財産を受け取る権利があると主張する。その主張をするためには、まず遺言が有効であることを証明する必要があります。

有効な遺言？

法律の選択

遺言はX州で執行され、X州の法律では、受益者が立ち会った遺言は無効となるため、この遺言は無効となる。Hの遺留分を受け取る受益者であるWは証人の一人であるため、X州の法律では遺言は無効となる。

しかし、当事者は引っ越しをしてカリフォルニアに居住するようになった。カリフォルニア州法では、遺言が執行された場所、遺言が執行されたときに被相続人が居住していた場所の法令に準拠しているか、被相続人が死亡したときに居住していた法域の法令に準拠していれば、遺言は有効である。

ここで、X州の法律では遺言は無効であるが、Hは死亡時にカリフォルニア州に居住していた。遺言がカリフォルニア州の法律で有効であれば、遺言は有効であり、検認を受けることとなります。カリフォルニア州で有効な正式な遺言は、遺言者またはその指示による第三者が、2人の証人の立会いのもとで署名し、証人が遺言者の署名が自分の遺言であることを理解している、書面である必要があります。

ここで、この遺言はカリフォルニア州法上有効である。また、2人の証人が遺言書に署名しており（ただし、後述の「利害関係のある証人」を参照）、その必要条件を満たしている。証人がHの署名が自分の意志であることを理解していたと仮定すると、カリフォルニア州の遺言の形式は遵守されていることになる。

インタレストウィットネス

カリフォルニア州では、証人の一人が遺言の受益者であることを理由に遺言が無効となることはないことに注意が必要である。証人が遺言から直接または間接的に利益を得る場合、利害関係者となります。必要な利害関係証人がいる場合、カリフォルニア州は遺言を有効にしますが、利害関係証人が贈与を得るために不適切な手段を用いたと

推定されます。その証人がいなければ、他の証人が一人しかいない場合、その証人は必要である。利害関係人がこの推定を覆した場合、その証人は遺言の効力を失うことになります。

を遺言書に記載します。しかし、その推定を覆すことができない場合、彼女は遺産の遺留分を得るだけで、それ以上は得られないこととなります。

ここで、Wは、遺言の下敷きになっているので、利害関係証人である。また、Wの署名がなければ、他の証人は1人しかいないため、Wは遺言を有効にするために必要であった。したがって、不適切な影響を受けたという推定が生じます。しかし、Wはこの推定を容易に覆すことができるはずである。WはHの妻であり、Hの恩恵の自然な対象である。常識的に考えて、WはHの遺産の相当な分け前を受け取るはずです。もしWが、二人が良好な関係であったこと、そしてHが彼女に遺産を相当分与すると言っていたことを示す証拠を提出できれば、それだけで推定を覆すことができるはずです。

遺留分

Wが推定を覆すことができなかつたとしても、Wには遺留分しか与えられない。しかし、Wの遺留分は相当なものであろう。Wは、Hの共有財産と準共有財産の1/2を受け取る権利があるのです。共同財産とは、婚姻中に当事者がカリフォルニアに居住していた間に取得した財産のことである。ここでは、当事者がカリフォルニアに居住していた1998年以降、2003年にHが死亡するまでの間、HとWの収入とその賃料、問題、利益によって取得したすべての財産が含まれます。

また、Wは準共同財産の1/2を取得する権利がある。準共同財産とは、当事者が他の場所に居住していたときに取得した財産で、当事者がカリフォルニアに居住していたならば共同財産となったであろうものをいう。従って、1996年から1998年の間に婚姻中に取得した財産は全て準共同財産となります。取得した配偶者が死亡すると、その財産は生存している配偶者に帰属することになる。Wはすでに共有財産と準共有財産の1/2を所有しているため、最終的にWは共有財産と準共有財産のすべてを手にするようになる。

Hの別財産 (sp) については、Hは別財産のすべてを自分の好きなように処分する権限を有している。しかし、Wは、Hの遺族として、推定を覆すことができなければ、Hの別個の財産の遺留分を得ることができる。カリフォルニアでは、被相続人が嗣子なしで死亡した場合、spはすべて遺族に入る。もし、被相続人が1人のissue、両親、両親のissueで死亡した場合、生存配偶者はHのspの1/2を取得する。もし、配偶者が2人以上のissue (または先立たれたissueのissue) で死亡した場合、生存配偶者はHのspの1/3を得る。

ここでは、Hがアンとカールの2人の遺児を残して死亡した。したがって、HのSPのWの遺留分は、すべての分離財産の1/3となります。

したがって、Wが不適切な影響の推定を覆せなかつたとしても、遺留分の関係でかなりの財産を手に入れることができることとなります。

の法則があります。

その他のクレームでは

Fの主張については後述し、Cの主張、Aの主張も同様です。これは、これら3つの主張がすべて失敗した場合、WはHの遺産をsp、cpともにすべて取得することになる、ということだけを述べておきます。しかし、これらの請求権のいずれかが失敗しなかった場合、請求者は自分の請求権が持っていた賭け金をそのまま受け取ることができるため、Wは全財産を取得することはできません。

b. アンの主張

Aの請求は、カリフォルニア州のpretermitted childの法令に基づいて行われる。Hの子供であるAは、Hの遺言から取り残されていた。Pretermitted Child法令では、被相続人が遺言でPretermitted Childが相続しないことを明確にしたか、その子が遺言外で扶養されているか、被相続人に別の子がいてその子の親に遺産の全部または実質的に全部を残す場合を除き、遺言またはコーディシル締結後に出生または養子となり遺言に記載されていない子は、被相続人の遺産の遺留分を受けることができます。

ここで、Aの請求は、Hが遺言を執行したときに生きていたこと、Hが遺言にAを含めなかったことから、失当となる。このルールの例外は、被相続人が子供が死んだと思っていたか、子供の存在を知らなかった場合のみである。ここではそのどちらにも当てはまらない。HとAはX州で同居していたので、HがAの存在を知っていたこと、Aが死んでいるとは思っていなかったことは明らかである。Aは未熟児ではないので、Aの遺留分請求は不成立となる。

c. カールの主張

また、Cの主張は、前期高齢者の法令に基づくものとなります。この法令については、すぐ上をご覧ください。ここで、CはHの遺言が執行された後に養子縁組をしたため、前期高齢者である。養子の場合、生まれた時ではなく、養子になった時がその時です。したがって、3つの例外のいずれかが適用されない限り、Cは遺留分を受け取ることになる。

まず、事実上、Hの遺言に「取らない」と書かれていることを示すものはない。第二に、Cが遺言の外に用意されていることを示すものはない。

しかし、Hには1人の子(A)が生存しており、財産の全部または実質的な全部がCの親であるWに贈与されているため、第3の例外により、Cは遺留分を受け取ることができなくなります。Cは、AはWの子ではないと主張するかもしれませんが、法令では、被相続人に子が1人いて、請求する子の親に財産が贈与される場合は、例外が適用さ

れるとされています。ここでは、その2つの要件を満たしているため、Cは遺留分を得ることができません。なお、もし、生きているもう一人の子供が、資産を受け取る親の子供でなければならないと法令で定められていた場合、例外は適用されず、Cは遺留分を受け取ることとなります。

2. フレッドの主張

フレッド (F) の主張は、有効な私的明示信託があったかどうか、あったとしても、この信託にサイ・プレの原則が適用されるかどうかにかかっています。

ヴァリッドトラスト

信託は、信託財産、受託者、受益者、遺言者の意思表示、設定、法的目的などが必要です。

プロパティ

まず、信託財産があるのは、遺言で「Hの財産の5%を信託する」となっているからです。

トラスティ

第二に、受託者の名前がないことである。信託には受託者がいなければなりません、受託者がいないからといって信託が破綻するわけではありません。したがって、裁判所は、誰かを受託者に任命することになります。

受益者

第三に、確定的かつ確実な受益者が存在するかどうかという問題がある。私的明示信託では、明確かつ確実な受益者が存在しなければならない。遺言の表面からは、受益者は存在しないので、これはFにとって問題かもしれません。Fは、それが自分であることを証明するために、他の方法に頼ろうとします。

統合や参照による取り込みは、どちらも書面や文書が必要であり、ここには書面や文書が存在しないため、機能しない。

しかし、Fは、独立の意義のある事実の法理に基づき、自己を証明することができるかもしれない。ここで問題となるのはこの事実は、遺言に及ぼす影響以外に独立した意義を持つだろうか？ 答えがイエスであれば、仮証拠が提出され、その事実が遺言の一部となる可能性があります。ここで、Fは、Hの生前に誰が一番多くHと釣り（またはスキー）をしているかは、遺言の外で独立した意味を持つ事実であると正論を述べることができます。Hがこの人と釣り（またはスキー）をするのは、お互いが好きだからであり、遺言の外で意義のある事実である。したがって、Fは、この教義に基づく受益者であることを示す証拠の提出を許されるべきである。

ただし、Fがこの要件を満たさないため、本当に受益者でない場合は、この信託は受益者不存在のため不成立となります（後述する、受益者の方へ）。

end)である。

設定者の意思表示

設定者であるHは、遺言を執行した時点で、明らかに信託を設定する現意があった。遺言の条項には、受託者に受益者への支払いを指示する指示語が用いられている。したがって、十分な意思がある。

クリエーション

信託は、生前信託と遺言信託のいずれかを作成することができます。遺言信託は、遺言に含まれる信託です。遺言信託が有効であるためには、遺言が適切な手続きで執行されている必要があります。

ここで、Hは、Hの死亡時に効力を発揮するよう遺言に信託を記載することで、遺言信託を作成した。上述したように、遺言はカリフォルニア州の遺言法に基づいて適切に執行されたものである。したがって、十分な創造があった。

法的目的

信託は、合法的な目的を果たすものでなければならない。ここでは、受益者に10年間にわたる分割払いを与えるという合法的な目的がある。この信託には違法なものはない。

したがって、信託の要件はすべて満たされており、有効な信託を信頼することができます。

Cy Pre[s]ですか？

信託の条項には、Hの人生の最後の12カ月間に最も多くHと一緒にスキーをした人に支払いが行われる、と特別に書かれていました。Fは、Hの人生の最後の12カ月間にHと最も多く釣りをし、現在、サイプレの原則を適用することを求めている。

サイ・プレの原則は、慈善信託において、設定者が一般的な慈善的意図を持っていたが、その意図を表現するためのメカニズムが挫折してしまった場合に適用される。このような場合、裁判所は、設定者の慈善的な意図を表現するための新たな仕組みを作することを命じます。

チャリタブルトラスト？

慈善信託とは、教育や芸術など、社会のために作られる信託のことです。私的明

示信託（信託財産、受託者、受益者、意思表示、設定、合法的な目的が必要）と非常に似ていますが、2つの大きな違いがあります。1つ目は、受益者が不確定であること、つまり、大規模なクラスであることです。

なぜなら、「真の」受益者は一般市民と考えられるからである。第二に、cy presは慈善信託にのみ適用され、私的表現信託には適用されない。また、「永続性禁止規則」は慈善信託には適用されないことに留意されたい。

ここで、作成された信託は、いくつかの理由から慈善信託ではありません。

まず、一般的な慈善の意図がなかったことです。信託の中には、教育などのために役立つものはなかった。この慈善的意図の欠如は、受益者が大きなクラスでないという事実によって示されている。むしろ、受益者は一人である。したがって、これは慈善信託というにはあまりにも確実である。

これは慈善信託ではないので、サイプレの原則は私的表現信託には適用されないので、適用されない。Fは遺産を共有することができません。

受益者不足で信託が破綻する

この信託は今後、受益者不在のため破綻することになります。Fは信託の条件を満たしていないし、他の誰も満たしていない。したがって、受益者は存在しない。受益者不在で信託が破綻した場合、設定者または設定者の相続人に有利な結果信託が発生します。結果信託は、当事者の推定された意図に基づく事実上の黙示の信託である。従って、遺産の5%はHの相続人（遺言ではWのみ）に戻ることになります。したがって、本問で示された事実関係のもとでは、WはHの全財産を取得することになります。

2004年7月29日(木)朝

カリフォル ニア州弁護 士試験

3つの質問にすべて答えてく
ださい。時間配分：3時間

答案は、問題となっている事実を分析し、重要な事実とそうでない事実を区別し、事件の根幹となる法律と事実のポイントを見分ける能力を示すものでなければなりません。答案は、あなたが法律の適切な原則と理論、その資格と限界、および相互の関係を知り、理解していることを示すものであるべきです。

与えられた事実に法律を適用し、採用した前提条件から健全な結論に至るまで、弁護士らしい論理的な推論ができることを証明する答案であること。単に法律を覚えていることを示すだけではいけません。

の原則に従います。その代わりに、それらを使いこなし、応用することに熟練していることを示すようにしましょう。

結論だけを書いた答案では、ほとんど評価されません。結論の根拠となる理由を十分に述べ、すべての点について徹底的に議論してください。回答は完全なものであるべきですが、そのために必要でない情報を提供したり、法理を論じたりしてはいけません。

を解決する。

設問でカリフォルニア州法の使用を明示的に求められていない限り、一般に適用される法理論や原則に従って回答する必要があります。

2005年2月カリフォルニア州司法試験エッセイ問題と選

択された答え

本書は、2005年2月のカリフォルニア州司法試験で出題された6つのエッセイ問題と、各問題に対する選択解答2つを収録しています。

答案は、合格した応募者が書いたもので、良い成績を収めました。解答は著者が作成し、読みやすくするためにスペルや句読点を若干修正した以外は、提出されたものをそのまま転記したものです。解答は著者の承諾を得てここに掲載し、転載することを禁じます。

<u>質問番号</u>	<u>目次</u>	<u>ページ</u>
1.	けんぽう	1
2.	契約書	11
3.	企業情報	19
4.	プロフェッショナルの責任	26
5.	リアルプロパティ	34
6.	トラスト	41

質問6

2003年、サムはトムを受託者に指名した有効な遺言信託を実行した。信託の条件にはこう書かれている。

- (a) 純利益はすべて、サムの甥であるビルに生涯支払われることになっている。
- (b) トムは、トムの単独かつ絶対的な裁量で決定する金額で、ビルのために元本を請求することができる。
- (c) 信託はビルの死後終了し、残った元金は母校の大学に分配されることになっています。
- (d) 受益者の利益は不可侵であり、債権者の請求に服することはない。

2004年、サムが亡くなりました。

2005年、レンダーはビルに対して、授業料、食料品、ステレオ機器の料金を含むクレジットカードの未払い請求について判決を得た。レンダーは現在、判決が下りるまで、将来の信託収入の分割払いをすべてビルではなくトムに支払うよう命じる裁判所命令を要求しています。

ビルは、元配偶者であるケイトに対して、2人の子供の養育費を滞納している。Kateは現在、滞納がなくなるまで、Tomが信託収入の将来の分割払いをすべてBillではなくKateに支払うよう指示する裁判所命令を求めています。

ビルは、ビルが新しく結成したロックバンドを宣伝するために、トムに信託財産を侵すことを望んでいるが、トムはこれを拒否している。Billは、Tomに信託財産を没収するよう命じる裁判所命令を要求している。

トムが信託元本を侵すことを拒否しているため、また、アルマ・メイターはビルの借金苦を心配しているため、ビルとアルマ・メイターは信託元本を分割するために信託を終了させたいが、トムが拒否している。ビルとアルマ・メイターの両名は、現在、信託を終了させる裁判所命令を要求している。

レンダー、ケイト、ビル、アルマ・メイターが行った要求について、裁判所はどのように裁定すべきか？議論してください。

質問6に対する回答A

信託とは、有効な信託目的のために、指定された受益者の利益のために財産を保有する受託者に、設定者が財産を譲渡する、財産に関する受託者関係である。事実上、**Sam**は**Tom**を受託者とし、**Sam**と**Alma Mater University**を受益者とする有効な明示的遺言信託を実行しました。サムは信託の終身権、**Alma Mater**は残余権を持っている。

レンダーによるCDリクエスト

作成された明示的信託は、(d)に基づくspendthrift条項を作成します。一般的なルールとして、受益者の持分は財産権として自発的および非自発的に疎外可能である。不随意的な疎外は、債権者が判決を得ることにより、受益者の将来の支払いに対する権利に付着することができる。

spendthrift条項は、将来の支払いに対する受益者の権利の任意および非自発的な疎外を禁止することにより、受益者を浪費的な方法から保護するように設計されています。したがって、(d)のspendthrift条項では、レンダーがビルの将来の収入支払いに執着することを禁止しています。この条項は、受益者の利益は不可侵であり、債権者の請求の対象にはならないことを明示的に述べている (sic)。

しかし、裁判所は、債権者が受益者に必需品を提供した場合など、spendthrift条項による保護に例外を認めています。生活必需品には、食料、衣料、住居、医療などの項目が含まれます。

事実上、レンダーはビルに授業料[]、食料品[]、ステレオ機器を提供しました。裁判所は、食料品のみが必需品であると判断し、レンダーが信託の収入から食料品の支払いを受ける権利を有すると命じるでしょう。したがって、裁判所は、レンダーの要求するビルの食料品債務の支払いを許可する可能性が高い。

ステレオと授業料に関しては、レンダーは剰余金に基づく回収を求めることができる。剰余金の概念はいくつかの法域で認められており、債権者がspendthrift条項にもかかわらず、支払われるべき収入が受益者[**s**] station in lifeを超える場合、受益者への将来の支払いに添付することを可能にし、したがって剰余金が発生することになります。事実上、**Bill**の生活状況との関連でどのような収入が得られるかは不明である。剰余金が存在するかどうかの判断において、裁判所はビルの合理的な費用のみを考慮します。もしレンダーが剰余金を立証できれば、裁判所は彼の要求する命令を認め、ビルの債務を満たすために、将来の剰余金の分割払いをレンダーに支払うよう、管財人としてトムに指示すると思われる。

ケイトによる@リクエスト：優先債権者

Lenderとの関係で述べた2つの例外に加え、裁判所は優先債権者の例外も認めている。

裁判所は、**sendthrift**条項を無視し、優先債権者が信託からの受益者の将来の収入支払いに添付することを許可します。優先債権者には、政府債務、未払い養育費、配偶者扶養費、扶養手当などが含まれます。

事実上、受益者**Bill**は、彼の元配偶者**Kate**に対して、彼の子供の養育のための養育費の支払いを怠っている。したがって、**Kate**は優先債権者であり、滞納している養育費を満たすために、**Bill**の信託からの将来の収入に対する権利を差し押さえる権利があります。

したがって、裁判所はケイトの要求を認め、滞納がなくなるまで、ビルの未払い養育費債務を満たすために、トムがケイトに信託収入を支払うよう命じる可能性が高いと思われます。

法案による要請 - 裁量的信託条項

遺言の条項の下で、トムはビルの利益のために信託原則[sic]を侵すかどうかを決定する唯一かつ絶対の裁量権を有する。受託者としてのトムは、信託に定められたすべての明示的権限と、明示的権限を行使するために必要なすべての黙示的権限を有する。受託者として、**Tom**はその裁量を誠実に行使する義務がある。事実上、**Tom**が**Bill**にロックバンドの宣伝をさせるために信託の元本を侵すことを拒否したことが、悪意を持ってなされたということはない。

したがって、事実に基づき、裁判所は信託に明示されたトムの裁量を妨げず、ビルの要求を拒否することになる。したがって、裁判所は、トムに信託元本を侵すことを命じないであろう。

© Alma Mater & Billによるリクエスト - Termination

裁判所は、受益者全員の同意があっても、信託の終了が信託の目的に反し、遺言者の意図に反する場合は、その終了を命じない。

Samが設定した信託は、**Bill**の生前を扶養するという明確な意思を証明するものである。これは、**Bill**が死ぬまで続く有効な信託目的である。事実上、**Bill**はまだ生きており、従って信託の目的は継続的である。同様に、信託の終了は、ビルの生涯を通じてビルを養うというサムを意思を破壊することになります。

また、受託者である**Tom**は信託の維持・管理に積極的な義務を負っているため、信託が受動的になったわけではありません。また、信託の条件を変更するために状況変更の法理が適用されるような状況の変化もない。

したがって、裁判所は、信託を終了させることは、決済者／遺言者（サム）の意図を破壊することになるので、トムの拒否を支持し、ビルとアルマメーテルの要求を拒否することになる。

質問6の回答B

トラスタクションは、トラストドキュメントに

よって管理されます。有効な信託

設定者であるサム（S）が、法的な目的のために信託を設定するという直接的な意図を持ち、受益者であるビル（B）と母校（AM）のために管理する目的で、受託者であるトム（T）に現存するres（権原財産権）を交付したので、有効な生前信託が設定されています。

信託の種類

収入

Bは、その規定に従って、信託の収益に対して終身持分を有する。強制的

な分配（規定A）

信託では、TがBに所得を分配することが義務付けられています。

スペンドスリフト条項（条項D）

収入と元本の両方を含むすべての分配は、spendthrift条項の対象となります。これにより、債権者の権利行使や受益者の自主的な[中略]権利譲渡を防ぐことができます。これは有効な拘束とされている。B & AMは疎外することはできず、債権者が執着することもできない。しかし、以下に述べる債権者のルールには例外がある。

プリンシパル

ベルに一任（規定B）

TはBに元本を分配する裁量権を与えられている。したがって、Tは元本を分配する必要はなく、必要だと思ふように分配することができる） [中略]。

AM(規定C)

AMは、Bの死亡時に残存する元本のすべてについて、spendthriftの制限を受ける権利を

有する。

Tのフィデューシャリー・デューティー

受託者は受託者としての義務を負っている。したがって、Tは信託によって定められた規定に従う義務がある。そのため、個人に対する以下の行動は、上記の文書の規定に支配される。

パーティ[]リクエスト

貸主

説明の通り、**spendthrift trust**として、債権者は通常アタッチすることができず、Tは裁判所の命令で返済を要求されることはない。債権者の例外として、政府債権者、不法行為判決、配偶者または養育費、扶養手当、生活必需品、馱上余剰金があります。

ここでは、レンダーは必需品である食料品の払い戻しを求めている。裁判所は、受益者が信用に基づいて必需品を入手できることを望んでいるので、この例外は存在し、払い戻しが行われる可能性がある。レンダーは授業料も必需品であると主張するかもしれないが、これは失敗する可能性が高い[.]。

ステレオ機器や教育費の回収権は、剰余金の例外に該当する可能性がある。債権者は、受益者が受け取る収入について、その生活上の地位を維持するために必要な範囲を超えるものを添付することができる。

Bが受け取る金額と、これまでの生活で維持に必要な金額は、ここでは不明です[]。そうすると、Tは貸主に対して支払いをしなければならなくなる[.]。

ケイト

ここでも、Bへの収入は、**spendthrift**の規定に従う。しかし、Kateは、裁判所が衡平法上および公序良俗上排除すべきではないと考えている債権者であるため、養育費支払いの例外に基づく請求権を有する。Kateは、Tを差押えして、自分に支払うよう要求することができる。彼女の命令は許可されるべきである。

ビル

ビルの注文は失敗する。受託者['s']の信託に対する受託者義務は文書によって規定されており、TはBへの元本配分において裁量権を認められている。特にBの他の金銭的問題に照らして、Bのロックバンド計画を支援しないというTの決定は合理的である。Tは、この状況下で、他人の金銭を管理する合理的な慎重者として行動し、注意義務を果たすために裁量を行使していると思われる。

さらに、**T**は、その裁量権を行使するにあたり、すべての受益者に対する忠実義務も遵守しなければならない。**AM**は遺留分の権利しか持たないが、**B**を含むすべての関係者の最善の利益が元本に投資される可能性があることを考慮してもよい。**B**の命令は却下されるべきである。

母校

B&AMは、ともに信託の終了を要求しています。信託は、法律顧問に代理された胎児受益者を含む受益者全員が裁判所に決定を申し立てることで終了させることができます。また、裁判所は、信託の目的がすべて達成されたことを認めなければなりません。

現在、受益者全員（現在&将来）が申立をしているが、**B&AM**、裁判所は信託の目的が達成されていないと判断するようである。**S**は、**B**にspendthrift条項[]を条件として信託の収入に対する生涯の権利を与える信託を作成した。

規約を見ると、**S**は賢く使うことに問題があるにもかかわらず、**B**に収入を提供するための保険をかけようとしていたようです。信託を早々に解約することは、**S**が意図した保護を**B**に与えないままにしてしまうことになる。解約は、この目的と真っ向から対立することになる。

AMが元本の一部を得るという目的は果たせるかもしれないが、信託における**AM**の明示的な権利は残りの元本に対してのみであり、**AM**が受け取ることのできる最大の元本はない。さらに、**S**のこの目的は、**T**の元本に対する裁量権によって最もよく保護される。したがって、**B&AM**の解約命令は却下されるべきである。

また、元本である**AM**[]の持分に対する**B**の権利は**T**の裁量に委ねられているため、債務に対する**AM**の懸念は失当である。仮に債権者が例外的に差押えできたとしても、裁量的利益に対する差押え債権者は、**T**が支払いを選択した場合にのみ回収する権利を有する。その場合のみ、**T**は債権者に支払う必要がある。したがって、**AM**の利益はさらに保護され、**S**の目的は信託の継続によってより促進されることになり、命令は却下されるべきものである。

2008年2月のエッセイ問題とその回答例
カリフォルニア州弁護士試験

本書は、2008年2月のカリフォルニア州司法試験で出題された6つのエッセイ問題と、各問題に対する選択解答2つを収録しています。

答えは、合格した応募者が書いたもので、良い成績を収めました。答えは著者が作成し、読みやすくするためにスペルや句読点を若干修正した以外は、提出されたものをそのまま転記した。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

<u>質問番号</u>	<u>目次</u>	<u>ページ</u>
1	トーツ	4
2	プロフェッショナルの責任	16
3	刑事法・訴訟法／憲法	25
4	信託・遺言・承継	39
5	コミュニティ・プロパティ	51
6	企業／プロフェッショナルとしての責任	60

質問4

2001年、完全な精神能力を持つ高齢の未亡人であるウィルマは、100万ドルを信託（Trust）に預けました。信託証書には、ウィルマの教会（Church）が受益者として記されていた。信託証書は受託者を指定していなかったが、その条項には、受託者が受益者の利益のために幅広い管理権限を有すると記されていた。

2002年、ウィルマの姉であるシスは、ウィルマに多大な注意を払うようになり、他の友人や親戚がウィルマを訪ねることを妨げるようになった。2003年、ウィルマはしぶしぶ、自分の全財産をシスに残すという、適切な立会いのもとで遺言書を作成した。遺言の執行後、WilmaとSisは互いに好意を持ち始め、頻繁に社交行事に参加し、親しい友人となった。2005年、ウィルマは自分に宛てたメモを書いた。"シスが私の遺産で利益を得ることをうれしく思う"。

2007年、ウィルマはシスを信託の受託者に指名し、その時シスは初めて信託の\$1,000,000について知りました。シスはウィルマに内緒で、信託証書全体に「この信託は取り消される」と書き、受託者としての自分の名前にサインした。

その後まもなく、ウィルマは、20年間ウィルマと口をきいていなかった娘のドーラと、姉に先立たれ、亡くなりました。

Churchは、信託は有効であり、引き続き有効であると主張する。SisとDoraはそれぞれ、Wilmaの全財産を受け取る権利があると主張している。

1. チャーチはその主張を支持するためにどのような主張をすべきか、また、どのような結果が考えられるか。議論してください。
2. SisとDoraはそれぞれの主張を裏付けるためにどのような主張をすべきか、そしてどのような結果が考えられるか。議論してください。

カリフォルニア州の法律に従って、質問番号2に答えてください。

質問4に対する回答A

1. チャーチは、その主張を裏付けるためにどのような主張をすべきなのか。

A. 信託の創設を企図

私的明示信託は、以下の要素を満たした場合に成立する。(1) 能力のある設定者、(2) 信託を設定する意図、(3) 信託財産、(4) 信託財産を信託に引き渡す、(5) 受託者、(6) 確実な受益者、および(7) 法的信託目的。このケースでは、これらの要素がそれぞれ満たされており、Wilmaは有効な生前贈与型明示信託を作成することに成功した。

(1) 事実上、ウィルマは完全な精神能力を有していたことになる。

(2) 事実は、信託証書が作成されたことを示し、これはWilmaが他の種類の証書や譲渡ではなく、信託を作成することを意図した証拠である。

(3) ここでのレスは、ウィルマが信託に入れた100万ドルです。

(4) 事実によれば、Wilmaは100万ドルを信託に入れたので、引渡しの要素は満たされている。

(5) 今回の信託証書には、受託者が指定されていない。しかし、裁判所は、受託者がいないことを理由に、他の有効な信託が破綻することを認めません。むしろ、裁判所は受託者を任命する。つまり、受託者がいないにもかかわらず、信託は有効に設定されたのです。このケースでは、2007年にWilmaがSisを受託者として指名したことで、受託者の欠如が解消された。つまり、チャーチが「信託は有効であり、効力を有する」と主張した時点では、受託者が存在し、裁判所が受託者を選任する必要はないのです。(ただし、シスが信託を取り消そうとした行為は、受託者としての受託者義務に違反する可能性が高いことから、チャーチはシスを受託者として解任し、新たに受託者を選任するよう裁判所に働きかけることを検討すべきである)

(6) この場合の受益者は、Churchです。受益者は自然人、法人、その他の組織とすることができます。つまり、Churchは有効な受益者である。受益者はChurchであるため、Wilmaが設定した信託は慈善信託であると主張することができます。慈善信託は、その目的として、何らかの社会的目的のために利益をもたらすという特定または一般的な慈善的意図を持つものである。宗教は慈善信託の正当な目的と考えられている。したがって、この信託は有効な信託とみなすことができる。

(7) ウィルマの信託には違法またはその他の不適切な目的はないので、この要素は満たされている。

B. 信託の取り消しを企図した場合

生前信託は、別段の定めがない限り、取り消すことができる。事実関係には、信託文書に取り消し不能の規定があったかどうか記載されていないので、信託は取り消し可能であると仮定される。

信託は、受託者が一方的に取り消すことはできません。通常、生前信託を取り消すことができるのは、設定者（生存しており、精神能力がある場合）のみです。状況によっては、受託者と受益者が裁判所に信託の終了（または変更）を申し立てることができるが、今回はそのような状況は存在しない。したがって、**Sis**が**Wilma**に内緒で、裁判所を介さずに、「この信託は取り消される」と証書上を書くことによって一方的に信託を取り消そうとしたことは、効果がなかった。したがって、信託は引き続き有効である。

ウィルマが信託証書全体に「この信託は取り消される」と書いていれば、物理的な行為による有効な取り消しとして機能したかもしれない。しかし、このような取り消しは、設定者または設定者の指示により、設定者の立ち会いの下で誰かが行う必要があり、今回のようなことは起こりませんでした。

C. ウィルマの死後、信託が存続すること

シスは、全財産を自分に残したウィルマの遺言により、信託は自分に渡されるべきだと主張するかもしれない。しかし、**Wilma**が信託を生涯継続させることを意図していたことを示唆する事実はない。むしろ、**Wilma**による慈善信託の設定は、検認の外で設定者の財産を処分する有効な遺言の代わりであると想定される。

2. シスとドラは、それぞれの主張を裏付けるために、どのような主張をすべきなのか。

A. お姉ちゃんの言い分

シスが遺言の条項に基づいてウィルマの遺産を受け取る権利があると主張することに成功するためには、遺言が有効であることを立証しなければならない。有効な遺言には、(1) 能力のある遺言者、(2) 遺言の意思、(3) 適用される形式への有効な準拠が必要である。

(1) 能力。遺言を執行するのに十分な能力があるためには、遺言者は、(1) 自分の財産の性質と範囲を知っており、(2) 自分の恵みの自然対象（すなわち、親族や友人）を理解しており、(3) 自分が遺言を作成していることを理解している必要があります。ここでの事実は、2001年当時、ウィルマは完全な精神能力を有していたことを示す。ウィルマが遺言を実行した2003年においても、ウィルマはそのような能力を有していたと推定される。

(2) 遺言の意思。ここでは、ウィルマが "不本意ながら "遺言を実行したことが

事実として示されている。遺言者の単なる不本意は、遺言の意思の存在を覆すには不十分である。しかし、遺言者が

遺言者の意思が不当な影響力の産物であった場合、真の遺言の意思は認められず、不当な影響力の範囲内で遺言は無効とされる。この場合、ドーラは、姉がウィルマに不当な影響力を行使したため、遺言によりウィルマの遺産を取得することはできないと主張することになる。

不当な影響力。

不当な影響とは、遺言者が自由意志に従わないほど影響を受けていた場合に存在する。不当な影響力の一応の証明は、以下のことを示すことで成立する。(1) 遺言者が影響を受けやすい何らかの弱点（身体的、精神的、金銭的など）を持っていたこと、(2) 影響を及ぼしたとされる人物が遺言者に接近し、影響を及ぼす機会があったこと、(3) 影響を及ぼす人物が献身（贈り物を得るための行為）に積極的に参加していたこと、(4) 不自然な結果（すなわち、遺言に予想外の贈り物があること）を示したこと。

(1) この場合、ウィルマが姉の影響を受けやすいような特別な弱点に苦しんでいたという証拠はない。彼女には能力があった。社会的なイベントに頻繁に出席していたことから、彼女はおそらく身体的に健康であったと思われる。また、慈善信託に100万ドルを寄付することができたことから、彼女は余裕のある生活をしていただと思われる。

(2) ここで、姉はウィルマに影響を与えるためのアクセスや機会があった。彼女はウィルマに「多大な注意を払う」ようになり、他の友人や親族がウィルマを訪問するのを防いだ。したがって、疎明資料のこの要素は立証される。

(3) シスがウィルマの遺言書作成に積極的に参加したのか、あるいはウィルマが自分に遺産を残すことを何らかの形で示唆したのか、事実からは不明である。ドーラが不当な影響力を根拠に遺言に異議を唱えるには、この点に関する証拠を提示する必要がある。

(4) ここでの結果は、不自然なものではない。ウィルマはシスとその娘ドーラにのみ生かされている。しかし、ウィルマは20年もの間、ドーラと口をきいていなかった。ウィルマは未亡人であり、生存している配偶者や家庭内パートナーを残していない。この事実から、ウィルマに親しい非親族の友人がいて、その人たちに遺産の一部を自然に残すことができたとは考えられません。ウィルマはすでに信託の中でチャーチに惜しみなく資金を提供していた。従って、彼女が妹に遺産を残すのは自然なことである。さらに、シスは、この結果の「自然さ」は、遺言の執行後の数年間、彼女とウィルマが純粋に親しい友人となったという事実によってさらに証明されると主張できる。この友情は、ウィルマが2005年に書いたメモに、"Sisが私の遺産から利益を得ることを喜んでいる"と書かれていることから明らかである。

(3) 形式：このケースでは、Wilmaが「適切に目撃された遺言を実行した」とい

う事実があるので、最後の要素は満たされています。

有効な遺言の要素がすべて揃っており、ウィルマの全財産をシスに贈与したことが不当な影響の産物であることをドーラが証明できる可能性は低いと見られるため、シスは遺言に基づきウィルマの全財産を取得することになります。

B. ドーラの主張

1. 不当な影響力が認められた場合のドーラの権利

ドーラがシスへの贈与が不当な影響によるものであることを証明できれば、その不当な影響の範囲内で遺言は無効とされる。遺言に遺留分の条項があれば、姉への贈与はその条項の中に組み込まれる。遺留分がない場合、姉への贈与（この場合は全財産）は、ウィルマが遺児として死亡した場合と同じように受け継がれます。ドーラはウィルマの唯一の生存親族であるため、遺産はドーラに相続されることとなります。

2. 省略された子供としてのドーラの権利

カリフォルニア州では、子供が早産である場合、親の遺産から取得する一定の権利を有しています。**Pretermitted**の子供とは、遺言書やその他の遺言書がすべて実行された後に生まれ、その遺言書に規定されていない子供のことであり、しかし、このケースでは、ウィルマが**2003**年に遺言書を、**2001**年に信託を実行したとき、ドーラはすでに生まれていました。従って、ドーラは早産ではありません。（もし早産であったなら、**Dora**は遺言によって渡された遺産の法定相続分と、取り消し可能な生前信託の法定相続分を請求する権利があったであろう）。

カリフォルニア州では、省略された子供に対する保護はありません。省略された子供とは、遺言書が作成された時点で生まれていましたが、その遺言書に規定されていない子供のことであり、したがって、**Dora**は、**Wilma**の遺言から漏れたという理由だけで、**Wilma**の財産に対するいかなる権利も有しない。

質問4の回答B

1. 教会が主張を支持するための論拠

有効な信託が成立しているかどうか

信託とは、受益者のために受託者がその財産（コーパス）の法的所有権を保有する、財産に関する受託関係であり、有効な法的目的のために信託を設定するという設定者の明示された現在の意図から生じるものである。私的明示信託の場合、受益者は確認できる個人またはグループでなければならず、慈善信託の場合、受益者は社会全体でなければなりません。

コーパス

信託のコーパスは、有効な現存する種類の財産でなければならず、単なる将来の利益の[期待]やその他の幻想的な財産であってはならない。設定者の生存中に設定された信託（inter vivos）の場合、第三者を受託者とする信託は、信託による移転の下にあり、財産の引渡しは、現実的、象徴的（所有権を表す何らかのアイテム）または推定的（財産にアクセスする手段を提示する、あるいは現代では、詐欺や錯誤の疑いをかけずに受託者を所有させるために、合理的にできる限りのことをする）です。

この場合、コーパスは、ウィルマが実際に信託に入れた100万ドルのお金であるため、存在し、有効に引き渡された。

受益者

受益者が確認可能なグループまたは個人である場合、私的表現信託が形成される可能性があります。受益者が特定できない集団で、一部の個人が付随的に利益を得るとしても、社会一般の利益のためであれば、それは慈善信託となる。慈善信託の場合、永久禁止のルールは適用されず、信託を無効とすることができる。

この場合、教会は確認可能で明確な法人であり、その場合、ウィルマは私的な明示信託を形成したと主張することができる。また、真の利益は現在および将来の教会員にあり、宗教施設を持つことの社会的利益を促進するものであるとも言えます。その場合、慈善信託となる可能性があり、信託の下で、現在の生活から21年以上経ってから利益を得る人がいても、永続性の問題に対するルールはなく、信託は有効である。したがって、有効な受益者が存在することになる。

トラスティ

信託には、信託を管理するために任命されるトラスティが必要であるが、トラスティが指名されていないからといって、信託証書が無効になることはない。この場合、Wilmaが受託者を指名しなかったとしても、裁判所は受託者の義務を果たすために受託者を指名することができ、信託は無効とならない。

結果としての信頼感

結果信託とは、私的な明示信託や慈善信託が、設定者の不正行為以外の方法で破綻した場合に発生する、事実上の黙示の信託である。結果信託では、裁判所が任命した結果受託者の唯一の義務は、設定者または死亡している場合はその遺産に残余財産を戻すことである。

Wilmaが2001年に信託を設定し、2007年まで受託者を任命しなかったという教会に対して、おそらく信託には丸6年間、受託者がいなかったと主張することができる。したがって、その間に信託は結果信託に変わるべきであったと主張することができる。また、特定の州では、受託者が積極的な義務を負わない不動産物件の受動的な信託がある場合、結果的な信託を創設する使用法令が存在するという主張もあり得る。衡平法上、この原則は、コーパスが金銭である場合にも適用されるべきであり、6年間受託者がいないことは、受動的受託者がいることと同じであり、その金銭は結果的信託に移行すべきだったと主張されるかもしれません(笑)。

しかし、裁判所は、信託は受託者の不足で破綻しないと明言しているため、Wilmaによる信託は破綻しない可能性が高いと思われます。

意思表示

有効な信託が成立するためには、設定者が信託を作るという現在の意図をもって財産を引き渡すという明確な意思表示をしたことが必要です。このケースでは、Wilmaはその意思を明確に示した。彼女は受託者を指名しなかったが、受託者の広範な権限を指定することで受託者が存在することを規定し、実際に金銭を信託に引き渡した。最後に、Wilmaは高齢でありながら完全な精神能力を有していたため、信託を作成する意思を持つ能力が損なわれていたことに疑問の余地はない。したがって、Wilmaは明らかに信託を作成する意思表示をしたことになり、その信託は有効となる。

法的目的

違法でない目的であれば、どんなものでも許されます。この場合、ウィルマは、教会および/またはそのメンバーが継続的に活動を行うことで利益を得ることを明確に意図しており、それについて違法なことは何もありませんでした。したがって、彼女には有効な法的目的があったのです。

したがって、2001年に有効な信託が成立し

ている。信託の終了

信託は、それ自体の明示的な条件によって終了することができる。また、設定者がその権利を留保している場合、設定者の明示的な取消しによって終了することもある(大半の州で)。最後に、信託は、受益者全員が参加し同意すれば、受益者の主導で終了させることができる(生まれていない遺留分は、任命された訴訟代理人によって代理されなければならない)。設定者も参加する場合は、解約を進めることができる。設定者がいない、または死亡している場合、受益者は信託

の重要な目的がすべて達成された場合にのみ終了させることができます。

明示的な条件による取り消し

ここでは、ウィルマが信託をいつの間にか終了させたと規定した形跡はない。したがって、それは取り消されなかった。

セトラーによる取消

ここでは、Wilmaは取り消す権利を明示的に留保していない。黙示の権利がある少数派の州においてさえ、彼女はそのような権利を行使していない。シスは、ウィルマが後に、シスが利益を得ることを喜んでいと書き残したことは、シスが自分の遺産から利益を得るという意図を示すものであるため、信託を黙示的に取り消す効果があると主張するかもしれないが、ウィルマの取り消しの意図を示すことはできないだろう。したがって、彼女は信託を取り消しませんでした。

受益者による取消し

このように、ウィルマは信託を終了させるための行為に同意も参加もしていない。さらに、事実上、教会もそのメンバーも信託を取り消したいと示唆するようなことはしておらず、それどころか、教会は信託の有効性を示すために訴訟を起こしています。したがって、受益者は取り消しを行っていない。

したがって、失効は生じなかった

。受託者の権限

受託者は、信託証書で明示的に付与された権限に加え、その職務を遂行するために必要な黙示的な権限（不動産の売却、リース、債務の発生、現代では借入の権限など）を有しています。

ここでは、2007年時点で姉が信託の受託者に指名された。信託証書は、受託者が受益者の利益のために信託を管理する「広範な権限」を有すると規定していた。信託証書には、受託者が受益者のために信託を管理する「広範な権限」を有すると規定されていたが、受託者の権限や取り消す権限については何も述べられておらず、これは伝統的に受託者に黙示される権限ではない。したがって、シスには、信託を解約して取り消す権限はなかった。したがって、彼女の行為によって信託が取り消されることはなかった。

受託者の義務

さらに、受託者は、受益者に対する注意義務と忠実義務を負っている。それぞれの義務の下で、自らの業務を処理する合理的な慎重者として、また受益者の最善の利益のために常に行動しなければなりません。

シスが受益者を切り捨てるつもりで信託を取り消そうとしたことは、明らかに信託に反しており、注意義務に違反する。また、ウィルマの遺言により、彼女は受取人であったため、その行為は自分の利益となるため、忠実義務にも違反する。

したがって、シスの行為は不適切であり、その取り消し行為は無効である。

結論

したがって、信託は有効であり、取り消されることはなく、教会はその債権を有する。

2. シスとドラが主張すべき論拠

ドラの主張 I : 容

量

II : 非常識な妄想 III

: 不当な影響 IV :

早産

容量

遺言者は、18歳以上で、自分の財産の範囲を理解でき、自分の財産の自然な対象（家族など）を知っていて、自分が遺言を執行していることを知っていれば、遺言能力を有します。遺言者に能力がない場合、以前の有効な遺言がない限り、遺言全体は検認されず、財産は遺留分として相続されます。

ドーラは、ウィルマは高齢で孤独な未亡人であるため、遺言を作成する真の能力がなく、ウィルマの唯一の子として、遺留分により全財産を取得すべきであると主張するかもしれない。しかし、ウィルマは18歳以上であった。彼女は完全な精神能力を持ち、自分の財産がどのようなものであるかを知っていた。彼女は、シスやウィルマのことを知っていたはずだから、その財産が誰のものであるかも知っていた。そして最後に、彼女は自分のしていることを知らなかったという形跡のない、きちんとした立会いのもとで遺言を執行した。したがって、ドーラの議論は失敗する。

非常識な妄想

遺言書の条項は、1) 虚偽の信念に基づき、2) 病んだ心の産物であり、3) その信念を裏付ける証拠のかけらもなく、4) その信念が実際に遺言書に影響を与える（問題の条項によって示される）場合、検認を拒否することができます。

ここで、ドーラは、ウィルマが自分の遺産をすべて姉に譲り、ドーラを残すと考えたのは、ウィルマが何らかの病的な精神状態にあったからではないか、と主張するかもしれない。しかし、そのような考えを支持する証拠はない。ウィルマの遺言は、シスとの間に築かれた真の信念と事実上の親密な関係に基づくものであった。ウィルマの心が病んでいたことを示すものはない。最後に、誤った信念が遺言に影響したことはない。ウィルマとシスは仲が良く、一緒に社会的なイベントに参加し、親しい友人であった。したがって、ドーラの主張は失当であろう。

不当な影響

不当な影響力の根拠は、疎明、推定、CA法の3つがあります。

プリマファシーUI

ある者が遺言者に接近し、遺言者が感受性を有する形質であり、その者が遺言者を誘引する性質を有し、不自然な結果が生じた場合、不当な影響力があると疎明され、当該影響を受ける条項は検認されないことになる。

ここで、ドーラは、シスがウィルマにアクセスできた（実際、彼女自身が他人を阻止することによって、ウィルマに単独でアクセスできた）ことを示すことができる。ドーラは、シスが突然ウィルマに不自然なほどの注意を払い、他人がウィルマにアクセスできないようにしたことが不当な行為であることを強調することになる。しかし、シスは、二人の好意の高まりに見られるように、ウィルマへの関心は正当なものであることを示すだろう。しかし、ウィルマが特に影響を受けやすかったということは示せない。彼女は孤独だったのだろうが、遺言の意思を覆すような衰弱の兆候を外見上持っていなかった。

シスはウィルマといつも一緒にいたので、ウィルマが自分に有利な遺言をするように誘導する気質はあったかもしれないが、ウィルマを操って遺言をさせるようなことをしたことを示すのは難しいだろうとも言える。さらに、ウィルマはシスが自分に関心を持ち始めてからすぐに遺言を作成し、その内容はたまたまシスにすべてを残すというものだった。ドーラはこれらの点を主張するだろう。しかし、シスが実際に遺言を誘導するようなことをしたとは示せず、2人は真の友人となった。さらに、**2005年**のメモには、ウィルマがシスのために用意したことを純粋に喜んでいたことが記されている。仮にシスが遺言を強要するような処分を行ったとしても、遺言者の意図を示す外形的なメモがあれば、それを暗示することは困難であろう。したがって、ドーラはこの要素を証明するのは難しいでしょう。彼女のベストケースは、メモが書かれたのは**2005年**であり、遺言執行時の**2003年**に、処分が行われたことを主張することで、十分に満たすことができると思われる。

最後に、シスに全財産を渡したことは不自然な結果ではなかったが、ドーラは子供を切り取ることは不自然だと主張するだろう。ウィルマはシスの干渉を受けるずっと前の**20年間**、ドーラと口をきいていない。したがって、ドーラを切り捨てることは不自然ではなかった。

したがって、疎明は失敗する。プリ

サンクションUI

ある人が遺言者とある種の密接な関係にあり（**CA**では、遺言者がその人に信頼を寄せるような立場）、かつ、逸失利益を生じさせるための処分があり、不自然な結果となった場合、不当な影響力があると推定され、その検認は行われない。

ここで、ドーラは、ウィルマがシスに信頼を寄せていたことを明確に示すことができる。彼らは親しい友人であり、ウィルマはシスを教会への信託の受託者に任命したほどである。しかし、前述したように、処分を示すことは困難であり、不自然な結果を示すことはさらに困難である。

したがって、不当な影響力のこの枝は失敗します。

CA法UI

CAでは、遺言書の起草者、起草者の関係者または取引先、遺言書を書き写した遺言者の受託者、またはケアカストディアンに対して行われた場合、寄付的譲渡は無効とみなされます。認められた場合、その部分は、その人が遺留分として受け取るはずだったものを上回る範囲で、検認されないこととなります。

このケースでは、シスが遺言書の起草や書き写しに手を貸した形跡はない。ドーラは、ウィルマが高齢で一人であったことから、シスがウィルマのケア・カストディアンであったと主張するかもしれない。しかし、彼女が介護を必要としていたことを示す兆候はない。実際、二人は公の場で一緒に社交行事に出席しており、ウィルマが自分の面倒を見る能力が十分にあったことを暗示している。したがって、不当な影響力の法的根拠はない。

誘引の不正

ある人が遺言者に対して行った虚偽の説明によって影響を受けた遺言の部分は、その人がその虚偽を知り、それを信頼させることを意図していた場合、遺言者がその部分を作成する際に正当かつ実際に信頼したものであれば、検認は拒否される。遺留分がある場合は遺留分権利者に、遺留分がある場合は共同遺留分権利者に、遺留分がある場合は遺留分権利者に相続されることとなります。また、裁判所は、詐欺がなければ遺言者の意図した受益者に財産を引き渡すために、仮説的信託を課すことができる。

このケースでは、ドーラやその他の人物が、ウィルマが自分の財産をシスに完全に残すような遺言をするよう誘導されるような虚偽の事実をウィルマに伝えたかどうかを判断するには十分な事実がない。ドーラは、ウィルマに接触できるのはシスだけであり、そのような不実告知があったかどうかを知る方法がないため、裁判所はそれを暗示するべきだと主張するだろう。もし虚偽の申告があった場合、遺言は検認を拒否される可能性があるが、ドーラはそれを証明できない可能性が高い。

早産児

すべての遺言証書（遺言、生前贈与、取消可能信託）の後に生まれ、または養子となった子供で、それらに規定されていないものは、不注意で【取り残された】とみなされ、遺言者にそのような証書がなかったかのように遺留分の法定相続分を取ることができます。ここでは、信託も遺言も、ドーラが生まれた後に作られたものである。したがって、彼女はこれを主張することはできない。

結論

ドーラは、ウィルマの遺産を自分が取得すべきであると主張するための確固たる根拠を持っていません。もし、シスがウィルマの遺言を強要するような処分を行ったことを示すことができれば、2005年のノートによる「追認」は遺言を救う

ものではなく、検認を拒否され、ドーラが取得できるようになります。しかし、それは困難であるため

ウィルマとシスの関係が花開いた時期、ドーラの言い分はダメなのだろう。

お姉ちゃんの言い分

有効な遺言書

遺言は、2人の証人が目撃し、遺言者がその同時立会いのもとで署名した場合に有効である。遺言の下敷きになるような利害関係のある証人は、不当な影響力を行使したものと推定されます。しかし、この場合、遺言は有効に執行されたとのことであり、シスが証人であったという事実はない。

したがって、遺言は有効に執行されたので、シスは全財産を取得できることを主張できるはずである。ドーラの各請求に対しては、上記で説明したような抗弁を行うことができ、そのすべてについて成功するはずである。



2010年2月のエッセイ問題とその回答例
カリフォルニア州弁護士試験

本書は、2010年2月のカリフォルニア州司法試験で出題された6つのエッセイ問題と、各問題に対する選択解答2つを収録しています。

答案は、合格した応募者が書いたもので、良い成績を収めました。答案は著者が作成し、読みやすくするためにスペルや句読点を若干修正した以外は、提出されたものをそのまま転記した。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

<u>質問番号</u>	<u>目次</u>	<u>ページ</u>
1	契約書	3
2	ビジネス・アソシエーション／プロフェッショナル・レスポンシビリティ	15
3	トラスト	23
4	救済措置・契約	32
5	憲法・不動産	46
6	コミュニティ・プロパティ	58

質問3

ハンクとウェンディは結婚し、アーロンとベスという2人の子供をもうけたが、その後、結婚生活は解消された。

結婚の解消から1年後、ハンクは全資産を有効な取消可能信託に入れ、受託者を任命した。この信託では、受託者は、ハンクの生存中は、信託からの収入をすべてハンクに支払うことになっていた。ハンクの死後、信託は終了し、受託者は残りの資産を次のように分配することになっていた：ハンクの母、ママが活着している場合は2分の1、残りはアーロンとベスに等分に分配する。

受託者は、信託の全資産を商業用不動産に投資し、非常に高い収益を得たが、時価が急速に下落した。

再婚していないハンクは、信託を設立してから3年後に死亡した。彼の死亡時、信託の評価額は\$300,000であった。その後、ハンクにはもう一人、カールという子供がいたことがDNA検査で証明された。カールは、ハンクとウェンディの結婚中に妊娠したが、結婚の解消後に生まれた。カールの母親であるウェンディは、ハンクにカールのことを話したことがなかった。

ウェンディ、ママ、アーロン、ベス、カールの全員が、自分が信託財産の一部を受け取る権利があると主張しています。

1. Hankの死亡時、信託受益者はTrusteeに対してどのような請求権を持つか（もしあれば）。議論してください。
2. 信託財産はどのように分配されるべきか？ **Discuss.**この質問にはカリフォルニア州法に従って答えてください。

質問3に対する回答A

Hの死亡時、受益者は受託者に対してどのような請求ができるか？

善管注意義務 - 慎重な投資

受託者は、合理的に慎重な投資家として収入を管理する義務を負っています。昔のコモンローでは、これは個々の投資先が比較的安全でなければならないことを意味しました。より現代的な基準では、ポートフォリオ全体が比較的低リスクである限り、リスクの高い投資も許容される。投資先が許容できるほど低レベルのリスクである限り、受託者は必ずしも投資損失について責任を負うことはない。ここで、信託のすべてを不動産というかなりリスクの高い投資先に投資したことは、慎重な投資の義務に違反する。ポートフォリオ全体として、非常に高いレベルのリスクを持つことになる。

善管注意義務 - 投資の分散化

慎重な投資家の義務に関連して、投資先を多様化する義務がある。Tは信託財産の100%を商業用不動産という一つの投資形態に投資したが、これは投資分散義務に明らかに違反している。Tは株式と債券の混合で投資すべきであり、おそらく数パーセントを不動産に投資することも可能であった。

遺留分権利者に対する忠実義務

信託が所得受益者と残余受益者の間で分割される場合、受託者は両受益者の利益を公正に保護する忠実義務を負います。これには、所得受益者の利益のためだけに投資決定を行い、残余受益者に不利益を与えないことが含まれる。ここで、Tは信託財産をすべて不動産に投資した。この不動産は多くの収益を生むが（収益受益者であるHに渡る）、市場価値が急速に低下するため、元本はほとんど残らないだろう。これは、Tの遺留分受益者M、A、Bに対する忠実義務に違反する。

コミュニケーションの義務

受託者は、受益者に対し、信託の一般的な状況や投資配分について（少なくとも毎年）最新情報を提供する義務がある。もし、信託が100%商業用不動産に投資され、Hの収益のみを目的としていることが分かれば、残余の受益者は間違いなくもっと早く不満を持ったであろうからだ。

レメディウム

受益者は、不動産の市場価値の損失について受託者個人を訴えることができる（Tが合理的に安全かつ分散投資した場合に起こったであろう価値の増加についても訴えることができる）。

信託財産はどのように分配されるべきですか？

早産した配偶者

結婚前に遺言（または信託）を作成し、配偶者が信託から漏れていた場合、その漏れは偶然のものであったと推定され、配偶者は遺留分を得ることができるようになります。しかし、その間に離婚した場合は、配偶者が意図的に漏れていたと推定され、配偶者は何も得られません。ここで、Hの信託はWとの婚姻後に成立したが、信託成立時には既に離婚して1年が経過していたため、Wは前置配偶者であることを主張することはできない。

共同財産法

ここではカリフォルニア法が適用されるため、Wはすでにすべての共有財産（婚姻中に配偶者の技術や労働力によって取得した財産）の1/2を受け取っているはずですが、ここで、Hの信託は、彼の別個の財産と、彼が解散時に得たCPの1/2のシェアだけで作られたと仮定します。つまり、Hが彼女に贈与しない限り、Wには何の権利もない。

早世した相続人

子供が生まれる前に遺言（または信託などの遺言代用物）が成立し、子供が遺言から漏れていた場合、子供が偶然に漏れたと推定され、子供は遺留分を得ることができます。遺言や信託の実行前に子供が生まれた場合、遺言者が子供の存在を知らなかったときは、その子供は先順位相続人として扱われ、遺留分を取得することになります。

ここで、Cは信託が行われる前に生まれたようです（Cは解散直後に生まれ、信託が行われたのは解散から1年後）。また、妊娠後すぐに離婚したため、その後1年間はWとあまり会っていなかったと思われるので、Hが気づかなかったのも無理はない。そして、その子はHの子であることは、Cが婚姻中に妊娠したことを示唆し、DNA検査によって証明されている。Cが婚姻解消後に生まれたことは関係ないと思います。したがって、Cは前期相続人とみなされ、遺留分を得ることができる。

Cの遺留分

財産は、被相続人の配偶者と嫡出子に、代表権をもって、**per capita**で分配されます。**per capita**とは、生きている相続人の第一順位で財産が均等に分配されることを意味します。通常、生きている子供がいる場合、配偶者は遺留分として遺産の**1/3**を取得します。しかし、設定者または遺言者が死亡したときにすでに離婚が成立していた場合、配偶者は遺留分を何も得られない。ここでは、Hが死亡した時点ですでに離婚が成立しているため、Wは何も遺贈されないことになる。Hには生きている子供が**3人**いるので、それぞれ**\$300,000**の**1/3**を受け取る権利がある。生きている子供がいるので、お母さんは何も貰えません。これはカリフォルニアでの話ですが、Hが亡くなった時点ですでに離婚が成立しているため、Wの取り分はすでに共有財産法で処理されていると仮定します。つまり、Cの遺留分は**\$100,000**となります。

アバウト&ディストリビューション

減殺とは、以前からある贈与を減らすことで、新たな贈与のための金銭を清算することである。相続財産が債務超過の場合の減殺とは異なり、期限前相続人の減殺は、遺留分と一般贈与（金銭や株式の贈与）の両方から比例配分して取られると思います。ここでは、信託に\$300Kがあります。Mは1/2を一般贈与し、A・Bは残りを取得します。したがって、Cの贈与前は、Mが\$150Kを取得し、A&Bが\$75Kずつ分けることとなります。Cの10万ドルの贈与により、Mから5万ドル（1/3）、AおよびBの両方から2万5千ドル（1/3）が奪われる。

減免後、Cは最終的に10万ドルを手にし、Mは10万ドル、そしてA&Bは5万ドルを手にするようになる。

質問3の回答B

信託受益者は受託者に対してどのような請求ができるのか？

受託者は、受益者である他人の利益のために資産の所有権を保持し、そのため受益者に一定の義務を負わせる。受託者がこれらの義務に違反した場合、受託者に対し個人的な責任を負わせることができます。

投資義務違反について

受託者は、信託の資産を投資する義務があり、慎重な人が自分のお金を投資する際に用いるような通常の注意をもって投資する必要があります。多くの州では、許容される投資先のリストを提供している。同様に、受託者はプロの投資家に相談し、何が妥当かを判断することもできる。いずれにせよ、2つの具体的な義務を果たさなければならない。1) 委託者は分散投資しなければならない、2) 委託者は投機をしてはならない。

このケースでは、信託財産がすべて不動産に投資されていたため、受託者は分散投資を行っておらず、投資義務に違反している。同様に、裁判所は、受託者がこれらの投資を行う際に投機を行っていたと認定することができ、これも違反となる。

忠実義務違反

受託者は受益者に対して忠実義務を負っており、各受益者に対して平等にこの義務を負っています。ある受益者を他の受益者より優遇することは、この義務に違反することになる。本事例では、受託者は、H（生前に収入が入るので受益者である）を他の受益者よりも優遇し、Hのみに利益をもたらす収入を最大化する投資を行い、実際には他の受益者にコーパス価値の減少による損害を与えたと考えられる。受託者は、この違反に対して受益者に対して個人的に責任を負う。

善管注意義務違反

受託者は受益者に対し、合理的な慎重さをもって行動する注意義務を負っており、上記のように信託資金を適切に管理しなかったことも、この義務に違反することになります。

その他

また、受託者が受益者に口座残高の定期的な明細を提供していなかった場合、受託者が会計義務に違反した可能性もあります。追加の事実が必要ですが、価値の減少から、このような可能性があります。

信託財産はどのように分配されるべきですか？

Hは、自分の死後終了する生前信託を作り、自分の子供2人（A、B）と母親（生きている場合）に提供した。この信託はHが独身時代に作成されたもので、再婚はしていない。Hankは遺言を残して死亡しましたが、彼の生前信託は遺言と同じ検認規則が適用されることとなります。

Wには信託財産に対する権利があるのでしょうか？

Wは信託財産に対する権利を主張しているが、信託はHとの婚姻が解消した後に行われた。裁判所の継続的管轄の下でWに与えられるべき共同財産が信託の設定に用いられたという何らかの証拠がない限り、Wは信託に対する権利を主張することはできない。

カールの主張

カールはHの子供で、婚姻中に妊娠したが、婚姻解消後に生まれた。また、信託は婚姻解消の1年後に作成されたので、彼は信託の作成前に生まれたと思われる。すべての遺言書（生前信託を含む）が実行された後に生まれた子、あるいは遺言書に規定されていない子は、先天性であり、被相続人の財産に請求権を持つことになる。ここでは、そ

のようなことはない

というのも、カールは信託が設定される前に生まれたので、通常は請求権がないはずだからです。しかし、遺言執行前に生まれた子の扶養に入れなかったのは、親がその存在を知らなかったからだと思われる場合には、例外があります。今回のケースはそうなので、カールは先天性の子供とみなされることとなります（結婚が解消された後に生まれたことは関係ありません）。

早産児はどのようなシェアになるのでしょうか？

省略された（pretermitted child）人は、被相続人の遺産の遺留分を取る権利があります。遺留分のルールでは、まず被相続人の配偶者と子供に相続させることとなります。しかし、ここでは、Hには配偶者がいないため（前述の通り、Wは信託の持分を持たない）、遺留分法はHの子供に目を向けることになる。遺留分では、子供たちは平等に相続するため、Aaron、Beth、Carlの取り分は、それぞれ1/3となります。

300,000ドルのコーパス。したがって、早産児としてのカールの取り分は\$100,000となる。

他の人たちは、その信頼から何を受け取っているのでしょうか。

この信託では、母が1/2の財産を取得し（母がまだ生きていと仮定した場合）、残りの1/2をAとBが分けることになっています。カールの請求がなければ、ママは150,000ドル、AおよびBはそれぞれ75,000ドルを受け取るはずだった。しかし、ここでは、カールの取り分を支払うために、これらの金額を減額しなければならない。

早産児の請求に対応するために持分を減額する場合、他の受益者は、受け取った価値に比例してその利益を減額されます。ここでは、Momは1/2を得たので、Carlに支払うべき金額（すなわち\$50,000）の1/2だけ自分の取り分を減らすことになる。AとBはそれぞれ1/4を得たので、彼らの額はそれぞれカールに支払うべき額の1/4（それぞれ\$25,000）だけ減らされます。したがって、最終的な分配はこうなります。ママは\$100,000、カールは10万ドル、アーロンとベスがそれぞれ5万ドル、Wは何も取らない。



FEBRUARY 2010

だいよんぶん

カリフォル ニア州弁護 士試験

3つの質問にすべて答えてくだ
さい。時間配分：3時間

答案は、問題となっている事実を分析し、重要な事実とそうでない事実を区別し、事件の根幹となる法律と事実のポイントを見分ける能力を示すものでなければなりません。答案は、あなたが法律の適切な原則と理論、その資格と限界、および相互の関係を知り、理解していることを示すものであるべきです。

与えられた事実¹に法律を適用し、採用した前提から健全な結論に至るまで、弁護士らしい論理的な推論ができることを証明する答案であること。単に法律の原則を覚えていることを示すだけではいけません。その代わりに、法原則の使用と適用に精通していることを示すようにしてください。

結論だけを書いた答案では、ほとんど評価されません。結論の根拠となる理由を十分に述べ、すべての点について十分に議論してください。

回答は完全なものであるべきですが、問題解決に関係のない情報を提供したり、法律の教義を論じるべきではありません。

設問でカリフォルニア州法の使用を明示的に求められていない限り、一般に適用される法理論や原則に従って回答する必要があります。

2012年2月の質問と回答例
カリフォルニア州弁護士試験

本書は、2012年2月のカリフォルニア州司法試験で出題された6つのエッセイ問題と、各問題に対して、実際に一読して合格した受験生が書いた2つの解答を収録しています。

選ばれた答案には良い成績が付けられ、読みやすくするためにスペルや句読点に若干の修正を加えた以外は、提出されたまま掲載用書き起こされています。回答は、著者の了解を得て、ここに転載する。

質問番号	目次	ページ
1	トラスト	4
2	けんぽう	16
3	エビデンス	29
4	企業情報	45
5	プロフェッショナルの責任	58
6	リアルプロパティ	70

質問1

寡婦であるサムは、有効で取り消し可能な生前信託を設定し、自分を受託者として指名し、自分の死亡または無能力時に従兄弟のタラを後継受託者とすることを定めた。彼は追加の受託者を指名しなかった。彼は、信託からの収入を毎年、3人の子供、アン、ベス、キャロルに均等に分配するように受託者に指示した。そして、3人の子供のうち最後の1人が死亡した時点で信託は終了し、残りの資産は、その時点で生存している子孫に代理で分配されることになった。

また、信託を設定する際に、自分の財産をすべて信託に移すという有効な遺言も行っています。

その2年後、サムは亡くなった。彼にはアン、ベス、キャロルの3人が遺された。2カ月もしないうちに、25歳のデイブが、サムは自分の存在を知らなかったが、自分もサムの子供であることを証明するために訴訟を始めた。

サムの死後3年間は、タラが受託者として信託を管理した。アンは非常に深刻な医療問題を抱えていて働くことができず、またベスとキャロルには十分な資産があったため、タラは信託収入のほぼすべてをアンに分配し、ベスとキャロルにはほとんど分配しませんでした。

裁判所がデイブが事実上サムの子供であると判断した後、デイブは信託の分け前を要求した。BethとCarolは、Taraに対して受託者義務違反を主張し、訴訟を提起した。Taraは辞表を提出し、BethとCarolは、すべての資産を現在生きている受益者に直接分配できるように、信託の終了を求めた。

1) Daveは信託財産に対して
もしあれば)を持っているのか、
。カリフォルニア州法に従って答えなさい。

どのような利益（
議論してください

2) ベスとキャロルは、信託の解除に成功しそうですか？議論してください。

3) ベスとキャロルは、タラを訴えることに成功しそうですか？議論してください。

質問1 回答

A

1) ウィルサブスティテュート

生前信託が作成され、設定者が信託の既得の将来の所有権を譲受人に与える場合、それは遺言の代わりとみなされることとなります。設定者が死亡時に設定者の全資産を受益者のために信託する条項を盛り込んだ場合、プーローバーウィルが作成されます。これを有効にするためには、遺言の要件を満たす必要があります。

ここで、サム (S) は、3人の子供アン (A)、ベス (B)、キャロルのために、自身を受託者とし、タラ (T) を後継受託者とする有効な生前信託を設定した。

(C). また、Sは、自分の死後、A、B、Cの利益のために、自分の他の資産をすべて信託に注ぎ込むことを定めた。

したがって、各A、B、Cが全財産を等分に受け取るという有効なプローバー遺言が作成された。

デイブの (D) 省略された子供としての権利

一般に、親が作成した遺言書等から子を取り残された場合、その子は相続放棄をすることができます。しかし、遺言書が作成された時点で子供が親に知られておらず、親が子供のことを知る理由がなかった場合、その知られていない子供は相続放棄されず、親の遺産から遺留分を取り戻すことができます。近代的なパー・スタープス・システムにおける子の遺留分は、多数説が採用されているように、第一段階の相続で均等に分割されることとなります (この場合、子の間で)。

ここでサム (S) は、わずか2年前に信託を設定した。DはSの死亡時に25歳であった。Sは信託とプローバーウィルの実行前に生まれているので、一般的には相続放棄したものとして扱われ、立ち直ることはできない。しかし、ここでは、S

は、遺言書作成時にDが活着ていることも、Dが自分の子供であることも知らなかった。Dは遺留分権利者とみなされ、遺留分の権利を持つことになる。A、B、Cは全員生きていたので、DはSの財産の1/4を取得する権利がある。ぷろだくしょん遺言によりSの全財産が信託に含まれていたため、ここから財産が取り出されることになる。信託の、A、B、Cが死亡した後の代理人による、活着ている子孫に資産を分配するという条項にかかわらず、DはA、B、Cの死亡を待つて回収する必要はない。

したがって、Dは、信託財産の1/4について、省略された子として権利を有することになる。

2) BおよびCによる終了

解約権は、信託が取り消し可能か取り消し不能かによって異なります。取り消し不能な信託は、設定者の意図がそうであるように作成されます。ここでは、Sは、3人の子供のうち最後の1人が死亡するまで信託を継続することを明示的に述べている。多数派の見解は、取消不能な信託を支持するものであるため、この文言は取消不能な信託を成立させるのに十分であると思われる。

したがって、取消不能の信託が設定され、後述する解約のルールもそのようにみなされます。

取消不能信託の解約

取消不能信託の解約は、設定者が活着ている間に設定者と受益者全員が合意した場合、受益者全員が合意して信託の目的を挫折しない場合、受託者が唯一の受益者となった合併の場合に行うことができます。取消不能信託は、設定者の明示的な文言でそのように記載されている場合に作成されます。

ここで、Tは遺言に従わず、信託収入のほぼすべてをAに分配し、BとCにはほとんど分配していないが、それでも信託の目的を挫くことのない受益者間の合意解約が必要であ

る。信託の

は、3人の子供のうち最後の1人が死亡した場合にのみ信託を終了させることを明記していた。BとCが信託の分配方法に不満があるからといって、Aの同意なく、あるいは設定者が作成した信託の条件が明確に記載されているにもかかわらず、信託を終了させる権利を与えることはない。

したがって、BおよびCは、信託の解除に成功しない可能性が高いが、後述するように、Tから損害賠償を請求される可能性がある。

3) 設立された信託の種類

信託の種類によって、受託者の裁量権の行使の可否はある程度異なる。最も受託者が尊重されるのは、サポート信託と裁量信託の2つの状況である。これらのタイプの信託はどちらも、一般的に、これが設立される信託のタイプであることを明示する必要があります。有効な信託の必要条件である信託の目的は、どのような種類の信託が設定されるかを決定する必要があります。

ここでは、Tは毎年均等に分配するよう指示された。Tの裁量に基づく分配、A、B、Cの扶養の必要性に基づく分配のために信託を設定するという明確な目的文はなかった。Tに追加の裁量権を与える特別な種類の信託を設定するためには、これらのうちのいずれかが成立しなければならないだろう。

したがって、信託は裁量でも支援でもない明示信託であり、Tは後述する受託者の受託者としての義務に拘束されることになる。

Tによる受託者の受託者義務違反。

受託者は、信託の受益者に対して多くの義務を負っています。これらの義務の中には、a) 注意義務、b) 信託に従って利益を分配する義務、c) 受益者を平等に扱う義務、d) 設定者の指示に従う義務、があります。特定の状況においてのみ、受託者は利益を分

配する方法について裁量を行使することが許される。

の収入は、すなわち裁量信託または支援信託である。受益者に対する信託義務は、受託者がそのような立場を受け入れることによって発動される。受託者が受託者としての義務に違反した場合、受託者は個人的な責任を問われる可能性があり、また裁判所によりその地位から解任される可能性もあります。このケースには関係ありませんが、その他の救済措置もあります。

ここで、Sは信託の原信託者であり、Tを後継の信託者に指名した。Tは、明示的に、あるいは少なくとも行動によって、受託者の地位を受け入れたので、信託の受益者に対する受託者の義務に拘束された。

したがって、Tは、A、B及びCに対して、以下に述べる義務を負っており、これに違反した場合には、個人賠償責任及び／又は評議員の地位からの除名処分の対象となり得る。

a) 注意義務

受託者は、受託者としての取引において、合理的に慎重な人物として行動する義務がある。これには、合理的な投資、合理的な分配、その他受託者が受託者としての役割の中で行うすべての活動が含まれます。

ここで、Tは信託収入のほぼ全てをAに分配し、BとCにはほとんど分配していなかった。しかし、Aは非常に深刻な医療問題を抱えており、働くことができなかった。一方、BとCは自分自身で十分な資産を有していた。しかし、信託には、毎年の信託収入の分配は、A、B、Cのそれぞれに等しく分配されることが明示されていた。

Tに与えられた分配に関する明示的な指示にもかかわらず、Tは、SはA、B、Cの事情を知らず、予見することもできず、その真の目的は子供たちの生前の世話を確実にすることであると推論した可能性がある。

したがって、Tは受託者としての行為に合理性があったかもしれないが、信託で明示された方向性があるため、危ういかもしれない。Tは、Sの真の目的に従って行動していたことを示すために、外在的証拠を用いなければならない可能性が高いでしょう。

b) 信託に従った分配の義務

受託者は、信託証書で与えられた指示に従い分配する義務がある。この義務は、受託者が設定者が定めた特定の指示と矛盾する方法で行動した場合に違反する。

ここで、信託は、**A**、**B**、**C**に毎年均等に分配することを明示した。しかし、**T**は、信託収入の大部分を**A**に分配し、**B**と**C**にはほとんど分配しないことを一方的に決定した。これは、**S**が信託証書で与えた指示と明らかに矛盾していた。

したがって、**T**は信託に従って行動する義務に違反し、**B**と**C**に対して、分配されたものと信託に基づいて受けることができるものとの差額を賠償する責任を負うことになります。

c) 受益者を平等に扱う義務

受託者は、信託の目的に従って、各受益者に対して同様の配慮と尊重を行う必要がある。

ここで、**T**は**A**の病状を理由に同情し、**B**と**C**は "自分の資産を十分に持っている "という理由で、あまり気にしていなかった。受益者が信託の外で利用できる資産を持っているからといって、ペナルティを与えるのは公平・平等な扱いとはいえない。受託者のこのような行為が許されるとすることは、信託の設定者が信託財産を誰に残すかという能力を放棄することになる。信託は、困っている人のためだけに設定されるのではなく（前述したように、これは支援信託ではありません）、むしろ設定者が利益を分配したいと思う人の利益のために設定されます。

したがって、**T**は**B**と**C**を**A**と同じように扱っておらず、義務違反の責任を負うことになり、やはり上記のような救済措置がとられます。

d) セトルダーの指示に従う義務

受託者は、設定者から与えられた指示に従う義務を負っています。

ここでは、A、B、Cに均等に分配するよう指示されていたが、Tは、上述のとおり、これを行わなかった。

したがって、Tは、設定者の指示に従うという義務に違反した。

質問1 回答

B

1) デイブの信託財産に対する持分 早産

児の場合

デイブは、サムが設定した信託証書には特に規定されていなかった。というのも、信託にはアン、ベス、キャロルの3人しか書かれていなかったからです。そのため、通常、Daveは信託の中で何の利害関係も持たないこととなります。しかし、pretermitted childであることを示すことができれば、信託の利害関係を持つことができるかもしれません。Pretermitted Childとは、遺言の執行後に生まれたり発見されたりした子供のことです。この場合、DaveはSamの死亡時に25歳であり、Samは死亡のわずか2年前に信託と遺言を実行したので、信託と遺言の実行後に生まれたわけではないと推測される。しかし、[彼]はデイブの存在を全く知らなかった。したがって、DaveはSamのpretermitted childであり、Samの遺産の一部を受け取る権利がある可能性があります。

嫡出でない子供は、故人の遺産から嫡出であるはずの取り分を受け取る権利があります。しかし、被相続人が遺言ですべての子供を除外し、その意図が文書に記載されている場合は、この遺留分を得ることはできません。しかし、サムは自分が知っている3人の子供に収入を分配するために信託を作成したのですから、このようなケースはありません。さらに、被相続人が生前贈与信託などの別の方法で、子の遺留分の代わりとなるように子の養育を行った場合、予後不良の子は遺産に対する権利を有しません。この場合も、生前贈与信託がDaveのために用意されていなかったため、このようなことは起こりません。したがって、Daveはpretermitted childであり、故人の遺産に対する持分を除外するような例外は適用されないため、彼は遺産の遺留分を受け取る権利がある。

Daveの遺留分は、遺産の25%に相当することになります。これは、サムが亡くなったとき、彼には4人の子供がいて、男やもめであったからである。また、サムには生きている兄弟や両親がいたとは書かれていない。サムの4人の子供は全員サムが生存していたため、サムが遺言を残して死亡した場合、各子供は一人当たりの計算に基づいて自分の取り分を受け取るようになります。したがって、サムが遺贈された場合、サムの4人の子供たちはそれぞれ25%の遺産を受け取る権利を持つことになります。デイブが受け取る権利の計算には、信託の価値も含まれます。遺産には、被相続人が取り消し可能な生前信託で保有していた資産も含まれると考えられるからです。ここで、サムが作成した信託は、取り消し可能な生前贈与宣言信託である。Daveは、他の子供たちに与えられたものを減額することで、遺産に対する自分の持分を受け取ることができるようになります。この軽減は法律の運用によって行われ、Ann、Beth、Carolの3人の持分はそれぞれ遺産の1/3から25%に減少することになります。

2) 信託の終了

信託を終了させるには、いくつかの方法があります。信託が終了するのは、信託の終了を求める書面の特定の条件が満たされたときである。このケースでは、信託は、3人の指定された子供のうち最後の1人が死亡したときに終了すると記載されていました。この場合、指定された3人の子供たちはまだ生きているので、信託は終了しません。

また、信託は、信託の目的が達成され、受益者及び受託者全員が信託の終了に同意した場合に終了させることができます。このケースでは、このオプションは利用できないようです。信託には明記された目的はなかったが、サムの子供たちそれぞれに均等に支払われることが規定されていた。したがって、信託の目的は、サムの子供たちが生きている限り、彼らを養うことであると思われる。3人の子供たちはまだ生きており、まだ扶養することができるため、この目的は満たされていない。また、受益者全員が信託の終了に同意することも明らかではない。信託の解約を訴えているのはベスとキャロルだけであり、アンやデイブが解約に同意する気配はない。

さらに、信託は、受益者全員が信託の終了に同意した場合にも終了させることができる。上記の通り、AnnやDaveが同意する気配がないため、受益者全員が信託の終了に同意するかは不明である。また、この信託には、指定された3人の子供以外にも受益者がいます。信託は、3人の指定された子供のうち最後の1人が死亡した後、信託の残りの資産をサムの当時生きていた子孫に分配することを規定している。これは、オープンクラスの対象となる既得の遺留分である。このクラスは、先例となる条件がなく、確認可能な人々（Samの生きていた子孫）に設定されるため、権利化される。この持分は、持分が有効であるためには、持分の設定時に存在した何らかの生命から21年以内に権利が確定しなければならないとする永続性禁止規則に違反しない。ここでは、3人の子供のうち最後の1人が死亡したときに権利が確定する。したがって、この権利は、権利の発生時に存在した生命から21年以内に確定しなければならず、また確定する。このクラスは信託の持分を有しているため、信託の受益者である。信託の受益者全員の同意により信託を終了させる場合、彼らも同意しなければならない。彼らが信託の終了に同意することを示すものは何もないので、BethとCarolは信託の終了に成功しないでしょう。

BethとCarolは、さらに、唯一の受託者であるTaraがその職を辞し、信託自体に追加の受託者の名前がないことから、信託を終了させるべきだと主張することができる。しかし、この主張は成功しないでしょう。裁判所は、受託者がいないことを理由に私的明示信託を破綻させることを認めない。その代わりに、裁判所は単に新しい受託者を任命するだけである。ここでは、信託自体が追加の受託者を定めていないにもかかわらず、裁判所は信託を破綻させるのではなく、他の誰かを受託者として任命する。

3) 受託者の受託者としての義務

BethとCarolは、Taraが受託者としてのいくつかの義務に違反したため、Taraを訴えることで成功する可能性が高いです。信託は、受益者の利益のために受託者が保有する財産に関して、受託者型の関係を構築します。受託者は

は、これらの受託者としての義務を果たさなければならず、もし果たさなければ、信託に生じたすべての損失または損害について個人的に責任を負う可能性があります。

忠誠の義務

受託者は、誠実に、信託と受益者の最善の利益のために行動することにより、忠実義務を果たさなければならない。受託者は、自己の利益のために行動してはならない。さらに、受託者は、特定の受益者を他の受益者よりも優遇してはならない。ここで、タラは自分の利益のために行動していたことを示すものは何もなかった。しかし、タラは、他の受益者よりもアンを優遇していた。アンが深刻な医療問題を抱えていて働けないこと、ベスとキャロルが自分たちで十分な資産を持っていたことから、タラはこのような行動をとっていたのです。しかし、そのような行動をとるという良い動機にもかかわらず、タラは忠誠義務に違反しました。彼女の行動は、他の2人の受益者よりもアンを特に優遇していた。さらに、彼女の行動は、信託に含まれていた、信託からの収入を毎年、各子供に均等に分配することを要求する明示的な指示に違反した。したがって、BethとClaraは、Taraが信託に関する受託者義務に違反したことを示すことに成功した。

注意義務

さらに、受託者は、信託に関して合理的に慎重な人がするように誠実に行動することによって、注意義務を果たさなければなりません。ここで、タラは、アンに対してほぼすべての収入を提供することによって、子供たちそれぞれに等しく収入を分配することを要求する信託に含まれる明示的な指示に従わなかった。この明示的な指示に従わなかったことは、タラが信託に関して合理的な慎重さを持つ人が行動するような行動をしていなかったことを示している。むしろ、合理的な判断力を持つ人であれば、信託に含まれる指示に従うはずである。したがって、BethとCarolは、Taraが受託者の注意義務に違反したことを示すことができる。

その他の業務

タラが、投資義務、受益者への説明義務、信託資金の表示義務、信託資金を他の資金から分離して保管する義務など、他の受託者義務に違反した可能性はある。しかし、事実は、タラが信託に関して負っていた他の受託者としての義務に違反したことを示すものではありません。

レメディウム

受託者としての義務に違反したTaraは、受益者に対して人格的責任を負う可能性がある。BethとCarolは、信託の下で受け取るべきであった収入額の損害賠償を求めてTaraを提訴することができる。別の方法として、ベスとキャロルは、アンが信託から受け取る権利を超えて受け取った超過収入から、仮説的信託を創設するよう訴えることができる。このようなシナリオでは、アンは仮説的受託者として超過所得を保有し、それをベスとキャロルに返還することが要求されることになります。



カリフォルニア州弁護士会
司法試験委員会／入試事務局

180 Howard Street - San Francisco, CA 94105-1639 - (415) 538-2300
845 S. Figueroa Street - Los Angeles, CA 90017-2515 - (213) 765-1500

きじゅつもんだい

2013年7月 カリフォルニ

ア州司法試験

本書は、2013年7月に実施されたカリフォルニア州司法試験の論文問題6問と、各問題に対する選択解答2問を収録しています。

答案には高い評点が付けられ、一読して合格した志願者が書いたものである。解答は、読みやすくするためにスペルや句読点に若干の修正を加えた以外は、応募者が提出したものをそのまま作成しました。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

<u>質問番号</u>	<u>主題</u>
1.	プロフェッショナルとしての責任
2.憲法	
3.	共同体財産
4.	契約内容
5.	遺言書・信託書
6.	レメデイ

質問5

2000年、テッドはウィルマと結婚し、その間にシンディという子供をもうけた。ウィルマには、以前の結婚でできた幼い息子、サムがいた。テッドは、「テッドの遺言」と題する文書をタイプし、日付とサインを入れた。テッドの遺言は次のように規定されていた。「私は1万ドルを義理の息子に贈る。私は、1万ドルを義理の息子に贈る。私は、私のすべての共有財産のうち、私の取り分を妻に遺す。私は、私の別個の財産からなる遺留分を、娘のシンディに遺す。私はここに、ジェーンをこの遺言の執行者に任命する。」

テッドはその書類に書かれた自分のサインをジェーンとドットに見せ、「これは私の遺言のサインです。お二人とも証人になっていただけますか？」ジェーンは自分の名前にサインをした。ドットがサインをしようとした時、携帯電話が鳴り、緊急事態を知らせたので、彼女はすぐにその場を離れた。翌日、テッドはドットに会った。彼は遺言書を持っていて、ドットにサインを求めた。彼女はそうした。

2010年、ウィルマは全財産をテッドに残して亡くな

りました。2011年、テッドはバーサと結婚した。

2012年、テッドは自らの手で「私はバーサと結婚しており、私の遺言の中で「私の妻」とあるのはすべてバーサを指している」と書いた。と日付とサインを入れた。

最近、Tedは、Berthaと所有していた60万ドルの自宅の2分の1の共有財産分与30万ドルと、分離財産の銀行口座の30万ドルからなる60万ドルの遺産で死亡しました。

バーサ、サム、ドット、シンディは、テッドの遺産に対してどのような権利を持っているか（もしあれば）。議論してください。カリフォルニア州法に従って答えなさい。

選択回答

問題は、バーサ、サム、ドット、シンディがテッドの遺産に対して権利を持つかどうかである（もしあれば）。これを決定するにあたっては、まず、テッドが実行した遺言文書の有効性を検討することが重要である。

テッドの2000年遺言

まず、2000年に執行されたテッドの遺言が有効であるかどうかを検討することが重要である。これを判断するためには、(i)遺言能力、(ii)遺言意思、(iii)形式が満たされているかどうかを検討する必要があります。

遺言能力

遺言者は、法的能力および精神的能力を有していなければなりません。

まず、法的能力は、遺言者が遺言執行時に18歳以上であることを必要とします。ここで、テッドは結婚しており、子供もいたことから、テッドは18歳以上であったと推定される。

第二に、精神能力は、最低限の精神能力テストを満たすことが必要である。すなわち、遺言者は、(i) 自分の恩恵（人間関係）の性質を理解し、(ii) 自分の資産の性質を理解し、(iii) 自分の行為の性質を理解していなければならない。

第一に、テッドは遺言書に継子、友人ドット、娘シンディ、妻について記述していることから、テッドは自分の関係の本質を理解していたと思われる。第二に、テッドは、継子と友人に1万ドルを与え、妻に共有財産の株式を残していることから、資産の性質を理解している可能性が高い。第三に、テッドは、自分がタイプした文書に "Will of Ted" と題したことから、自分の行動の本質を理解している可能性が高い。

要するに、最低限の精神能力テストは満たしている可能性が高いということです。

さらに、テッドが心神喪失の妄想に苦しんでいるかどうかを検討する。この教義では、遺言者が精神的欠陥によって心神喪失の状態に陥り、そのような心神喪失がなければ、その文書または遺言書の条項が作成されなかった場合、遺言者は能力を有しない。ここで、事実はテッドが精神的欠陥や心神喪失の妄想に苦しんでいたことを示すものではない。

つまり、テッドには遺言能力がある。遺言の意思

遺言者は、重要な規定を有し、執行人を任命する文書から推測される、現在の遺言の意図を持たなければなりません。

ここで、テッドは「テッドの遺言」という文書を作成し、自分の財産を分配する規定と遺言執行者を任命する規定を設けた。つまり、テッドには遺言の意思がある。

詐欺、不当な影響、錯誤がないか、条件付遺言や偽装遺言がないか、に注意することが重要です。これらの事例のいずれかが発生した場合、遺言の意図が否定される可能性があります。本事実には、詐欺、不当な影響、ミス、あるいは遺言が条件付き遺言や偽遺言であることを示唆、反映していない。

したがって、テッドは、この文書を実行する際に遺言的な意

思を有する。形式的なもの

遺言には、自筆証書遺言と認証式遺言があります。

認証された遺言が有効であるためには、遺言者が署名した書面であり、かつ、少なくとも2人の証人が署名していることが必要です。なお、2人の証人は、遺言者が遺言書に署名したとき、または遺言書に署名したことを認めたときに、遺言者の面前にいないと認められず（面前には視覚、聴覚などを含みます）。なお、証人は、遺言書の証人として署名する必要はありません。

遺言者の立会い、またはお互いの立会いのもとで行います。証人は、遺言者が死亡する前に遺言書に署名すればよい。

ここで、テッドは遺言書をタイプし、日付と署名をした。次に、彼はジェーン、ドットの2人にその文書のサインを見せ、"これは私の遺言のサインです。お二人とも証人になっていただけますか?"

ジェーンがサインをし、ドットがサインをしようとしたところ、携帯電話が鳴り、緊急事態を知らせたので、ドットはその場を離れた。しかし、翌日、テッドはドットを見つけ、ドットに遺言書にサインするよう頼み、サインをした。

上記の事実を踏まえると、ここでは、遺言者が遺言書への署名を認めたとき、両証人が遺言者の前にいたこと、両証人がテッドの死亡前に遺言書に署名していたことがあげられます。

このように、遺言は書面であり、遺言者と少なくとも2人の証人が署名しているので、遺言は有効です。

利害関係者証人

遺言に署名し、遺言に基づく贈与を受けている証人は、利害関係証人です。利害関係人の証人による遺言書の署名は、遺言書を無効にするものではありません。その代わりに、利害関係のある証人には、不当な影響や詐欺の反証可能な推定が適用されます。証人がこの推定を反証できない場合、贈与は失敗し、証人は遺言者から遺留分のある金額だけを得ることになります。ただし、遺言の中で受託者名義や遺言執行者名義を与えられた者は、利害関係人とはならないことに注意してください。

ここでは、Jane と Dot が証人である。Janeは遺言執行者に任命されているため、前述の通り利害関係証人ではない。ドットはテッドの友人であり、遺言で10,000ドルを付与されており、利害関係人証人である。そのため、ドットには不当な影響/詐欺の反証可能な推定が適用される。ドットがこの推定を覆すことができない場合、贈与は無効と

なり、遺留分に入るので、ドットは以下のことだけを行う。

ドットはテッドの友人であり、遺贈を受けることはないので、ドットは遺贈を受けることはない。ドットが推定を覆すことができた場合、ドットは贈与を受ける権利がある。

今回の事実は、ドットに不当な影響や詐欺があったかどうかを示していない。しかし、利害関係人の問題は、コディシルによる再発行（下記参照）により解決される可能性があることに留意してください。有効なコディシル（下記参照）があれば、コディシルによる再発行が適用され、利害関係人の問題は解決され、ドットは10,000ドルを受け取ることができるようになります。

2000年の遺言が有効である以上、2012年のテッドによるメモが有効なコディシルであるかどうかを検討することも重要である。

2012 ノート by テッド

問題は、テッドによる2012年のメモが有効なコディシルであるかどうかである。コディシルとは、遺言書に付随して書かれるもので、コディシルが無効でも遺言書が無効になるわけではないことに注意する。ただし、無効な遺言書があっても、遺言書が無効になるわけではない。すなわち、(i)遺言者に意思能力があり、(ii)遺言者に意思があり、(iii)すべての形式が満たされている場合、コディシルは有効であるとされています。

遺言能力

上記のルールを参照してください。

まず、法的能力についてですが、上記をご参照ください。

次に、精神的能力についてであるが、2012年にテッドは "私はバーサと結婚しており、私の遺言における妻への言及はすべてバーサに対するものである。"と書いている。このような書き出しは、テッドが自分の遺言に言及する行為、関係、資産の性質を理解していたことを反映しており、「私の妻に」という言葉が、ウィルマの2010年の死後に

結婚した女性、ベルサであることを明確にしています。

つまり、テッドに遺言能力があったことを裏付ける事実がある

。遺言の意思

上記のルールを参照してください。

ここでは、書面の記述に基づき、遺言の意思があると思われる。また、事実上、詐欺、不当な影響、錯誤は認められない。

手続きについて

ホログラフィックコーディシルは、書面で、遺言者が署名する必要があります。なお、書面はどのような紙や表面にも書くことができます。

ここにテッドは自筆で "私はバーサと結婚しており、私の遺言で「私の妻」とあるのはすべてバーサを指している "と書いている。

コーディシルが署名され、テッドの筆跡であることを考えると、コーディシ

ルは有効である。まとめると、**2000年の遺言と2012年のコーディシルは、ど**

ちらも有効である。

統合

統合とは、物理的・法的なつながりのあるすべての文書を、遺言者の死後、一緒に読むことを意味します。

ここでは、**2000年の遺言書と2012年の遺言書 (codicil)** は有効であり、互いに法的なつながりがある。したがって、両者を併読することになる。

テッドの遺産分配について

テッドの死後、彼の遺産は、彼の2分の1の共有財産である
バーサと所有していた60万ドルの家に30万ドル、さらに別の家に30万ドル。

財産の銀行口座です。テッドの遺産は、以下のように分配されるべきである。

義理の息子に10,000ドル

テッドの2000年の遺言には、"義理の息子に1万ドルを贈る"と書かれています。これは一般贈与である。一般贈与とは、一般財産で満たすことができる贈与のことである。

ここでは、テッドの連れ子はウィルマの幼い息子サムと推定される。なお、遺言に曖昧な点がある場合、裁判所は曖昧な点（潜在的な曖昧さか特許的な曖昧さかを問わない）を明確にする外在的証拠を考慮することになる。この場合、裁判所は、TedがWilmaと先に結婚しており、そのWilmaには先妻との間に幼い息子Samがいたことを考慮すると思われる。したがって、この解釈に対して反対意見があったとしても、裁判所は、サムがテッドの連れ子であると認定する可能性が高いと思われます（反対する証拠がないため）。

2000年の遺言が有効であり、2012年のコーディシルが継子への一般贈与に関して遺言を取り消したり修正したりしていないことを考えると、継子は30万ドルの別財産銀行口座から1万ドルを受け取る権利がある。

10,000ドルからドット

上述の通り、2000年の遺言執行時、ドットは利害関係人であった。しかし、上述したように、2012年のコーディシルは有効であったため、コーディシルによる再発行が効力を発揮した。つまり、裁判所は、2000年の遺言ではなく、2012年の遺言の実行時に利害関係人がいたかどうかだけを検討することになります。

その結果、コーディシルによる再発行により利害関係人の問題は解消され、ドットはテッドの遺言で贈られた1万ドルを受け取る権利が発生する。この1万ドルは、継子への贈与について述べたのと同じ理由で、一般贈与となる。従って、\$10,000は\$300,000の別財産銀行口座から充当されることになる。

共同財産を "私の妻" に

ここで、**2000年**の遺言は、テッドの「共同財産」をすべて妻に譲るというものである。さらに、**2012年**のコーディシルでは、テッドは "私はバーサと結婚しており、私の遺言における妻への言及はすべてバーサを指す。" と書いている。

なお、裁判所は、**2012年**の「私の遺言書」の参照を参照による取り込み行為とみなすと思われます。遺言者は、その文書が現存し、十分に説明されており、遺言者がそのように意図している限り、あらゆる文書を参照によって取り込むことができる。ここで、テッドは自分の「遺言書」に言及することで、自分の遺言書を参照により取り込んでいる。遺言書はコーディシルの時点で存在し、コーディシルは遺言書を具体的に参照しているため、裁判所はテッドが遺言書を取り込むことを意図したと推定する可能性が高い。

さらに、前述したように、裁判所は遺言文書に曖昧な点がある場合、外在的証拠を考慮する。したがって、裁判所は、**2010年**にウィルマが死亡した後、**2011年**にテッドがバーサと結婚したという事実とともに、コーディシルを考慮することになる。

要するに、参照による取り込みであれ、外在証拠を考慮することであれ、裁判所は "to my wife" という文が "Bertha" を特定するためのものであることを認めることになる。

その結果、コーディシルと遺言を合わせて、バーサはテッドがバーサと所有していた**60万ドル**の家について、テッドの**2分の1**である**30万ドル**の共有財産分を受け取る権利を得た。

シンディへの遺留分

遺留分とは、遺産の分配後に残ったものを贈与することです。

ここで、テッドの**2000年**の遺言には、"私の別個の財産からなる遺留分を娘のシンディに残す" と書かれています。

これは遺留分贈与であるため、シンディは遺留分として残っているものを取得します。
つまり、サムとドットに支払った2万ドルを差し引いた後、テッドの娘であるシンディは
以下の権利を得る。

別財産の銀行口座の**28万ドル**。

結論として、バーサ、サム、ドット、シンディは、上記のようにテッドの遺産について権利を有する。

選択回答B

便宜上。テッド=T、ウィルマ=W、サム=S、ドット=D、ジェーン=J、バーサ=B

a. Tの2000年遺言は有効か？

それぞれの当事者の権利は、Tの2000年の遺言が有効かどうかによって決まります。

容量について

有効な遺言をするためには、遺言者がその能力を有している必要があります。遺言者が意思能力を有するのは、18歳以上で、自分の財産の性質と範囲を理解し、自分の恵みの自然物（人間関係）を理解し、遺言行為の性質を理解しているときである。

ここで、Tは結婚しており、18歳以上であると推定される。また、Tは遺言書と称する文書を作成し、「Will of Ted」と題し、現金と共有財産に言及した財産処分を行った。そして、友人、連れ子、妻、娘に贈与を残している。したがって、Tは、自己の財産の範囲、他者との関係、遺言行為の内容を知っていたといえる。したがって、Tにはこの遺言を作成する能力があった。

現在の遺言の意思

また、遺言者は、自分の死後、遺言を有効にする意思を現在持っていなければならない。ここでは、上記の理由と、証人としてDotとJaneに署名させたことから、Tのこの遺言を有効にする意思を満たしている可能性が高い。したがって、現在の遺言の意思は満たされている。

証明された遺言の有効性

認証付き遺言とは、証人付き遺言のことです。遺言が有効であるためには、遺言者が署名し、その署名が2人以上の証人の共同立会いのもとで行われたか、その証人の共同立会いのもとで承認され、証人がともに遺言者の生存中に署名し、証人が遺言に立ち会っていることを理解していることが必要である。

ここで、Tは自分の遺言書と称する文書を作成し、日付と署名をした。さらに、JaneとDotと一緒にいるときに近づき、「これは私の遺言の署名です。お二人とも証人になってくれませんか?」と言った。したがって、彼は2人以上の証人の共同立会いのもとで書かれた遺言書に自分の署名を認めたことになる。

しかし、彼がサインを認めた後、すぐにサインしたのはジェーンだけでした。ドットは翌日までサインをしなかった。しかし、認証された遺言の場合、証人は互いの署名の際に2人とも同席する必要はなく、Tが遺言を承認した際に2人とも同席すればよい。したがって、この要件は満たされており、ドットは翌日、証人として有効に署名した。

両証人はTの生前に署名しているため、Tが署名を認めたときに両証人は立ち会い、Tの陳述と証書の確認により、両証人はTの遺言に立ち会っていることを理解していました。

したがって、これは有効な遺言書であ

った。利害関係人証の問題

証人は、遺言の証人であり、かつ、遺言の下取りをする場合には、利害関係人とみなされます。ただし、証人がいないことによる遺言の効力には影響しませんが、利害関係人である証人の贈与には影響が出ます。したがって、Dが遺言の下敷きになったとしても、証人になることは可能である。彼女の贈与については、後述する。

さらに、Jも証人として遺言に名を連ねていますが、遺言執行者の立場で名を連ねているだけなので、利害関係人とは言えません。

ホログラフィックウィル

遺言は、すべての重要な用語が遺言者の筆跡であり、遺言者が遺言書に署名している場合、ホログラフィック遺言として有効である。すべての重要な条項とは、贈与と受益者の命名のことをいう。ここで、この文章はすべてタイプされたもので、Tの自筆ではありません。したがって、これは有効な自筆証書遺言とはいえないだろう。

遺言の条件

2000年の遺言は有効なので、Tの財産の処分は、特に変更または取り消しができない限り、

これに従って行われることになる。その条件は次の通りである。

義理の息子に10,000ドル

10,000ドルからD

Tの「妻」に共有財産の私の持分全部を遺贈 Jに遺贈

。

b. ベルタの権利

遺言では、Tの共有財産に対する持分はすべて "妻 "に渡ることになっていました。Tは **Bertha**と所有していた家の共有財産権30万ドル。 **Bertha**は、これによって2つの理由で彼の共有財産の持ち分を取ることができると主張するだろう。

妻」への言及は独立した意味を持つ行為なのか

遺言では、将来起こるべき出来事に基づいて、贈与の完了を認めることができます。これを独立の意義のある行為といいます。独立の意義のある行為として有効な要件は、その出来事が遺言の作成過程以外のところで独立の意義を有することです。

ここで、Tは共有財産の取り分を "妻 "に渡すと述べている。したがって、この贈与は、Tが死亡時に妻がいることを条件とするものである。婚姻は遺言作成とは別個の意義があるので、これは独立した意義のある行為を条件とする有効な贈与であり、**B**が30万ドルの共有財産権を取得することができるようになる。

有効な遺言書

コーディシルとは、遺言書を修正、変更、または取り消すための文書です。有効であるためには、遺言に必要な手続きに準拠する必要があります。

ここで、**B**は、2000年の遺言で**B**をTの妻としたTの2012年の手書きのメモが、**B**が家の共有財産分を取得することを認める有効な共付書であると主張することになる。したがって、この文書の有効性は、その形式的な遵守に依存する。

認証された遺言書

上記の証明付き遺言のルールを参照してください。この証書は、立会いがないため、認証された遺言書としての資格はないでしょう。したがって、これを根拠に有効な遺言書とすることはできません。

ホログラフィックウィル

上記の自筆証書遺言に関するルールを参照してください。ここで、これはTが署名したもので、自筆である。そのため、すべての重要な条件が記載され、Tの自筆で書かれている。したがって、これは有効なホログラフィックコーディシルである。

参照による組み込み

遺言書は、文書に言及していることが明らかで、その文書が遺言書の執行時に存在し、その文書が遺言に組み込まれることが遺言者の意図であった場合には、贈与を完了するための文書を参照することが認められています。

ここで、**2012年**の証書において、Tは自分の前の遺言を明確に特定し、その遺言は既に存在しており、また、Tがこの証書を使用して、すべての言及はBにあることを説明しているように、この現在の証書に遺言を組み込む意図があった。したがって、彼の前の遺言は、**2012年**の証書における贈与を完了するために有効に組み込まれた。

したがって、BはTの住宅に対する**30万ドル**の共有財産権を取得することになります。

c. サムの権利

2000年の遺言では、Tの「継子」に対して**10,000ドル**の贈与が行われている。しかし、Tの連れ子は、この証書によって特定されていない。

アンビギュイティ

コモンローでは、パロール証拠（遺言書以外の証拠）は、遺言書の特許上の欠陥を修正することは認められていませんでした。仮証拠は潜在的な曖昧さを修正するためにのみ認められていた。受益者の身元が確認できない場合、遺言には明白な欠陥があるとされた。

ここで、贈与にはTの連れ子としか書かれておらず、Sと思われるが、TはWilmaの死後婚姻関係がなくなり、Bにも先妻との間に息子がいるようには見えないので、もはや連れ子がいるのかどうかは不明である。したがって、慣習法上、この贈与は受益者の特定ができないとして不成立となる。

しかし、CA州では、遺言者の意図をより忠実に実現するために、潜在的であれ特許的であれ、あらゆる曖昧さを解消するために、すべてのパロール証拠を認めています。

したがって、Sは、2000年の遺言が作成された当時、自分がTの連れ子であり、贈与がSに渡るとはTの意思であったという証拠を提出することができます。この証拠は、裁判所によって適切に認められ、贈与がSに渡ることを認める可能性が高いでしょう。

したがって、Sは10,000ドルを受け取る可能性が高い。

d. D権

2000年の遺言では、Dは10,000円の贈与を主張する

。利害関係人問題

提示された問題は、Dが2000年の遺言の証人であると同時に受益者であったことである。遺言の証人が受益者でもある場合、その証人が遺言の作成過程で不当な影響を及ぼしたという反証可能な推定が成り立ちます。証人が親族である場合、親族は自分の遺留分を上限として贈与を受けることができるが、遺留分を持たない非親族は全く受けることができない。

ここで、DはTの友人として具体的に記載されているため、非親族である。したがって、推定を覆すことができない場合、彼女は遺言により何も受け取らないこととなります。彼女は、不当な影響がなかったことを明確かつ説得力のある証拠で示すことによって、この推定を覆すことができる。ここでは、Dが贈与を不正に調達したことを示唆する事実はない。Tは自分で遺言書を作成し、その後、Dへの贈与を有効にすることなく、上述のようなコーディシルを実行し、Tからサインを求められたDは贈与について何も言っていない。したがって、推定は覆される可能性が高く、Dは、自分の意思で利害関係人であっても1万円の贈与。遺言

書による復権

有効なコーディキルが実行されると、遺言の実行日が更新され、その日

が実行されたことである。ここでは、上述のように、Tは2012年に有効なコーディキルを実行していた。したがって、遺言は、コーディキルによって再公布されたこととなります。さらに、遺言の再公表とみなされたため、利害関係人が共証の証人でもあり、共証に基づいて新たな贈与を行う場合を除き、遺言に関する事前の利害関係人の問題は治癒されます。

ここでは、上述のように、Tは2012年に有効な共付書を実行し、この共付書はホログラフィックであった。Dはこの証書を目撃しておらず、また、この証書には名前が記載されていない。したがって、これは、Dが2000年の遺言の証人であり、受益者であることによってもたらされた利害関係人の問題を解決する再公表となったものである。

したがって、仮にDが不当な影響力の推定を覆せなかったとしても、コーディキルによる再発行があるため、Dは1万ドルの贈与を受けることになります。

e. Cの権利

上述したように、Sは1万ドル、Dは1万ドル、BはTの30万ドルの共有財産権を取得する。したがって、Tの遺産には28万ドルが未処分として残ります。

遺言で処分された遺産の残りを遺留分といいます。処分の指示がない限り、遺留分は遺留分として分配されます。しかし、遺言者は、特定された受益者に遺産の残余を残す遺留分条項を含めることができます。

ここで、Tは遺留分を娘Cに渡すと定めたので、Cは遺留分権利者であり、遺言で特に処分されなかった28万ドルを受け取ることができることとなります。

したがって、CはTの30万ドルの分離財産のうち、28万ドルを取得する。



カリフォルニア州弁護士会
司法試験委員会／入試事務局

180 Howard Street - San Francisco, CA 94105-1639 - (415) 538-2300
845 S. Figueroa Street - Los Angeles, CA 90017-2515 - (213) 765-1500

きじゅつもんだい

2014年7月 カリフォルニ

ア州司法試験

本書は、2014年7月に実施されたカリフォルニア州司法試験の論文問題6問と、各問題に対する選択解答2問を収録しています。

答案には高い評点が付けられ、一読して合格した志願者が書いたものである。解答は、読みやすくするためにスペルや句読点を若干修正した以外は、応募者が提出したものをそのまま作成しました。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

<u>質問番号</u>	<u>主題</u>
1.	契約書・領収書
2.	エビデンス
3.	企業団体／プロフェッショナリズム
4.	刑事法・刑事訴訟法
5.	信託・共有財産
6.	トーツ

質問5

HenryとWynnは2000年に結婚しました。結婚してからの10年間、ヘンリーとウィンは非共有財産制の州に住んでいた。ヘンリーは小説の執筆に取り組んだ。ウィンは歴史学の教授として働いていた。ウィンはすべての収入を別口座に保管していました。

やがてヘンリーは小説の執筆をあきらめ、ウィンとともにカリフォルニアに移住した。そしてウィンは、結婚中に稼いだお金から貯めた10万ドルで取り消し不能の信託を設定した。彼女はシスを受託者に、ヘンリーを共同受託者に指名した。信託収入の2分の1は終生自分に支払われ、残りの2分の1はチャリティに支払われ、災害救助にのみ使用され、自分の死後、残りの資産はすべてチャリティに送られると指示しました。

ウィンは全資産をXYZ株に投資し、多額の配当を得たが、価値は10%減少した。チャリティは、信託から得た収入を、災害支援ではなく、管理費にすべて費やした。

その後、姉はXYZの株をすべて売却し、その資金を新居に投資し、家賃なしで暮らした。その家は20%値上がりした。

ヘンリーはシスを背任で訴え、チャリティを管理費に使った収入の返還で訴えています。

1. ヘンリーがシスを訴えた場合、どのような結果になりそうですか？議論してください。
2. ヘンリーがチャリティを訴えた場合、どのような結果になりそうですか？議論してください。
3. ヘンリーは信託財産に対して
もしあれば)を持っているのか、
。 どのような権利（
議論してください
カリフォルニア州
法に従って答えなさい。

質問5. 選択した回答A

1. ヘンリーvs.シス

で述べたように、Henryは現在、信託財産に対して個人的な利害関係を有していない。しかし、彼は信託の共同受託者であり、このことは、受託者としてシスに対して受託者としての受託者義務違反の訴えを提起するのに十分な地位を与える可能性があります。

信託の創造

明示的私信が有効であるためには、設定者、確実な受益者、居住者、有効な目的、および受託者が必要です。ただし、受託者が定められていない場合や、選出された受託者が任務を辞退した場合には、裁判所が受託者を任命することになる。ここでは、Wynnが設定者であり、自身とCharityを終身受益者、Charityを残余受益者に指定した。自然人、団体、政府を問わず、明示的私的信託の受益者となることができる。いずれも信託証書で明示された個人または団体であるため、確認可能な受益者である。財産は、あらゆる財産または現在の利益とすることができます。ここでは、ウインの別口座からの100,000ドルである。この信託には、Wynnに生涯収入を提供することと、Charityを通じて災害救済に貢献することの2つの目的があるようです。信託が有効であるためには、信託の目的が信託文書から判断でき、かつ違法であってはならない。いずれの目的も違法ではなく、信託文書から明らかである。ウインはシスを受託者、ヘンリーを共同受託者に指定しており、事実からは、どちらかが拒否したようには見えない。彼らは有能でなければならないが、事実上、無能であることを示すものはない。

慈善信託は、飢餓の緩和、教育、宗教など、社会的な善に貢献するものを目的とする必要がある点が異なります。信託の受益者は、特定の人ではなく、不定でなければなりません。ここでは、ウイン氏が特定の人物であるため、これは慈善信託にはなり得ません。

有効な明示私信を作成した。

トラスティの権限

受託者は、信託文書自体に明示的に付与された権限と、信託の目的を実現するために黙示的に付与された権限を有する。ここでは、信託証書は、シスが収入の2分の1をウィンに、残りの2分の1をチャリティに支払うよう指示しています。これは、これらの分配を行う権限を明示的に彼女に与えたものである。

受託者の義務

受託者は、受益者の利益のためだけに行動し、自己や第三者の利益のために行動しない忠実義務を負っています。この義務は、受託者が複数の受益者に関して公平であることを要求します。ここでは、姉はウィンとチャリティを公平に扱う義務を負っている。これが取消可能な信託であれば、姉はウィンの生前、設定者であるウィンに対して第一の義務を負うことになるが、この信託は取消不能である。

忠実義務の一環として、受託者は自己取引しない義務を負っている。姉は、信託が所有する家に家賃なしで住んでいる。このように、姉は受託者としての立場から個人的な利益を得ているのです。彼女は忠実義務に違反したのです。

受託者には注意義務もあり、自分自身の問題を処理する際に慎重な人がするように行動することが要求されます。これには、受益者に定期的に説明する義務や、信託財産を自己のものと混同しない義務も含まれます。

注意義務の一環として、受託者は、合理的に判断できる投資家が行うように信託財産を投資する義務を負っています。伝統的な見解では、信託の保有物は優良株、不動産の第1信託証書、国債、その他の保守的で安全な投資などに限られていました。これを決定する際には、それぞれの個別の投資が個別に考慮されました。現代では、投資は全体として見られ、収入の必要性、税効果、特定の信託目的などの要因が考慮されます。したがって、裁判所は、シスが信託財産をどのように投資したかを、信託が生涯収入源としてより意図されていたのか、あるいは次のような贈与として意図されていたのかに照らして見る必要があるであろう。

ウィンの死後、その所得が税金にどのように影響するか、投資可能なものに照らして投資として何が妥当か、当時妥当な投資家が何をしていたか、などを考慮した上で、慈善活動を行いました。

ウィンは当初、信託財産をXYZ株で運用し、多額の配当収入を得たが、全体としては価値が下がった。これは、元本の成長よりも生涯収入を優先していることを示していると思われる。

ヘンリーは、合理的に判断できる投資家であれば、XYZ株を売却して住宅に投資しなかったであろうことを示すことができる必要があります。株式の売却自体は、価値の下落を考えれば慎重であったかもしれません。しかし、受託者は、合理的な投資家と同様に、損失のリスクを減らし、収入と成長の機会を高めるために、分散投資する義務もあります。分散投資義務は、姉がXYZ株の一部または全部を売却することを求めるかもしれませんが、同じ義務は、一般的に、すべての収益を1つの不動産につき込むことを妨げるでしょう。その場合、信託財産は、市場における不動産の下落の影響を受け、他の潜在的な投資先での利益から利益を得ることはできません。姉はおそらく慎重な投資義務に違反し、分散投資義務にも違反したことになる。

Resを生産的にする義務は、**Sis**が資産を受益者の利益のために働かせることを要求する。彼女が家賃なしで家に住んでいたとき、彼女はこの義務に違反した。家の家賃収入はウィンとチャリティに分配されるものであり、彼女のために保持されるものではない。

姉は、設定者の明示的かつ明白な意図に基づいて、収入が最大化されるようにすることで、信託の目的を達成する義務がある。姉は、収益株を売却し、現在信託に収益をもたらさない家を購入することで、その義務を果たしていない。

ヘンリーは現在、共同受託者としてこれらと同じ義務を負っているため、他の受託者の不正行為を防止する義務を負っている。したがって、彼は信託の受託者として、義務違反のためにシスに対して訴訟を起こす資格を有する。

使用可能なレメディ

義務に違反した受託者に対する救済措置としては、解任、逸失利益に対する課徴金、受託者が不当に取得した利益の没収などがある。この利益は、信託受益者の利益のためのみ行動しているヘンリーには及ばない。

ヘンリーは、信託が所有する家に住んでいたときにシスが支払うべきであった家賃の会計処理を求めるでしょう。これらの資金は、姉が個人的に支払わなければならない。さらに、生涯所得を最大化するはずのXYZ株または同様の投資による所得が失われたことに対する課徴金を請求することになります。姉は不足する収入を自己資金から補わなければならない。

最後に、HenryはSisを管財人として解任することを求めるでしょう。裁判所は、Henryが単独で受託者として行動することを認めるかもしれないし、他の誰かを任命するかもしれない。

シスの義務違反、信託の明白な目的を考慮すると、裁判所はこれらの救済措置をすべて認めることになります。

2. 慈善信託は、私的な訴訟ではなく、司法長官によって執行されます。Charityが慈善信託である場合、Henryは訴訟を起こす資格を持ちません。

ヘンリーがウィンの信託の共同受託者としての地位を有すると仮定すると、管理目的に使用された信託の資金をチャリティに追跡することによって、仮説的信託を求めることができる。この場合、チャリティの建設的信託の受託者としての唯一の義務は、指示されたとおりに資金を使用することであることになる。

3. カリフォルニア州は共同財産（CP）州である。カリフォルニア州または他のCP州に居住している間に結婚中に取得した全ての財産はCPであると推定されます。結婚前または別居後に取得した全ての財産は、別居財産と推定されます。さらに、贈与、降下、献身、遺贈によって取得されたすべての財産は、CPであると推定される。

非CP州に居住していた時に結婚中に取得した財産で、CA州に居住していればCPとなるものは、全て準CP（QCP）と推定されます。婚姻終了時に、財産の性格を判断するために、裁判所は、財産の取得に使われた資金の出所、適用される推定、財産の性格を変える可能性のある配偶者の行為に注目することになります。形が変わっただけでは、財産の性格は変わりません。

ソースはこちら

ここで、唯一の信託財産である家の資金源は、XYZ株にさかのぼり、さらにWynnの歴史学教授としての収益にさかのぼることができる。共同労働による収益はすべてCPであるため、これらの収益は、配偶者がその収益を得た時点でCAに居住していた場合、CPとなる。したがって、定義上、これらはQCPである（上述で定義）。婚姻中は、QCPは所有する配偶者のSPである。離婚や配偶者の死亡の際には、QCPとしての性格が財産の決定に影響する。

推定値です。

婚姻中に取得した資産はすべてCPと推定される。しかし、前述のように、家の源泉は収益であり、婚姻関係が終了するまではWynnのSPである。また、配偶者は、ルーカスのもとで配偶者の死亡時に発生する共同体への贈与など、推定を高める方法で所有権を取得することができます。しかし、Wynnは資金を別口座に保管し、その資金で取り消し不能の信託を作成したので、事実上、所有権の変更は示されていない。

配偶者の行動

配偶者は、変換またはその他の行為によって、自身のSPの性格を変更することができる。ヘンリーは、ウインの別会計から信託への変更はそのような転化であると主張するかもしれない。しかし、変造が有効であるためには、不利益を被る配偶者が署名した書面が必要であり、変造の意図が明確に表現されていなければならない。これはここでは明らかではないので、転化は行われていない。

資産配分について

離婚時、QCPはCPとして扱われ、これによりHenryはQCPの半分を得ることができる。また、どちらの配偶者が亡くなるかによって、死がキャラクターに影響を与えます。SPオーナー（ウィン）が非オーナー配偶者に先立たれた場合、非オーナー配偶者はQCP資産に手をつけるために、強制的にシェアを選ぶ（遺言に反する形で取る）ことができます。しかし、非所有者の配偶者が先に亡くなった場合、もう一方の配偶者に帰属するQCPをdeviseする権利はない。

その結果、ヘンリーは信託財産に対する直接的な権利を有しない。ウィンが離婚または死亡した場合、彼は上述のような権利を取得することになる。

質問5. 選択した回答B

1. ヘンリーがシスに対して訴えた結果、どのようなことが考えられるか

受託者は、信託の受益者に対して忠誠と配慮という受託者としての義務を負っている。受託者は、受託者としての義務に違反した共同受託者に対して訴訟を提起し、違反した受託者をその地位から解任するよう働きかけることができる。

A. 注意義務

一般的に、受託者は受益者に対して、同様の状況下で合理的に慎重な人物として行動する注意義務を負っています。これには、信託の利益のために最大のリターンを生み出す方法で信託財産を慎重に投資する義務も含まれます。

i. 慎重な投資

受託者は、信託受益者のために投資による利益を増大させるよう、信託資金を慎重に運用する義務がある。ここで、シスは信託内のXYZ株をすべて売却し、その代金を住宅購入の費用に充てた。シスは、XYZの株式は10%価値が下がったのに対し、住宅の価値は20%上昇したため、これは慎重な投資であると主張するでしょう。その結果、信託財産の価値が高まった。しかし、ヘンリーは、不動産市場で大きく変動する可能性のある1つの不動産に信託財産のすべてを縛り付けることは、慎重な投資ではないと主張することでしょう。むしろ、シスは信託財産をより安定的で幅広いものにするために、XYZ以外の他の会社の株式に分散投資すべきだったと主張するだろう。

これらの主張から、全株式を1区画の不動産に交換することは慎重な投資ではないと主張するシスに対して、ヘンリーが勝訴する可能性が高いと思われる。

ii. 多様化する義務

また、受託者は、信託が保有する株式を分散させる義務を負っている。ここでは、前述のように、信託は当初XYZの株式しか保有していなかった。ヘンリーは、シスには他の企業の株式も含めて分散投資する義務があり、信託財産を流動性が低く、価格や価値の市場変動の可能性がある1つの財産に集約することは分散投資義務に違反すると主張するだろう。

A. 忠誠の義務

受託者は受託者であり、受益者と信託の委託者に対して忠実義務を負っている。したがって、シスは信託のために最善の利益のみを考えて行動するという忠実義務を負っている。

i. 自己取引回避の義務

受託者は、信託財産に関する自己取引を回避する義務がある。受託者は、受託者が個人的に利益を得るような財産を売却する場合は、事前に裁判所の承認を得なければなりません。ここで、シスは信託財産をすべて売却し、その売却代金で家賃無料で住んでいる家を購入した。したがって、彼女は信託財産を個人的な利益のために使っていることになり、これは裁判所の承認がない限り許されない。自己売買の主張を回避するために、彼女は不動産を使用するための公正な市場賃料を信託に支払う義務がある。

したがって、Sisは自己取引回避義務に間違いなく違反している。

ii. すべての受益者に対する公平性

また、受託者は、収入受益者と主たる受益者の両方に対して公平かつ公正に行動する義務を負っています。受託者は、投資や分配の面で、ある受益者を他の受益者より優遇することはできない。ここでは、ウィンとチャリティがともに

現在、信託の所得受益者であるチャリティは、ウィンの死後、唯一の主たる受益者である。

(a) "所得"

所得受益者は、株式からの現金配当と、信託が保有する不動産からの賃料を受け取る権利がある。当初、XYZ株は実質的な配当を発行しており、これは信託の所得とみなされ、所得受益者に分配される。したがって、ウィンとチャリティは実質的な所得受益者を共有していた。しかし、上述のように、株式は値下がりしたため、10%価値が下がり、したがって、主たる受益者の将来の価値が減少した。

しかし、家屋の銘柄を変更することで、主たる受益者は不動産の20%の価値上昇を得ることになる。しかし、シスはこの不動産に対して家賃を支払っていないため、ウィンはこの変更によって信託から収入を得ることができなくなった。この変更に加え、シスが家賃を支払っていないことから、ヘンリーは、シスが収入受益者と主たる受益者の両方に対して公平かつ公正に行動する義務に違反したと主張することに成功する可能性が高い。

D.まとめ

前述の義務違反のため、HenryはSisに対して信託違反を主張し、勝訴する可能性が高い。信託は、不動産に支払われるべき未払い家賃の建設的信託を受けることができ、ヘンリーは、注意義務と忠実義務に違反したとしてシスを受託者として解任することができるだろう。

2. ヘンリーがチャリティに対して収入の返還を求める訴訟を起こした場合、どのような結果になりそうですか？

A. チャリティーギフトの目的

信託が適切に成立するためには、有効な目的が必要である。ここでは、信託の成立時の明示的な目的の一部は、信託からの収入をチャリティに渡すが、災害救助にのみ使用することであった。慈善寄付と信託は有効な目的とみなされるため、この信託は許される。

B. 受益者による条件不履行

しかし、受益者が信託の明示的な条件に違反した場合は、信託の目的に違反することになる。裁判所は、その文言が単に委託者側の希望を表明するためのものなのか、それとも資金の受領と使用に関する明示的な条件なのか、状況を総合的に判断する。ここで、信託には、信託からチャリティに与えられる収入の分け前は、災害救助のためのみ使用されるという明示的な条件があった。しかし、受益者は、その資金を災害救助ではなく、管理費に使用した。チャリティは、ウィンの死後、財産の全利益を受け取るため、チャリティに利益をもたらすあらゆる方法で信託収入を使用・処分できるはずだから、それは一般的な希望に過ぎないと主張する可能性がある。しかし、ヘンリーは、信託の明示的な条件は、資金を災害救助にのみ使用することを明確に要求している、と主張する可能性が高い。したがって、受益者は信託の明示的な条件に違反したことになる。

C. 受益者が違反した場合の救済措置

受益者が信託の明示的な条項に違反した場合、受託者は信託の条項に違反して使用された収入の返還を求めることができます。したがって、チャリティに対する収入の返還請求訴訟では、ヘンリーが勝訴する可能性が高い。

3. ヘンリーは信託財産に対してどのような権利を持つのですか？

カリフォルニア州では、婚姻中に取得したすべての財産は、共同財産（CP）と推定される。ただし、(1)贈与または相続、(2)別財産資金の支出、(3)別財産から得られる賃料、利益、収入、(4)によって取得された財産は、共同財産とみなされる。

婚姻前に取得したものは、取得した配偶者の別個の財産（SP）と推定される。

A. 準コミュニティ物件

夫婦が非共同財産州で、共同財産州の居住者であれば共同財産となるはずの財産を取得した場合、そのような財産は「準共同財産」（QCP）とみなされ、夫婦が後に共同財産州に移住した場合に共同財産法の適用を受ける可能性があります。婚姻期間中、QCPは取得した配偶者のSPとして扱われます。しかし、離婚または取得配偶者の死亡により、QCPはCPとして扱われ、配偶者間で均等に分割されます。非取得配偶者が死亡した場合、その財産は取得配偶者のSPのままとなる。

B. 婚姻期間中に得た賃金

婚姻中に得た賃金、収入、年金は、夫婦間の合意がない限り、CPとみなされる。ここで、Wynnはカリフォルニア州外に住みながら、歴史学の教授として働いて給料を得ていた。彼女がその収入を別口座に保管していたかどうかにかかわらず、CAではその収入はCPとみなされることになる。この事実は、ウィンとヘンリーが財産の性格を変更するような合意をしたことを示すものではありません。したがって、CAに移った時点で、Wynnの収益はQCPと推定される。しかし、上述のように、死亡または離婚するまではSPの性格を維持する。

C. 信託財産である

ウィンとヘンリーは、ウィンが信託財産を設定した時点では、まだ結婚しておらず彼女の稼ぎのうち\$100,000。これらの資金が潜在的なQCPとしてマークされていても、婚姻期間中は、それらを稼いだ配偶者のSPとみなされます。したがって、現時点では、以下の理由により、ヘンリーは信託資産に対していかなる利益も有しません。

は、現在進行中の婚姻関係を維持することができます。ヘンリーは、死亡または離婚するまで、信託財産に対する可能な権利を有しない。



カリフォルニア州弁護士会
司法試験委員会／入試事務局

180 Howard Street - San Francisco, CA 94105-1639 - (415) 538-2300
845 S. Figueroa Street - Los Angeles, CA 90017-2515 - (213) 765-1500

きじゅつもんだい

2015年2月 カリフォルニア州

司法試験

本書は、2015年2月に実施されたカリフォルニア州司法試験の論文問題6問と、各問題に対する選択解答2問を収録しています。

答案には高い評点が付けられ、一読して合格した志願者が書いたものである。解答は、読みやすくするためにスペルや句読点に若干の修正を加えた以外は、応募者が提出したものをそのまま作成しました。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

<u>質問番号</u>	<u>主題</u>
1.	契約内容
2.	不動産
3.	民事訴訟法
4.	レメディ
5.	ビジネスアソシエーションズ
6.	遺言書・信託書

QUESTION 6

2011年、85歳のTessは、孫のGregとSusieのために全財産を信託する有効な遺言を実行した。信託からの収入は、毎年、当時生きていた孫に分配されることになっていました。最後の孫が亡くなったとき、残った財産は象の世話のために動物園に寄付されることになっていました。

2012年、裁判所はテスの精神能力が低下しているとして、グレッグをテスの保佐人に任命しました。

2013年、裁判所はグレッグにテスのための新しい遺言を作成することを許可した。グレッグはテスのために新しい遺言を作成し、テスの全財産をスージーと自分にそっくり残すようにしました。グレッグはその後、テスに相談することなく、利害関係のない2人の証人の立ち会いのもと、遺言書に署名しました。

2014年、テスはグレッグが作成した遺言書のコピーを発見し、激怒した。彼女はすぐに弁護士に電話し、自分の資産を詳しく説明し、グレッグを除いたスージーだけに遺産を信託する新しい遺言を作成するよう指示した。信託からの収入は、毎年スージーに分配されることになっていた。スージーの死後、残った財産は動物園の象の世話のために寄付されることになっていた。新しい遺言は、適切に執行され、証人にもなりました。

2015年、テスが死んだ。同じ年、動物園で唯一残っていたゾウが亡くなりました。

動物園は、その動物の世話を全般的に行うために信託を変更するよう裁判所に申し立てました。

1. Zooの嘆願は認められそうですか？議論してください。
2. グレッグ、スージー、ズーは、テスの遺産についてどのような権利を持っているか（もしあれば）。議論してください。カリフォルニア州法に従って答えなさい。

質問6：選択した回答A

1. Zooの信託変更申立書

トラストクリエーション

問題は、Tessの遺言が有効な慈善信託を作成したかどうかである。信託は、生前信託と遺言による信託のいずれでも作成することができる。信託は、信託を設定する現在の意図、信託受益者、受託者、信託財産、有効な信託目的が存在する場合に設定される。ここでは、テスは遺言により信託を設定する意思を持ち、テスの財産を信託財産としたようである。テスは受託者を指名しなかったが、裁判所は通常、受託者不在を理由に信託を破綻させるのではなく、適切な受託者を任命する。テスの孫のために意図された信託の部分には、識別可能で確認可能な受益者がおり、収入から孫を養うという有効な信託目的があるため、信託は適切な受益者を有する。

慈善信託とは、医療、教育、宗教などの公益的な目的のための信託である。慈善信託は永続的なものであってもよく、受益者を特定する必要はない。また、慈善信託にはサイプレの原則が適用されます。慈善目的が不可能または実行不可能になった場合、cy presの原則に基づき、裁判所は、設定者の慈善目的にできるだけ近い代替の慈善目的があるかどうか、または設定者が信託が失敗することを望んでいるかどうかを判断することになる。ここでは、孫の死亡後の信託の残余財産は、象の世話のために動物園に行くことになっているため、慈善信託となる。象はテスの死後に死亡したため、象の世話というテスの明示的な慈善目的はもはや不可能である。しかし、裁判所は、他の動物の世話のために動物園に信託する、あるいは象の世話のために象のいる他の動物園に信託するよう、サイプリズを適用する可能性があります。テスが生前、この動物園や特に象と特定の関係を持ち、動物園がその資金で象の世話をする場合にのみ信託が有効であることを意図していたことは明らかではありません。むしろ、彼女は一般的な慈善的意図を持っていたと思われ、裁判所は信託資金を彼女の意図にできるだけ近い慈善目的に向けられることになるでしょう。したがって、Zooはサイ・プレ・ドクトリンに基づいて信託を修正することができる可能性が高い。

(動物園への贈与は、信託の設定時に存在した生命から21年以内に動物園に帰属するため、永続性禁止規則の下では失敗しない)。永続性禁止規則では、現存する生命に21年を加えた期間内に権利確定する必要がない場合、贈与は失敗する。孫は現存する生命であり、信託は最後の孫の死亡と同時に動物園に引き継がれます。従って、動物園への贈与はRAPに違反しない。孫は慈善団体ではないので、慈善団体間の例外は適用されない)。

結論

裁判所は、*cy pres*の原則に基づき、Zooの動物の世話のために一般的に信託を修正するZooの申立てを認めると考えられます。

2. テスの遺品に関する権利

2013年の遺言の有効性

問題は、2013年の遺言がテスの2011年の遺言を有効に取り消すかどうかである。一般に、有効に執行された遺言は、物理的な取り消し行為、または先の遺言を明示的に取り消すか、先の遺言の条件と矛盾する後続の有効な遺言の執行によって取り消すことができる。遺言の内容が矛盾している場合、先の遺言はその矛盾の範囲でのみ取り消されません。後の遺言は、必要な手続きを全て踏んで有効に執行されなければなりません。遺言能力があり、現在の遺言意思があり、遺言が書面であり、遺言者が署名し（または遺言者の指示により遺言者の立会いのもとに署名し）、署名または署名の肯定を共同で目撃する2人の証人がいて、2人の証人が署名しているのが遺言であることを知って遺言者の死亡前に署名する場合に遺言は有効に成立する。立会いの形式が守られていない場合でも、遺言者がその文書を自分の遺言であると意図していたことを、遺言提案者が明確かつ説得力のある証拠を提出すれば、有効な遺言とみなされることがあります。カリフォルニア州では、すべての重要な条項が遺言者の筆跡である場合、ホログラフィック遺言が認められています。

ここでは、テスは2011年に有効な遺言を実行し、遺言の条項によって作成された信託に財産を注ぎ込んだ。2013年、グレッグは先の遺言を取り消そうと、次のような方法をとった。

は、全財産をそのまま贈与することで、先の遺言と矛盾する新しい遺言を作成した。したがって、**2013年**の遺言によって形式が守られた場合、**2011年**の遺言は適切に取り消された。裁判所はグレッグを保佐人に任命し、テスのために新しい遺言を作成する権限を与えたため、グレッグの能力および遺言を作成する現在の意思が問題になっている。グレッグに能力がなかったことや、**2013年**に遺言を作成する意思が現在なかったことを示す事実はない。遺言は書面で作成され、グレッグはテスの代理として署名した。テスは遺言書に署名するよう指示しなかったが（実際、彼女はそれに気づいていなかった）、グレッグは保佐人に任命されていたため、彼女に代わって署名する権限があった。遺言は、利害関係のない2人の証人の共同立会いのもとで署名され、**2人**もテスの生前に遺言に署名した。このように、すべての手続きが守られ、**2013年**の遺言はテスの有効な遺言となり、**2011年**の遺言は暗黙のうちに撤回された。

不当な影響力または関係の濫用

問題は、グレッグが不当な影響力を行使したり、保佐人を何らかの形で濫用したために、遺言書またはその一部が無効であったかどうかである。不当な影響力とは、遺言者の自由意志に打ち勝つ程度に、人が遺言者に影響力を行使する場合に発生します。その場合、不当な影響を受けて作成された遺言の部分は、無効となります。その部分が遺留分のある人に対して行われた場合、その贈与は遺留分の範囲内においてのみ無効となる。不当な影響力は、ある人が遺言者と秘密関係にあり、遺言書の作成に関与し、不自然な贈与が行われた場合に推定される。ここで、グレッグはテスの遺言を変更するよう説得する必要がなかったため、テスに対して不当な影響を及ぼしていない。その代わりに、彼は保佐人に任命され、自ら遺言を変更する権限を与えられている。したがって、不当な影響力を理由に贈与が無効となることはないだろう。

しかし、裁判所は、グレッグがテスの意思に相談することなく、テスの意図に反する形で遺言を変更し、保佐人としての立場を乱用したと判断する可能性があります。保佐人は一般に、代理人である個人に対して受託者的な義務を負っているため、忠実に、彼女の最善の利益のために行動しなければなりません。グレッグの遺言変更は、テスの明示的な意思に直接反する形で、彼に直接利益をもたらすものであった。

は、彼女が精神的能力を有していた時期である。したがって、裁判所は、グレッグの行為がテスの利益を忠実に代表する義務に違反していると判断する可能性がある。その場合、彼の贈与は遺留分として減額される可能性が高い。しかし、テスの財産が遺贈された場合、テスの唯一の生前相続人であるスージーとグレッグに平等に贈られることになります。これは、まさにグレッグが行った遺言である。したがって、グレッグは、彼が職権を乱用していたときに自分で与えた贈り物を受け取ることになる。その場合、裁判所はズーの利益のためにグレッグの財産に建設的信託を課すかもしれません。

(実質的には、テスが**2013年**の遺言を取り消す有効な遺言を執行できたので、グレッグの不義理は問題にならない、後述)。

2014年 ウィル

問題は、テスの**2014年**の遺言が、グレッグが作成した**2013年**の遺言を適切に取り消すかどうかである。上記の通り、遺言は、現在の遺言意思、遺言能力、書面による遺言、遺言者の署名、**2人**の共同証人の立会い、遺言者の死亡前の証人の署名がある場合に作成される。

遺言能力は、遺言者が自分の財産の性質と範囲を理解し、自分の恵みの自然物を知っているときに存在します。ここで、**2014年**にテスが弁護士に電話した際、彼女は自分の資産を詳細に説明することができ、自分の資産をすべてスージーに残すことについて合理的な説明をすることができた。グレッグは、テスの精神能力の低下を考慮して保佐人に任命されたため、テスには能力がなかったと主張するだろうが、遺言者が自分の財政やその他の個人的な事柄を管理する能力を欠いている場合でも、遺言能力は存在しうる。このような状況から、テスには自分の資産や誰に残したいかを理解する能力があったと思われ、裁判所はテスに能力があったと判断する可能性が高いと思われ。

また、テスは弁護士に新しい遺言書の作成を指示したことから、現在の遺言の意思があると思われ。また、事実上、その遺言は適切に執行され、立会いが行われたとしている。したがって、**2014年**の遺言は、**2013年**の遺言と全く矛盾するものであったため、**2013年**の遺言を有効に取り消すことができた。

したがって、2015年にテスが死亡した際、テスの全財産を信託し、収入はスージーに生前分配し、残りの資産はスージーの死亡時に動物園に分配するという2014年の遺言は、テスの有効な遺言だった。

省略された子供

グレッグは、自分が遺留分権利者としてテスの遺産の遺留分を主張しようとするかもしれない。遺言作成後に生まれた子（あるいは遺言者がその子が死んだと勘違いしたり、生まれたことを知らなかったりした）が意図せず遺言から漏れてしまった場合、その子は遺留分を取ることができ、他の贈与はすべて減殺されます。しかし、グレッグは子ではなく孫であり、遺言が作成された時点では生きており、テスが自分の遺言を変更しようとしたことに腹を立てたため、意図的に省略された。したがって、グレッグは、省略された子として遺留分を得ることはできない。

残りは動物園へ

上記の通り、スージーの死後、ズーへの贈与は、規則に違反しない。

Perpetuities に反対する。これは有効な慈善信託であり、裁判所は信託が破綻しないようにサイ・プレを適用すると思われます。

結論

グレッグはテスの遺産について何の権利も持たない。スージーは生前に信託から収入を得る権利を持ち、ズーはスージーの死亡時に信託財産を分配する権利を持つ。

質問6：選択した回答B

1. 動物園の嘆願書

ここで問題となるのは、TessがZooにTの財産に対する権利を残す有効な遺言と信託を作成したかどうかである。

2011年 - ウィル

有効な遺言は、書面でなければなりません。遺言者は、利害関係のない2人の証人の立ち会いのもと、同時に遺言書に署名しなければなりません。

事実によれば、Tは有効な遺言を作成したとされているので、遺言の要素をすべて満たしていたと考えることができる。したがって、有効な遺言書が作成されたことになる。

トラスト

Tは、孫のために全財産を信託した。信託が有効に成立するためには、遺言者、受益者、受託者、信託目的、信託財産が存在する必要があります。

テスター

ここで、Tは遺言者である。

受益者

Tの孫のGregとSusieは、信託から収入を得るため、収入受益者です。動物園も受益者であり、彼らはその不動産の将来の権利を保有しています。動物園は、最後の孫が亡くなった後、信託の残りを受け取ることになります。

トラスティ

指定された受託者がいないからといって、信託が無効になるわけではありません。信託を管理する受託者がいない場合、裁判所が受託者を選任します。

信託の目的

信託の目的は、孫に生涯にわたって収入を提供し、その後、残りは動物園に行くことです。

信託財産

Tは自分の全財産を信託に預けています。

したがって、有効な信託が作成された。2011年の遺言により、ZooはTの信託の持分を有していた。

2013 - 新ウィル

問題は、裁判所が任命した保佐人によって作成された新しい遺言が有効かどうかということです。

遺言書の形式 上

記ルールをご参

照ください。

ここでは、グレッグがTの保佐人として、裁判所の認可のもと、テスのために新しい遺言を作成した。この遺言書には、利害関係のない2人の証人が署名した。しかし、Tは遺言書に署名していない。しかし、グレッグは、保佐人として、彼女に代わって署名することが許されていると主張するでしょう。つまり、厳密には、遺言書は適切に作成されたこととなります。しかし、なぜこの遺言が無効とされるべきなのか、以下に説明します。

保存修復師としてのグレッグ

裁判所は、精神的能力を欠く人に代わって行動する後見人または保佐人を任命することができます。後見人や保佐人には、新しい遺言書の作成など、法的な意思決定を行う権限があります。しかし、保佐人は依然として遺言者に注意と忠誠の受託者としての義務を負っています。保佐人は、遺言者の最善の利益のために行動し、利己的でTの利益に直接反するような決定をしてはなりません。

ここで、グレッグはTの「精神能力の低下」を理由に保佐人に任命された。彼はTのために新しい遺言を作成する権限を持つが、彼は受託者としての義務を守らなければならない。グレッグは、Tの新しい遺言を作成する際に、まず遺言についてTと話し、遺産をすべてグレッグとスージーに残すように遺言を変更してもよいかどうかを判断せずに、受託者としての義務に違反した。その代わりに、グレッグは彼女の以前の遺言を無視し、全財産を自分と妹のスージーに残し、ズーを完全に遺言から切り離しました。自分と妹にすべてを残すという行為は自己売買を示し、彼は忠誠の義務に違反したことになります。グレッグは新しい遺言を作成する権利があったと主張しようとしても、受託者としての義務に違反したため、失敗しました。Tの遺産は、この義務に違反したとしてグレッグを訴え、2013年の遺言を無効にするよう要求することができる。

不当な影響力

さらに、ZooとTの遺産は、遺言を書いた人物との間に信認関係があり、不自然な逸出があったことから、それ自体が不当な影響であると主張するでしょう。

ここで、グレッグは保佐人であり、Tと受託者関係にあります。また、この贈与は不自然であり、元の遺言はスージーとグレッグに全財産を残すことを意図していなかったからです。したがって、ZooとTの遺産は、不当な影響に基づく遺言の無効化に成功するはずでは

DRR

あるいは、ZooとTの遺産は、DRRのもとで元の遺言を復活させようとすることもできません。

DRRでは、直近の遺言が詐欺や虚偽の説明で作成された場合、以前の遺言を復活させることができます。つまり、遺言者が何かについて誤解していたために新しい遺言を作成したということです（例えば、受益者が本当は生きているのに死亡していたなど）。このような場合、新しい遺言は無効となり、古い遺言は復活することができます。

ここで、Tの遺産とズーウィルは、グレッグが作成した新しい遺言をTが作成することはなかったと主張します。グレッグは、Tの遺言に対する意思を詐称し、不自然な献身を作り出した。上述のように、Tは自分の全財産をグレッグとスージーに残すつもりはなかった。2011年以降、彼女が考えを改めたことを示唆する事実は何もない。したがって、2013年の遺言は無効とし、2011年の遺言を復活させるべきである。

2014年 弁護士が作成した遺言書

Tは、グレッグが2013年の遺言を作成したことを知った後、新しい遺言を作成した。ここで問題となるのは、能力不足のために有効な遺言書が作成されたかどうかである。

遺言の手続きについて

上記のルールを参照してください。ここでは、新しい遺言が適切に執行され、立ち会ったという事実が記載されています。つまり、遺言の形式は満たされていると仮定しましょう。

能力不足

一般的に、自分の財産の内容、家族や友人との関係の内容、遺言を作成する行為の内容などを理解できない場合、意思能力が欠如しているとされる。

ここで、最大の問題は、Tの精神能力が低下しているため、裁判所がTの保佐人を選任したことである。それ以外の点では、彼女が遺言を作成する能力についてよく分かっていません。また、「精神能力の低下」と「意思能力の欠如」がイコールであるかどうかもわかりません。ここで、能力に関する要素を見てみましょう。

行為の性質

この要素は、Tが遺言書作成という自分の行為・行動の本質を理解していることを意味します。

ここで、Tはグレッグが作成した遺言書を見て激怒し、新しい遺言書を作成するために弁護士に連絡したことから、遺言書を作成するという自分の行為の本質を理解しているように見える。Tは、グレッグの2013年の遺言が自分の意図するものではないことを知り、新しい遺言を作成するために弁護士に連絡する必要があることを知っていたので、自分の行為の本質を理解していたように思われます。したがって、この要素は満たされている。

エステートの性質

この要素は、遺言者が自分の財産の範囲を理解し、特定する必要があることを意味します。

ここで、Tは自分の財産を詳細に記述した遺言書を改訂し、全財産をスージーに残したので、彼女の財産と財産の性質を理解しています。したがって、この要素は満たされていると思われる。

家族・友人との関係性

この要素は、遺言者が資産を残す相手である家族や友人との関係を理解する必要があることを意味します。

Tは、グレッグがやったことに腹を立て、新しい遺言からグレッグを除外したことから、自分の人間関係の本質を理解しているようです。彼女は、全財産をスージーに信託し、残りを動物園に寄付しました。したがって、この要素は満たされていると思われ
ます。

したがって、Tは遺言を作成した時点で意思能力の要素をすべて満たしていたと思われるので、2014年の遺言が有効な執行力のある遺言であると思われ
ます。2014年の遺言は、それ以前のすべての遺言を自動的に取り消します。もし裁判所が、Tが遺言を作成した時点で能力を持っていたと認めるなら、Tの2014年の遺言はおそらく有効であり、ズーはTの遺産に対して利害関係を持つこととなります。

サイプレスト

次の問題は、信託財産が象の世話のために残されたのに象がいないため、**Zoo**がその資産を使用できるかということです。サイプレス法では、信託の目的が挫折した場合、裁判所は慈善信託の目的を修正することができます。

ここで、**T**の信託は、信託に残ったものを、動物園の象の世話のために残しています。事実は、スージーがまだ死んでいないことを示しているので、動物園の利益はまだ将来のものであります。動物園は信託に対して現在の利益を持たないので、動物園は信託の目的を変更するために裁判所に請願しても、ほとんどの場合失敗するでしょう。現時点では動物園は象を飼っていませんが、スージーが死んだら象を飼うかもしれません。スージーが死んだ時に動物園が象を持っていなければ、動物園は信託目的の変更に成功する可能性が高くなるかもしれません。信託目的の変更に成功した場合、新しい目的も慈善事業でなければならず、裁判所はおそらく、慈善事業目的を元の受託者が意図した目的にできるだけ近づけることを望むと思われます。したがって、**Zoo**の申し立ては時期尚早です。裁判所は、現時点では**Zoo**に現在の利益はなく、信託の目的も現在挫折していないため、この申し立てを却下すべきです。

2. グレッグ、スージー、ズーの権利。

受益者の権利については、上記の説明を参照してください。 処分

の内容

グレッグ

2014年の遺言に基づき、グレッグは**T**の資産に対して何の利害関係もない。もちろん、裁判所が**T**に2014年の遺言を作成する能力がなかったと判断した場合、グレッグは2011年の遺言による信託から収入を得ることができるかもしれない。2011年の遺言は、グレッグが不正に作成した2013年の遺言が無効となり、2011年の遺言が復活した場合にのみ有効となります。

スージー

スージーは2014年の遺言により、生涯にわたり信託収入の権利を有する。上述のように、2013年の遺言は無効である可能性が高いので、スージーはTの全財産をグレッグと共有することはできない。2014年の遺言が無効であると裁判所が判断した場合、スージーは2011年の遺言に基づき終身信託収入を得ることになります。

動物園

Zooは、2014年の遺言に基づき、その象の世話のために信託の残余部分について将来の利益を有する。



カリフォルニア州弁護士会
司法試験委員会／入試事務局

180 Howard Street - San Francisco, CA 94105-1639 - (415) 538-2300
845 S. Figueroa Street - Los Angeles, CA 90017-2515 - (213) 765-1500

きじゅつもんだい

2015年2月 カリフォルニア州

司法試験

本書は、2015年2月に実施されたカリフォルニア州司法試験の論文問題6問と、各問題に対する選択解答2問を収録しています。

答案には高い評点が付けられ、一読して合格した志願者が書いたものである。解答は、読みやすくするためにスペルや句読点を若干修正した以外は、応募者が提出したものをそのまま作成しました。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

<u>質問番号</u>	<u>主題</u>
1.	契約内容
2.	不動産
3.	民事訴訟法
4.	レメディ
5.	ビジネスアソシエーションズ
6.	遺言書・信託書

QUESTION 6

2011年、85歳のTessは、孫のGregとSusieのために全財産を信託する有効な遺言を実行した。信託からの収入は、毎年、当時生きていた孫に分配されることになっていました。最後の孫が亡くなったとき、残った財産は象の世話のために動物園に寄付されることになっていました。

2012年、裁判所はテスの精神能力が低下しているとして、グレッグをテスの保佐人に任命しました。

2013年、裁判所はグレッグにテスのための新しい遺言を作成することを許可した。グレッグはテスのために新しい遺言を作成し、テスの全財産をスージーと自分にそっくり残すようにしました。グレッグはその後、テスに相談することなく、利害関係のない2人の証人の立会いのもと、遺言書に署名した。

2014年、テスはグレッグが作成した遺言書のコピーを発見し、激怒した。彼女はすぐに弁護士に電話し、自分の資産を詳しく説明し、グレッグを除いたスージーだけに遺産を信託する新しい遺言を作成するよう指示した。信託からの収入は、毎年スージーに分配されることになっていた。スージーの死後、残った財産は動物園の象の世話のために寄付されることになっていた。新しい遺言は、適切に執行され、証人にもなりました。

2015年、テスが死んだ。同じ年、動物園で唯一残っていたゾウが亡くなりました。

動物園は、その動物の世話を全般的に行うために信託を変更するよう裁判所に申し立てました。

1. Zooの嘆願は認められそうですか？議論してください。
2. グレッグ、スージー、ズーは、テスの遺産についてどのような権利を持っているか（もしあれば）。議論してください。カリフォルニア州法に従って答えなさい。

質問6：選択した回答A

1. Zooの信託変更申立書

トラストクリエーション

問題は、Tessの遺言が有効な慈善信託を作成したかどうかである。信託は、生前信託と遺言による信託のいずれでも作成することができる。信託は、信託を設定する現在の意図、信託受益者、受託者、信託財産、有効な信託目的が存在する場合に設定される。ここでは、テスは遺言により信託を設定する意思を持ち、テスの財産を信託財産としたようである。テスは受託者を指名しなかったが、裁判所は通常、受託者不在を理由に信託を破綻させるのではなく、適切な受託者を任命する。テスの孫のために意図された信託の部分には、識別可能で確認可能な受益者がおり、収入から孫を養うという有効な信託目的があるため、信託は適切な受益者を有する。

慈善信託とは、医療、教育、宗教などの公益的な目的のための信託である。慈善信託は永続的なものであってもよく、受益者を特定する必要はない。また、慈善信託にはサイプレの原則が適用されます。慈善目的が不可能または実行不可能になった場合、cy presの原則に基づき、裁判所は、設定者の慈善目的にできるだけ近い代替の慈善目的があるかどうか、または設定者が信託が失敗することを望んでいるかどうかを判断することになる。ここでは、孫の死亡後の信託の残余財産は、象の世話のために動物園に行くことになっているため、慈善信託となる。象はテスの死後に死亡したため、象の世話というテスの明示的な慈善目的はもはや不可能である。しかし、裁判所は、他の動物の世話のために動物園に信託する、あるいは象の世話のために象のいる他の動物園に信託するよう、サイプリズを適用する可能性があります。テスが生前、この動物園や特に象と特定の関係を持ち、動物園がその資金で象の世話をする場合にのみ信託が有効であることを意図していたことは明らかではありません。むしろ、彼女は一般的な慈善の意図を持っていたようで、裁判所は信託資金を彼女の意図にできるだけ近い慈善目的に向けることになるでしょう。したがって、Zooはサイ・プレ・ドクトリンに基づいて信託を修正することができる可能性が高い。

(動物園への贈与は、信託の設定時に存在した生命から21年以内に動物園に帰属するため、永続性禁止規則の下では失敗しない)。永続性禁止規則では、現存する生命に21年を加えた期間内に帰属する必要がない場合、贈与は失敗する。孫は現存しており、信託は最後の孫の死亡と同時に動物園に引き継がれます。従って、動物園への贈与はRAPに違反しない。孫は慈善団体ではないので、慈善団体間の例外は適用されない)。

結論

裁判所は、*cy pres*の原則に基づき、一般的に動物の世話をするために信託を修正するZooの申立てを認めると思われます。

2. テスの遺品に関する権利

2013年の遺言の有効性

問題は、2013年の遺言がテスの2011年の遺言を有効に取り消すかどうかである。一般に、有効に執行された遺言は、物理的な取り消し行為、または先の遺言を明示的に取り消すか、先の遺言の条件と矛盾する後続の有効な遺言の執行によって取り消すことができる。遺言の内容が矛盾している場合、先の遺言はその矛盾の範囲でのみ取り消されます。後の遺言は、必要な手続きを全て踏んで有効に執行されなければなりません。遺言能力があり、現在の遺言意思があり、遺言が書面であり、遺言者が署名し（または遺言者の指示により遺言者の立会いのもとに署名し）、署名または署名の肯定を共同で目撃する2人の証人がいて、2人の証人が署名しているのが遺言であることを知って遺言者の死亡前に署名する場合に遺言は有効に成立する。立会いの形式が守られていない場合でも、遺言者がその文書を自分の遺言であると意図していたことを、遺言提案者が明確かつ説得力のある証拠を提出すれば、有効な遺言とみなされることがあります。カリフォルニア州では、すべての重要な条項が遺言者の筆跡である場合、ホログラフィック遺言が認められています。

ここでは、テスは2011年に有効な遺言を実行し、遺言の条項によって作成された信託に財産を注ぎ込んだ。2013年、グレッグは先の遺言を取り消そうと、次のような方法をとった。

は、全財産をそのまま贈与することで、先の遺言と矛盾する新しい遺言を作成した。したがって、**2013年**の遺言によって形式が守られた場合、**2011年**の遺言は適切に取り消された。裁判所はグレッグを保佐人に任命し、テスのために新しい遺言を作成する権限を与えたため、グレッグの能力および遺言を作成する現在の意思が問題になっている。グレッグに能力がなかったことや、**2013年**に遺言を作成する意思が現在なかったことを示す事実はない。遺言は書面で作成され、グレッグはテスの代理として署名した。テスは遺言書に署名するよう指示しなかったが（実際、彼女はそれに気づいていなかった）、グレッグは保佐人に任命されていたため、彼女に代わって署名する権限を有していた。遺言は、利害関係のない**2人**の証人の共同立会いのもとで署名され、**2人**もテスの生前に遺言に署名した。このように、すべての手続きが守られ、**2013年**の遺言はテスの有効な遺言となり、**2011年**の遺言は暗黙のうちに撤回された。

不当な影響力または関係の濫用

問題は、グレッグが不当な影響力を行使したり、保佐人を何らかの形で濫用したために、遺言書またはその一部が無効であったかどうかである。不当な影響力とは、遺言者の自由意志に打ち勝つ程度に、人が遺言者に影響力を行使する場合に発生します。その場合、不当な影響を受けて作成された遺言の部分は、無効となります。その部分が遺留分のある人に対して行われた場合、その贈与は遺留分の範囲内においてのみ無効となる。不当な影響力は、ある人が遺言者と秘密関係にあり、遺言書の作成に関与し、不自然な贈与が行われた場合に推定される。ここで、グレッグはテスの遺言を変更するよう説得する必要がなかったため、テスに対して不当な影響を及ぼしていない。その代わりに、彼は保佐人に任命され、自ら遺言を変更する権限を与えられている。したがって、不当な影響力を理由に贈与が無効となることはないだろう。

しかし、裁判所は、グレッグがテスの意思に相談することなく、テスの意図に反する形で遺言を変更し、保佐人としての立場を乱用したと判断する可能性があります。保佐人は一般に、代理人である個人に対して受託者的な義務を負っているため、忠実に、彼女の最善の利益のために行動しなければなりません。グレッグの遺言変更は、テスの明示的な意思に直接反する形で、彼に直接利益をもたらすものであった。

は、彼女が精神的能力を有していた時期である。したがって、裁判所は、グレッグの行為がテスの利益を忠実に代表する義務に違反していると判断する可能性がある。その場合、彼の贈与は遺留分として減額される可能性が高い。しかし、テスの財産が遺贈された場合、テスの唯一の生前相続人であるスージーとグレッグに平等に贈られることとなります。これは、まさにグレッグが行った遺言である。したがって、グレッグは、彼が職権を乱用していたときに自分で与えた贈り物を受け取ることになる。その場合、裁判所はズーの利益のためにグレッグの財産に建設的信託を課すかもしれません。

(実質的には、テスが**2013年**の遺言を取り消す有効な遺言を執行できたので、グレッグの不義理は問題にならない、後述)。

2014年 ウィル

問題は、テスの**2014年**の遺言が、グレッグが作成した**2013年**の遺言を適切に取り消すかどうかである。上記の通り、遺言は、現在の遺言意思、遺言能力、書面による遺言、遺言者の署名、**2人**の共同証人の立会い、遺言者の死亡前に証人による署名がある場合に作成される。

遺言能力は、遺言者が自分の財産の性質と範囲を理解し、自分の恵みの自然物を知っているときに存在します。ここで、**2014年**にテスが弁護士に電話した際、彼女は自分の資産を詳細に説明することができ、自分の資産を全てスージーに残すことについて合理的な説明をすることができた。グレッグは、テスの精神能力の低下を考慮して保佐人に任命されたため、テスには能力がなかったと主張するだろうが、遺言者が自分の財政やその他の個人的な事柄を管理する能力を欠いている場合でも、遺言能力は存在しうる。このような状況から、テスには自分の資産や誰に遺したいかを理解する能力があったと思われ、裁判所はテスに能力があったと判断する可能性が高いと思われ。

また、テスは弁護士に新しい遺言書の作成を指示したことから、現在の遺言の意思があると思われ。また、事実上、その遺言は適切に執行され、立会いが行われたとしている。したがって、**2014年**の遺言は、**2013年**の遺言と全く矛盾するものであったため、**2013年**の遺言を有効に取り消すことができた。

したがって、2015年にテスが死亡した際、テスの全財産を信託し、収入はスージーに生前分配し、残りの資産はスージーの死亡時に動物園に分配するという2014年の遺言は、テスの有効な遺言だった。

省略された子供

グレッグは、自分が遺留分権利者としてテスの遺産の遺留分を主張しようとするかもしれない。遺言作成後に生まれた子（あるいは遺言者がその子が死んだと勘違いしたり、生まれたことを知らなかったりした）が意図せず遺言から漏れてしまった場合、その子は遺留分を取ることができ、他の贈与はすべて減殺されます。しかし、グレッグは子ではなく孫であり、遺言が作成された時点では生きており、テスが自分の遺言を変更しようとしたことに腹を立てたため、意図的に省略された。したがって、グレッグは、省略された子として遺留分を得ることはできない。

残りは動物園へ

上記の通り、スージーの死後、ズーへの贈与は、規則に違反しない。

Perpetuities に反対する。これは有効な慈善信託であり、裁判所は信託が破綻しないようにサイ・プレを適用すると思われます。

結論

グレッグはテスの遺産について何の権利も持たない。スージーは生前に信託から収入を得る権利を持ち、ズーはスージーの死亡時に信託財産を分配する権利を持つ。

質問6：選択した回答B

1. 動物園の嘆願書

ここで問題となるのは、TessがZooにTの財産に対する権利を残す有効な遺言と信託を作成したかどうかである。

2011年 - ウィル

有効な遺言は、書面でなければなりません。遺言者は、利害関係のない2人の証人の立ち会いのもと、同時に遺言書に署名しなければなりません。

事実によれば、Tは有効な遺言を作成したとされているので、遺言の要素をすべて満たしていたと考えることができる。したがって、有効な遺言書が作成されたことになる。

トラスト

Tは、孫のために全財産を信託した。信託が有効に成立するためには、遺言者、受益者、受託者、信託目的、信託財産が存在する必要があります。

テスター

ここで、Tは遺言者である。

受益者

Tの孫のGregとSusieは、信託から収入を得るため、収入受益者です。動物園も受益者であり、彼らはその不動産の将来の権利を保有しています。動物園は、最後の孫が亡くなった後、信託の残りを受け取ることになります。

トラスティ

指定された受託者がいないからといって、信託が無効になるわけではありません。信託を管理する受託者がいない場合、裁判所が受託者を選任します。

信託の目的

信託の目的は、孫に生涯にわたって収入を提供し、その後、残りは動物園に行くことです。

信託財産

Tは自分の全財産を信託に預けています。

したがって、有効な信託が作成された。2011年の遺言により、ZooはTの信託の持分を有していた。

2013 - 新ウィル

問題は、裁判所が任命した保佐人によって作成された新しい遺言が有効かどうかということです。

遺言書の形式 上

記ルールをご参照ください。

ここでは、グレッグがTの保佐人として、裁判所の認可のもと、テスのために新しい遺言を作成した。この遺言書には、利害関係のない2人の証人が署名した。しかし、Tは遺言書に署名していない。しかし、グレッグは、保佐人として、彼女に代わって署名することが許されていると主張するでしょう。つまり、厳密には、遺言書は適切に作成されたこととなります。しかし、なぜこの遺言が無効とされるべきなのか、以下に説明します。

保存修復師としてのグレッグ

裁判所は、精神的能力を欠く人に代わって行動する後見人または保佐人を任命することができます。後見人や保佐人には、新しい遺言書の作成など、法的な意思決定を行う権限があります。しかし、保佐人は依然として遺言者に注意と忠誠の受託者としての義務を負っています。保佐人は、遺言者の最善の利益のために行動し、利己的でTの利益に直接反するような決定をしてはなりません。

ここで、グレッグはTの「精神能力の低下」を理由に保佐人に任命された。彼はTのために新しい遺言を作成する権限を持つが、彼は受託者としての義務を守らなければならない。グレッグは、Tの新しい遺言を作成する際に、まず遺言についてTと話し、遺産をすべてグレッグとスージーに残すように遺言を変更することに彼女が納得するかどうかを判断せずに、受託者の義務に違反した。その代わりに、グレッグは彼女の以前の遺言を無視し、全財産を自分と妹のスージーに残し、ズーを完全に遺言から切り離しました。自分と妹にすべてを残すという行為は自己売買を示し、彼は忠誠の義務に違反したことになります。グレッグは新しい遺言を作成する権利があったと主張しようとしても、受託者としての義務に違反したため、失敗しました。Tの遺産は、この義務に違反したとしてグレッグを訴え、2013年の遺言を無効にするよう要求することができる。

不当な影響力

さらに、ZooとTの遺産は、遺言を書いた人物との間に信認関係があり、不自然な逸出があったことから、それ自体が不当な影響であると主張するでしょう。

ここで、グレッグは保佐人であり、Tと受託者関係にあります。また、この贈与は不自然であり、元の遺言はスージーとグレッグに全財産を残すことを意図していなかったからです。したがって、ZooとTの遺産は、不当な影響に基づく遺言の無効化に成功するはずでは

DRR

あるいは、ZooとTの遺産は、DRRのもとで元の遺言を復活させようとすることもできません。

DRRでは、直近の遺言が詐欺や虚偽の説明で作成された場合、以前の遺言を復活させることができます。つまり、遺言者が何かについて誤解していたために新しい遺言を作成したということです（例えば、受益者が本当は生きているのに死亡していたなど）。このような場合、新しい遺言は無効となり、古い遺言は復活させることができます。

ここで、Tの遺産とズーウィルは、グレッグが作成した新しい遺言をTが作成することはなかったと主張します。グレッグは、Tの遺言に対する意思を詐称し、不自然な献身を作り出した。上述のように、Tは自分の全財産をグレッグとスージーに残すつもりはなかった。2011年以降、彼女が考えを改めたことを示唆する事実はない。したがって、2013年の遺言は無効とし、2011年の遺言を復活させるべきである。

2014年 弁護士が作成した遺言書

グレッグが2013年の遺言を作成したことを知ったTは、新たな遺言を作成した。ここで問題となるのは、能力不足のために有効な遺言書が作成されたかどうかである。

遺言の手続き

上記のルールを参照してください。ここでは、新しい遺言が適切に執行され、立ち会ったという事実が記載されています。つまり、遺言の形式は満たされていると仮定しましょう。

能力不足

一般的に、自分の財産の内容、家族や友人との関係の内容、遺言を作成する行為の内容などを理解できない場合、意思能力が欠如しているとされる。

ここで、最大の問題は、Tの精神能力が低下しているため、裁判所がTの保佐人を選任したことである。それ以外の点では、彼女が遺言を作成する能力についてよく分かっていません。また、「精神能力の低下」と「意思能力の欠如」がイコールであるかどうかもわかりません。ここで、能力に関する要素を見てみましょう。

行為の性質

この要素は、Tが遺言書作成という自分の行為・行動の本質を理解していることを意味します。

ここで、Tはグレッグが作成した遺言書を見て激怒し、新しい遺言書を作成するために弁護士に連絡したことから、遺言書を作成するという自分の行為の本質を理解しているように見える。Tは、グレッグの2013年の遺言が自分の意図するものではないことを知り、新しい遺言を作成するために弁護士に連絡する必要があることを知っていたので、自分の行為の本質を理解していたように思われます。したがって、この要素は満たされている。

エステートの性質

この要素は、遺言者が自分の財産の範囲を理解し、特定する必要があることを意味します。

ここで、Tは自分の財産を詳細に記述した遺言書を改訂し、全財産をスージーに残したので、彼女の財産と財産の性質を理解しています。したがって、この要素は満たされていると思われる。

家族・友人との関係性

この要素は、遺言者が資産を残す相手である家族や友人との関係を理解する必要があることを意味します。

Tは、グレッグがやったことに腹を立て、新しい遺言からグレッグを除外したことから、自分の人間関係の本質を理解しているようです。彼女は、全財産をスージーに信託し、残りを動物園に寄付しました。したがって、この要素は満たされていると思われ
ます。

したがって、Tは遺言を作成した時点で意思能力の要素をすべて満たしていたと思われるので、2014年の遺言が有効な執行力のある遺言であると思われ
ます。2014年の遺言は、それ以前のすべての遺言を自動的に取り消します。もし裁判所が、Tが遺言を作成した時点で能力を持っていたと認めるなら、Tの2014年の遺言はおそらく有効であり、ズーはTの遺産に対して利害関係を持つこととなります。

サイプレスト

次の問題は、信託財産が象の世話のために残されたのに象がいないため、**Zoo**がその資産を使用できるかということです。サイプレス法では、信託の目的が挫折した場合、裁判所は慈善信託の目的を修正することができます。

ここで、**T**の信託は、信託に残ったものを、動物園の象の世話のために残しています。事実は、スージーがまだ死んでいないことを示しているので、動物園の利益はまだ将来のものであります。動物園は信託に対して現在の利益を持たないので、動物園は信託の目的を変更するために裁判所に請願しても、ほとんどの場合失敗するでしょう。現時点では動物園は象を飼っていませんが、スージーが死んだら象を飼うかもしれません。スージーが死んだ時に動物園が象を持っていなければ、動物園は信託目的の変更に成功する可能性が高くなるかもしれません。信託目的の変更に成功した場合、新しい目的も慈善事業でなければならず、裁判所はおそらく、慈善事業目的を元の受託者が意図した目的にできるだけ近づけることを望むと思われます。したがって、**Zoo**の申し立ては時期尚早です。裁判所は、現時点では**Zoo**に現在の利益はなく、信託の目的も現在挫折していないため、この申し立てを却下すべきです。

2. グレッグ、スージー、ズーの権利。

受益者の権利については、上記の説明を参照してください。 処分

の内容

グレッグ

2014年の遺言に基づき、グレッグは**T**の資産に対して何の利害関係もない。もちろん、裁判所が**T**に2014年の遺言を作成する能力がなかったと判断した場合、グレッグは2011年の遺言による信託から収入を得ることができるかもしれない。2011年の遺言は、グレッグが不正に作成した2013年の遺言が無効となり、2011年の遺言が復活した場合にのみ有効となります。

スージー

スージーは2014年の遺言により、生涯にわたり信託収入の権利を有する。上述のように、2013年の遺言は無効である可能性が高いので、スージーはTの全財産をグレッグと共有することはできない。2014年の遺言が無効であると裁判所が判断した場合、スージーは2011年の遺言に基づき終身信託収入を得ることになります。

動物園

Zooは、2014年の遺言に基づき、その象の世話のために信託の残余部分について将来の利益を有する。



カリフォルニア州弁護士会
司法試験委員会／入試事務局

180 Howard Street - San Francisco, CA 94105-1639 - (415) 538-2300
845 S. Figueroa Street - Los Angeles, CA 90017-2515 - (213) 765-1500

きじゅつもんだい

2016年2月 カリフォルニア州

司法試験

本書は、2016年2月のカリフォルニア州司法試験の論文問題6問と、各問題に対する選択解答2問を収録しています。

答案には高い評点が付けられ、一読して合格した志願者が書いたものである。解答は、読みやすくするためにスペルや句読点に若干の修正を加えた以外は、応募者が提出したものをそのまま作成しました。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

<u>質問番号</u>	<u>主題</u>
1.	トラスト
2.	トーツ
3.	プロフェッショナルの責任
4.	レメディ
5.	エビデンス
6.	契約内容

QUESTION 1

未亡人のWendyは、都会に家を持ち、田舎に牧場を所有していた。彼女は有効な生前信託を作成し、自分と娘のドットを共同受託者に指名し、自分が署名して共同受託者である自分とドットに交付する文書によって、いつでも信託を取り消したり修正したりする権限を持つことを規定した。Wendyの死後、Dotが唯一の受託者となり、Wendyの妹であるSisのために、Sisが死ぬまで資産を信託するように指示された。シスの死後、信託は終了し、全資産がドットに分配されることになっていた。信託の唯一の資産は、Wendyの牧場であった。

数年後、ウェンディは有効な遺言を作成し、その中で「私はここに、以前設定した信託を取り消し、私の家と牧場を息子のサムに信託し、私の兄ボブの利益のために信託する」と述べた。私の死後5年で信託は終了し、信託に残っている資産はすべてサムに直接分配されるものとする。"

ウェンディが亡くなった。彼女の死後、ドットもサムも彼女の遺書を見つけ、驚きました。

ドットは生前贈与信託の受託者を拒否しており、その結果、信託は破綻し、牧場は直ちに自分に贈与されるべきであると主張している。

サムは遺言信託の受託者を務めることに同意し、牧場は信託の一部であると主張する。そして、Samは家を公正な市場価格で個人の立場で自分に売却し、信託の全資産を自分の新しいビジネスであるSam's Solarに投資する。ボブは、家の売却とサムの投資について異議を唱える。

1. ドット、サム、ボブは、家や牧場でどのような関心を持っているのでしょうか。話し合みましょう。
2. サムが遺言信託の受託者として違反した義務があるとするれば、それはどのようなものであり、ボブが彼に対して有する救済措置があるとするれば、それはどのようなものですか。論じてください。

質問1：選択した回答A

1. どのような興味を持たれたのでしょうか？

ドット

有効な信頼関係

有効な信託は、設定者が受益者に財産（Res）を二元的に譲渡する意図を持ったときに作成される。設定者は、法的所有権を持つ受託者に財産を与え、衡平法上の所有権を持つ受益者の利益のために保持させる。信託は、例えば土地の権利を譲渡する場合など、詐欺に関する法令で要求されない限り、書面である必要はない。受益者は確認する必要があるが、受託者は確認する必要はない。信託は、取り消し可能なものと取り消し不能なものがあり、特に断りのない限り、取り消し不能と推定されます。

ここで、Wendyは、受益者が妹であることが確定している信託を作成し、自分と娘のDotを受託者として指名した。財産は牧場である。さらに、彼女は信託の中で、取り消し可能であることを明示した。事実はさらに、この信託が有効な生前信託であることを示している。

信託の取消し・終了

信託は、設定者が生きていて、信託を取り消す権利を明示的に留保している場合、取り消すことができます。それ以外の場合は、信託の重要な目的が達成された場合にのみ、信託を終了させることができます。

ここで、ウェンディは信託を取り消す権利を明示的に留保した。彼女はさらに、信託を取り消す方法を明示している。彼女は、信託を取り消したり修正したりするには、"いつでも書面で、彼女が署名し、共同受託者である彼女とドットに交付する文書によって"と述べた。ウェンディはその後、信託を明示的に取り消す有効な遺言を実行した。

を信頼することができます。これで筆記要件を満たしている。ウェンディの死亡時に遺言書が発見されたことから、遺言書はウェンディに「届けられた」と考えることができます。しかし、遺言書はドットに届けられたわけではない。ドットとサムは、ウェンディの死後、遺言書を見つけて驚いたが、その内容にも驚いたようである。ウェンディはドットに、信託の取り消しを示す他の書面を渡すことも、口頭で伝えることもなかったようだ。ドットは信託を取り消す書面を渡されなかったため、またそれが信託を取り消すことができる明確な条件の一つだったので、信託は遺言によって適切に取り消されなかったこととなります。したがって、信託はまだ有効であり、牧場の財産もまだ含まれている。

受託者の選任

信託は、受益者が確定していない場合、または現在財産がない場合は破綻します（pour-over trustを除く）。しかし、受託者が指名されていない場合や、受託者がサービスを拒否したり、受益者または裁判所によって解任される必要がある場合は、信託は失敗しません。裁判所が受託者を任命するか、受益者の投票により受託者を決めることができます。

ここで、ドットは、自分が受託者の役割を果たすことを拒否し、その結果、信託が破綻すると主張しています。これは事実ではありません。代わりに、裁判所は、姉の利益のために財産を保有する受託者を任命することになります。あるいは、姉は、誰が受託者になるかを投票することを認めるべきであると主張し、裁判所は、そのような選択肢を認めるかもしれません。いずれにせよ、信託が破綻することはありません。

残余の利息

遺留分とは、終身財産の終了に伴い帰属する将来の権利のことである。受益者が確定しており、前例がない場合に確定する。

ここで、信託には、ResはSisが死ぬまでSisの利益のために使用されることが記載されています。シスの死後、すべての財産はドットに分配される。ドットは確定しており、

その取得に先立つ条件はなく、シスの死亡と同時に直ちに取得する。

シスです。したがって、ドットは信託財産に対して既得の遺留分を有する。ドットは姉の死後、信託財産を受け取るが、それ以前には受け取らない。したがって、ドットは信託財産に対して現在の所有権を持たないが、遺留分として将来の持分を持つ。

サム

有効な意志

正式な有効な遺言は、遺言者が署名し、現在の遺言の意思（この文書を自分の意志とするつもり）を示す文書があり、その文書に署名する2人の証人が立ち会うことによって作成されます。

ここでは、証人が署名したかどうかという事実はありませんが、ウェンディが有効な遺言を作成したという事実があるので、それを前提とすることができます。さらに、それは書面であり、彼女の死を想定した現在の遺言の意思を立証するものである。

プールオーバートラスト

信託は、遺言の文言によって創設することができます。したがって、遺言者の死後、検認を通じて財産が分配されるのではなく、信託されることになります。

ここで、ウェンディは遺言で、自宅と牧場を息子のサムに "受託者として、弟のボブの利益のために保有させる" と書き、注連続信託を作成した。さらに遺言書には、彼女の死後5年後に信託は終了し、残りの資産はサムに分配されると書かれています。

具体的な工夫／注ぎ足し信託のRes

特定贈与とは、遺産の他の財産と区別できる財産の贈与のことです。

ここでは、WendyがBobの利益のために保有するために、Samを受託者として自宅を残した。Wendyは牧場も残すことを希望していたが、遺言は前の信託を適切に取り消していないため（上記の議論を参照）、牧場は現在のpour-over信託には含まれない。

法定利息の移動

法定相続分とは、明記された事象が発生した場合に、先行する相続分を切り離す（切り離す）将来の相続分である。移行型法定相続分とは、先行する譲受人を切り離すものである。

ここでは、Samの持分は、あるイベント（Wendyの死後5年）が発生した時点で、Bobの持分（先代譲受人）を切り離すこととなります。従って、Samは家に対する有効な将来権益を有している。

ボブ

現存する占有権 実行権の対象となる持分

現在所有権とは、人が財産に対して現在の権益を持っている場合です。第三者によって切り離すことができる場合は、実行支配権の対象となります。

ここで、Bobは信託財産に対して現在の所有権を持っています。法的な所有権は受託者が持っているため、彼は持っていませんが、受益者として信託の利益を受け取る権利を持っています。この権利は、ウェンディが亡くなってから5年後、サム権利によって消滅するまでの間、持っています。従って、未履行権に該当する。

2. どのような義務に違反し、どのような救済措置があるのか？

忠誠の義務

受託者としての受託者は、信託に対する忠実義務を負う。受託者は、信託受益者の最善の利益を確保するために合理的な方法で行動する義務を負っています。受託者は、信託を自己売買したり、信託受益者に不利な行動をとったりすることで、この義務に違反することがあります。

ここで、サムは信託財産の自己売買を行った。彼は個人の資格で自分自身に家を売ったのです。公正な市場価格で売却したとはいえ、これは忠実義務違反である。受託者が自己売買を行うことは、信託にその旨が明記されていない限り、決して合理的とは言えず、受益者にとって公正でなければならない。ここでは、自己売買を行う権限は、信託の中で明確に与えられていなかった。彼はさらに、信託の資産を自分のビジネスに投資することで、自己売買を行いました。家を自分に売り、資産を自分のビジネスに投資することで、サムは忠誠の義務に違反したのです。

注意義務

受託者はまた、信託の世話をする際に、合理的な人がするように行動する義務を負っています。受託者は、自分が持っている特別なスキルを使用し、信託財産を自分のものとして扱い、その世話をする義務がある。

ここで注意義務が破られたのは、受託者が信託の資産を自分自身に売却することは合理的でないからです。さらに、信託財産の全資産を単一の事業に投資することは不合理である。

投資の義務

コモンローでは、受託者は、承認された特定の投資リストに限定されていました。現在では、受託者は損失のリスクを分散するために投資を分散することが求められ、ポートフォリオ全体が考慮されるようになりました。

ここで、サムは投資先を分散させませんでした。彼は信託財産をすべて1つの事業に投資した。これでは、損失のリスクを分散することができません。事業が失敗すれば、信託は全資産を失うこととなります。サムはこの義務に違反したのです。

公平性の義務

受託者は、現在の受益者と残余の受益者が公平に扱われるように、信託資産のバランスを公平にとる義務があります。現在の受益者は収入を、将来の受益者は元本を受け取る権利があります。受託者は、投資を行う際に、収入と元本のバランスを取り、一方が急激に増加し、他方が減価することがないようにしなければなりません。

ここでサムは公平性を欠いた。彼は信託財産を自分に売却し、そのすべてを自分のビジネスに投資しています。これは高収入をもたらすかもしれないし、そうでないかもしれない。たとえこれがボブの利益になるとしても、サムは公平な立場で投資を行い、収入や元本を極端に減らさないようにする義務があります。彼はこの義務に違反したのです。

受益者への情報提供義務

また、受託者は、信託財産を含む重要な決定について、受益者に合理的な情報を提供する義務を負っています。

ボブは知っていて、家の売却と投資に反対している。サムが行動を起こす前にこのことを彼に伝えたかどうかは不明である。もしそうでなければ、受益者に情報を提供し続けるという義務に違反したことになります。

管財人としての解任

義務に違反した受託者は、受託者として解任されることがある。受託者は、死亡や能力喪失などの他の理由や、受益者との間に深刻な対立が存在する場合にも解任されることがあります。

ここで、**Sam**は上記のように多くの義務に違反しています。したがって、ボブは彼を管財人として解任するよう求めることができ、裁判所もそれを承認する可能性が高いでしょう。

金銭的損害賠償

受益者は、義務に違反した受託者に対して金銭的損害賠償を求める権利がある。受益者は、義務違反がなければ信託が受けることができたはずの損害賠償を求めることができます。その代わりに、受託者から不当利得の損害賠償を得ることができるかもしれません。

ここで、ボブは、サムが家の売却や事業への投資で得た利益を得るか、家の全価値を取り戻すかのどちらかになると思われます。

質問1：選択した回答B

1. ドット、サム、ボブは、家や牧場にどんな趣味を持っているのでしょうか？

ファースト・インター・ビボス・トラスト

生前信託は、贈与者の生前に作成されます。私的明示信託と慈善信託の2種類がある。付与者が唯一の受益者である場合、付与者が財産を手放すつもりであることを示す何らかの表示が必要である。ここでは、Wendyが有効な生前信託を作成したことを示す事実がある。

プライベート・エクスプレス・トラスト

私的明示信託とは、付与者が1人以上の確実な受益者の利益のために信託を設定するものである。この信託は、有効な信託の要件に従わなければなりません。

ここでは、Wendyが生前に信託を作成した。受益者はSisとDotである。したがって、シスとドットは確認可能な受益者であるため、これは私的明示信託である。信託の要件に適合しなければならない。

ヴァリッドトラスト

有効な信託には、(i) 付与者、(ii) 信託を設定する意図、(iii) 確認可能な受益者、(iv) 受託者、(v) 信託財産 (res)、(vi) 有効な信託目的、が必要です。

付与者

付与者は、信託を作成する人です。

ここで、ウェンディは信託を作成した人であり、そのため、گرانサーとなる。

信託の作成意図

付与者が信託の設定を意図していることが必要です。

ここでは、ウェンディが有効な生前信託を作成したことを示す事実がある。したがって、信託を作成する意図がある。

確実な受益者

信託には、信託財産を譲渡することができる受益者が確認できる必要があります。

ここでは、**Sis**と**Dot**が受益者である。したがって、確実な受益者が存在する。

トラスティ

信託には受託者が必要ですが、設定時に受託者がいなくても、無効な信託は成立しません。その代わりに、裁判所が受託者を選任することになります。

ここでは、ウェンディとドットは共同受託者である。したがって、この信託には受託者がいる。

信託財産

信託は、信託財産を持たなければなりません。これは有形または無形資産であり、土地財産を含むことができます。

ここでは、信託財産はウェンディーの牧場である。したがって、信託は適切に積立されている。

信託の目的

信託は、有効な信託目的のために作成されなければなりません。一般に、違法でない限り、どんな目的でも有効です。

ここでは、信託はシスとドットの利益のために作成されています。したがって、有効な信託目的が存在する。

遺言による信託の取消し

一般に、信託は、付与者が信託を修正または終了する権利を明示的に留保しない限り、取消不能であると推定される。

ここで、ウェンディは、文書に署名し、受託者である彼女とドットに交付することを条件に、いつでも信託を取り消しまたは修正する権利を書面で明示的に留保しました。ウェンディは実際に、以前に設定した信託を取り消すという内容の有効な遺言を作成し、信託を取り消そうとした。

ドットは、信託が取り消されていないことについて、2つの主張をする。まず、共同受託者として、信託を取り消すためには、自分とWendyの間で全会一致の合意が必要であると主張することである。しかし、取消権は付与者にあるため、この主張は成り立たない。このことは、付与者が受託者でもあるかどうかには関係ありません。したがって、ウェンディは自分自身で行動することができたのです。

ドットの第2の主張は、ウェンディが信託を取り消すための指示に従わなかったというものである。信託には、署名された文書を共同受託者であるウェンディとドットに交付する必要があると書かれています。しかし、ドットはウェンディが亡くなったときに遺言書を発見して驚いた。

したがって、信託が適切に取り消されたかどうかについては議論の余地がある。もし裁判所が信託の原文に記載された指示を厳密に読むことを選択した場合、ウェンディが署名した文書をウェンディとドットの両方に届けなかったため、信託は撤回されなかったと判断する可能性があります。したがって、信託は依然として有効であり、ドットは、信託に規定されているとおり、姉が死亡した時点で牧場を受け取る権利を有することになります。

受託者終了のお知らせ

前述したように、信託は、受託者がいないからといって終了するわけではありません。受託者が指名されていない場合、または受託者が受託者を希望しない場合は、裁判所が受託者を指名することになります。

ここで、事実は、ドットが管財人を務めることを望んでいないことを示している。した

がって、裁判所は代わりに1人を選任することになります。

したがって、信託が破綻し、ドットに牧場を与えるべきだというドットの主張は誤りである。その代わりに、信託の任務を遂行するための受託者が任命されることとなります。牧場はシスが亡くなるまでシスの利益のために信託されることとなります。その時、ドットは牧場を受け取ることとなります。

遺言信託

遺言信託は、付与者の遺言で作成されるものです。遺言が執行された州のすべての遺言の要件に準拠する必要があります。

ここで、事実は、ドットが新しい信託を
成する有効な遺言を実行したことを示す。

作
前

述したように、信託は特定の要件にも適合する必要があります。

信託の要件

有効な信託には、(i) 付与者、(ii) 信託を設定する意図、(iii) 確認可能な受益者、(iv) 有効な信託目的、(v) 信託財産、および(vi) 受託者が必要です。

ここでは、ウェンディは信託の作成者であり、遺言にあるようにそうすることを意図していた。**Bob**は有効な確認可能受益者である。**Bob**と**Sam**の利益のために信託を維持することは、有効な信託目的です。信託財産はありますが、前述の通り、ウェンディが以前の信託を適切に取り消せなかったため、牧場はこの信託に含まれないと思われます。しかし、牧場がなくても、家は信託財産に含まれ、信託財産の要件を満たしています。最後に、受託者であるサムがいます。

このように、ウェンディは有効な遺言信託を作成しましたが、それは家を信託財産として保持するだけです。

処分する。

ランチです。

最初の信託が有効に取り消されなかったため、牧場はまだ最初の信託で保有されています。新しい受託者が任命され、シスの生涯の利益のために信託される予定である。シスの死後、ドットは牧場の残りの資産を受け取ることになります。

家です。

家はボブのために信託されるべきで、5年後には家はサムです。

II. サムが遺言信託の受託者として違反した職務があるとすれば、それはどのようなものであり、ボブが彼に対して有する救済措置があるとすれば、それはどのようなものですか。

評議員の職務

受託者は、信託財産を保護し、受益者の利益のために保有することを任務とします。受託者は、信託の条件に従って信託財産を分配しなければなりません。受託者は、受益者に忠誠と配慮の義務を負わなければならない。

受託者は、信託財産を保護し、受益者の利益のために保有することを任務とする。受託者は、受益者に忠誠と配慮の義務を負います。受託者は、信託財産を信託に従って分配しなければならない。従来は、受託者が信託に対して負うべき法定義務のリストが列挙されていました。現在では、「合理的な判断力を有する者が行うよう行動すること」が基準となっています。

忠誠の義務

受託者は、信託に対して忠実な義務を負っています。受託者が信託の利益よりも

自分の利益を優先させた場合、この義務は破られる可能性があります。具体的には、自己取引によって破られる可能性があります。

セルフディーリング

受託者は、自己取引によって忠実義務に違反することがあります。これは、受託者が自己の利益のために信託財産と関わり、利益を得る場合に起こる。自己売買は忠実義務に対する明白な違反である。自己売買が証明されれば、それ以上の質問はありません。自己売買が信託にとって有益であったか、公正な市場価格であったかは問題ではありません。さらに、信託が自己売買を認めたとしても、それは合理的でなければならない。

家です。

ここで、サムはウェンディの第二信託の受託者である。彼は家を公正な市場価格で自分自身に売却した。これは明白な自己取引である。前述したように、サムが家を公正な市場価格で売ったというのは弁護の余地がない。

信託財産です。

彼は家を自分で売るだけでなく、信託の全資産を自分の新しいビジネスに投資したのです。これもパーシー・セルフディールの一例である。

したがって、サムは忠実義務に違反した。

善管注意義務

受託者は、合理的に慎重な人がするように行動しなければならない。受託者は、自分の行動が信託の利益のためであると誠実に信じなければならない。受託者は、合理的な判断力を有する者が行うような信託財産の売却、購入、投資に関する通常の権限を有する。これには、慎重さの義務と公平さの義務が含まれる。

分別の義務

受託者は、その状況下で合理的に慎重な人がするように行動しなければならない。受託者に特別な技能がある場合は、その技能者の基準に従わなければならない。この義務は、信託財産の投資にも及びます。

ここで、**Sam**は信託財産全体を構成する家全体を売却し、信託を終了させました。特に、合理的な慎重者は、終身受益者と遺留分権利者の利益のために信託財産を管理する使命があるため、このようなことはしないでしょう。サムは、家は5年後にどうせ自分のものになると主張するかもしれませんが、これは現在の5年間にボブに対して負うべき義務を無視したものです。また、サムは、牧場は信託の中にあると信じていたもので、信託はまだ適切に資金を供給されると主張するかもしれません。サムとウェンディの二人は遺言のことを知っており、牧場が争われていることも知っていたはずですから、この主張も失敗する可能性が高いでしょう。もしサムが本当に牧場が信託の一部であると信じていたのなら、少なくともそれが具体的に決まるまで待つべきだったのです。

したがって、サムは信託財産をすべて売却し、合理的な慎重者としての行動をとらなかったため、慎重義務に違反したことになります。

不偏不党の義務

従来、信託では、元本は遺留分権利者に、収入は終身受益者に支払われることになっていました。現代では、受託者は、遺留分権利者と元本権利者のどちらか一方を優先させるのではなく、両者の利益を均等にバランスさせることが求められています。

ここで、**Sam**は家全体を売却した。これは前述したように慎重義務違反であるだけでなく、公平義務違反であるとも言える。前述したように、ボブには今何も残っていない。終身受益者の利益は考慮されていない。

したがって、サムは公平であるべきという義務に違反したことになる。

レメディウム

建設的な信頼関係

建設的信託は、信託財産を不当に受け取った場合、法的救済が不十分であり、現在財産を保有している人が不当に利益を得る場合に、信託財産を保有している人に課すことができます。

ここでは、上記のように、サムは忠実義務および慎重義務に違反して信託財産を受け取ったため、不適切に信託財産を保有しています。さらに、その財産は家屋であるため、特殊なものと考えられ、法的救済措置が不十分である。最後に、サムは家を維持することを許され、それを本来よりも5年多く行っているため、不当に利益を得ていることになる。

したがって、裁判所はボブの利益のために家屋に建設的信託を課すことができる

。管財人の解任

受託者がその義務に違反した場合、受益者は受託者の解任を求めることができる。

ここでは、上記のように、サムは受託者の義務、特に慎重義務および忠実義務に違反した。

したがって、裁判所はサムを受託者として解任し、信託を継続する場合には別の受託者を選任すべきである。

トレース

最後に、自己売買があり資産が運用された場合、受益者はトレースにより資金の回収を求めることができます。

ここで、サムは信託財産を自分の新事業に投資した。

したがって、ボブは、これらの資金を追跡し、その回収を求めることができる。
を信頼することができます。



カリフォルニア州弁護士会
司法試験委員会／入試事務局

180 Howard Street - San Francisco, CA 94105-1639 - (415) 538-2300
845 S. Figueroa Street - Los Angeles, CA 90017-2515 - (213) 765-1500

きじゅつもんだい

2019年2月 カリフォルニア州

司法試験

本書は、2019年2月のカリフォルニア州司法試験の論文問題5題と、各問題の選択解答2題を収録しています。

答案には高い評点が付けられ、一読して合格した志願者が書いたものである。解答は、読みやすくするためにスペルや句読点に若干の修正を加えた以外は、応募者が提出したものをそのまま作成しました。ここに掲載するのは、著者の承諾を得たものである。

<u>質問番号</u>	<u>主題</u>
1.	遺言と信託 / 共有財産
2.	トーツ
3.	リアルプロパティ
4.	証拠/民事訴訟
5.	プロフェッショナルの責任

QUESTION 1

2006年、ハンクとウェンディが結婚し、非共同財産州であるX州に住んでいたとき、ハンクの給与から得たお金でX州の家とカリフォルニア州のコンドミニアムを購入した。ハンクは、家とコンドミニアムの両方の所有権を自分一人の名義で取得した。

2008年、ハンクは、死後の財産をすべてウェンディに残すという遺言を実行した。州法Xで認められているように、1人の証人だけが遺言に署名した。

2016年、HankとWendyは退職し、カリフォルニアに引っ越した。Hankは、コンドミニアムを自分と、前の結婚相手との息子であるSidに、生存権付き共同借家人として譲渡し、Sidへの贈与とした。Hankはその後、相続で得た10万ドルを有効な取消可能信託に入れ、その収入は終身Hankに、次に終身Wendyに、残余はSidに支払われることにした。

2017年、スキーでの怪我が原因で、ハンクは精神能力を失い、死の淵に立たされた。ハンクの事前の希望により、シドがハンクの保佐人に選任されました。シドはハンクの遺言書の共謀書を作成し、ステートXの家の2分の1の権利をハンクの親友のビルに与えることにしました。シドは、保佐人としてこの遺言書に署名し、適切な立会いをさせました。

2018年、Hankが死亡した。シドは、ハンクがさまざまな債権者に、州Xの家とカリフォルニアのコンドミニアムを合わせた価値よりも多くの借金があることを発見した。

1. WendyとSidは、カリフォルニアのコンドミニアムにおいて、もしあればどのような権利を有するか？議論してください。カリフォルニア州法に従って答えなさい。
2. ウェンディとビルは、ステートXの家の中でどんな権利を持っているのか、あるとすれば？議論してください。カリフォルニア州法に従って答えなさい。
3. ハンクの債権者は、信託の資産に手を出すことができるのか？議論してください。

質問1：選択した回答A

共同財産の基礎知識／概要

一般的な共有財産のルール、準共有財産の概念

カリフォルニア州は共有財産の州であり、夫婦は夫婦経済共同体（MEC）を形成しているとみなされ、カリフォルニア州に居住している間、MEC（婚姻成立時から永久分離（永久分離の意思表示とその意思に沿った行動により配偶者が一方的に影響を受けることがある）または死亡の前者まで存在する）中に夫婦またはどちらかの配偶者が取得した財産は、いわゆる「分離財産」の特定のカテゴリーに当てはまらない限り、推定的に共有財産となります。別個の財産とは、MECの前（あるいは後）に、あるいはMECの間に、どちらかの配偶者が以下の場合に取得した財産を指す。(1) 贈与、相続、遺贈、(2) SPの収入、発行、賃料、または(3) SPの資金の支出（すなわち、SPに追跡可能な財産）。

また、カリフォルニア州の制度は、いわゆる「準共同財産」と呼ばれる、取得時に夫婦がカリフォルニア州に居住していればCPとなったであろう財産を対象とします。QCPは、MECが死亡（または解散）するまではSPと同様に扱われ、CPと同様に扱われることになる。

配偶者の死亡に伴うデフォルト分割、被相続人の配偶者の遺言作成権、遺言に反する生存配偶者の権利

死亡時、有効な遺言がない場合（すなわち、被相続人配偶者が遺贈された場合）、被相続人配偶者が所有していたCPとQCPは、通常、すべて生存配偶者に相続される（被相続人配偶者のSPも1/3からすべてが生存配偶者に相続される。被相続人配偶者に子供がない場合、両親または両親の子供が生存する場合は100%となるが、今回のように被相続人に子供が1人の場合は生存配偶者にSPが半分相続される）。

しかし、配偶者は有効な遺言を作成することができ、被相続人である配偶者の遺言者が当時居住していた他の司法管轄区の法律に従って有効に作成された遺言は、カリフォルニア州の法律では有効でないとしても、検認を行うことができます。ただし、その遺言が以下のような贈与を目的としたものである場合

生存配偶者が所有するCP / QCPを放棄した場合、生存配偶者は（遺言に基づくすべての贈与を拒否する代償として）、「遺言に反して」そのCP / QCPをすべて請求できる（すなわち、被相続人の受遺者配偶者は生存配偶者の同意/承諾なしに、自分のSPとCP / QCPの1/2をすべて遺贈できる）。

ハンク&ウェンディへの応募

ここで、HankとWendyは2006年に有効な結婚をし、2016年にCAに引っ越すまでX州（非共同財産州）に住んでいました-その後、Hankは夫婦がCAに居住している間に死亡しました。つまり、2006年から2016年までに夫婦が取得したすべての財産は、一般的にQCPとなります（ただし、SPとして適格である場合を除く-SPを証明する責任はSP提案者にあります））。

さらに、Hankの2008年の遺言（州X法の下で有効に作成された）は、CA法の下で検認できる（2017年のコーディシルの効果は後述する）

この基本を踏まえた上で、次に各質問に移ります。

1. カリフォルニア・コンドミニアム

コンドミニアムのオリジナルキャラクター化

配偶者の死亡またはMECの解散時に、夫婦が最終的にCAに居住している場合、CA外に居住している間に取得した財産は、その財産を取得した時点で夫婦がCAに居住していればCPであった場合、QCPとなります。これは、QCPとされる財産がCAにある不動産であっても同様です。MEC期間中の各配偶者の賃金・給与はCPであり、そのようなCP資金を使用して取得した財産も、その財産の所有権が一方の配偶者の名義であるかどうかにかかわらず、CPである。

ここでは、Hankが自分の名義でコンドミニアムの所有権を取得したとしても、購入にはCP資金（婚姻中の給与）を使用したため、コンドミニアムはCPとなるはずですが、当時夫婦の居住地はX州であり、Hankは現在死亡しているため、QCPとして扱われます。

生前贈与の効果

QCPは、一般的に取得配偶者の死亡時（ここでは関係ありませんが、婚姻の解消時）までは、取得配偶者のSPとして扱われます。ただし、だからといって

取得配偶者が所得権、譲渡取消権、生存権を保持したままQCPを公正価値未満で生前譲渡した場合、他の配偶者は譲渡したQCPの価値の1/2を譲受人から買い戻す権利を有する。

ここでは、Hankは生存権を保持したままQCPマンションを譲渡したため、Wendyはこのクローバックスルールの下でマンションの1/2を所有する権利を有します。シドにはコンドミニアム全体を所有する権利はありません（ただし、遺留分の関係で、QCP制度がなければ、ハンクの死によってコンドミニアムの所有権は消滅し、遺言によってウェンディに渡るものではなく、シドがコンドミニアムを100%所有することになっていたはずです）。なお、これはQCPの生前贈与とは別のものであるため、「遺言に反する」ものではなく、ウェンディはCAマンションに対するこの権利を主張するために、遺言に基づく権利を否認する必要はない。

2. ステートXハウス

ステートXハウスのオリジナルキャラクター化

ルールは上記をご参照ください。

ここで、ハンクもCP資金（給料）を使ってX州の家を購入したので、X州の家もQCPとなります。

2017年版コーディルの有効性・効果

カリフォルニア州法では、遺言は、有効に執行されれば、その後のコーディルによって、その全部または一部を修正、取り消し、その他の変更をすることができます。有効に任命されたコンサーベーターは、障害者／無能力者のために遺言書やコーディルを作成することができます。

ここでは、Sidが（Hankがスキー事故で無能力になった時に）適切に保佐人に任命され、Codicilに署名し、それを適切に立会わせた（すなわち、2人の証人が同時に遺言書に署名するのを目撃し、その後署名する）ので、Hankが精神的に有能ではなかったにもかかわらず、これは、2008年のHankの遺言を変更する適切な遺言書である。

さらに、シドが保佐人としての権限を濫用して不当に自分の利益を図ったとウェンディが主張できるような事実もない。その代わりに、彼はハンクの親しい友人に贈り物をした。

と、**Hank**は**Sid**を自分の保佐人に明示的に指定したので、**Wendy**が攻撃できる「悪い事実」はない。

ウェンディーズライツ

上記ルール参照

遺言とコディシルを合わせても、ステートXの家の1/2を処分し、残りの1/2をウェンディが受け取ることを規定しているだけなので、ウェンディにはここで遺言に「対抗」する根拠（理由）がないのです。

3. 信託財産に関する債権者の権利

信託の基礎知識；信託Resの特徴

信託は、財産に関する受託関係であり、一方の当事者（受託者）が、他方の当事者（設定者／委託者）から特定の財産に対する法的所有権を与えられ、受託者は、財産に対する衡平法を有する特定の受益者の利益のために、受託者の義務に従って財産を保有します。

信託には、信託財産と受益者が確認できること、信託を設定する意図を持った設定者による設定行為（受託者への生前譲渡を含む）、義務を負う受託者（設定者と受託者の合意により選択できる、設定者が受託者を指名しないか意図した人物が辞退した場合は裁判所が受託者を指名できる）などが必要です。また、信託には有効な目的が必要です。

設定者は自己を受益者として指定することができ、信託を取り消す権利を留保することができる。生前、個人（設定者を含む）に収入を提供することは、有効な信託目的である。

ここで、**Hank**は、自身と**Wendy**を連続する生涯所得受益者とし、**Sid**を残余受益者とする有効な信託を作成した。**Hank**は信託の資金を相続財産でまかなったので、これは**SP**であり、**Wendy**の同意なしに**Hank**がお金を信託に入れる（または**Sid**を残余受益者に指定する）ことに**CP**の問題はない。

取消可能な信託の資産に手を付ける債権者の権利、取消不能となった後の信託の資産に手を付ける債権者の権利

設定者が金銭やその他の資産を信託し、取り消す権利を留保している場合、設定者の債権者は一般的にこれらの資産に手を出すことができます。ただし、生前取消可能な信託は、死亡時に取消不能となる。

ここで、**Hank**の債権者は、**Hank**の生前に信託財産に手をつけることができた。もし、**Hank**に対して判決を得れば、**Hank**の様々な資産（その中には、**State X House**や**CA Condo**の持分も含まれる）に対して動くことができたはずである。しかし、ここでは債権者は速やかに行動していません。**Hank**の遺産は信託の持分を持たず、**Wendy**が終身所得持分を持ち、その後**Sid**が残余の持分を持ちます。したがって、**Hank**の債権者は信託財産に手を出すことはできない。

しかし、上述のように、**State X**の家は**Hank**の遺産が所有しており、**Wendy**と**Bill**に1/2ずつ渡る予定である。債権者はその資産に対して動くことができると思われる。

質問1：選択した回答B

1. カリフォルニアのコンドミニアム-Wendy & Sid

の権利 有効な遺言書

遺言は、次のいずれかの法律に準拠している場合、カリフォルニア州において有効とみなされます： (i) カリフォルニア州。

(ii) 遺言が執行された州、または (iii) 被相続人の死亡時の本籍地がある州である。Hの遺言はX州で執行され、遺言に署名する証人が一人しかいないX州の法律では、遺言は有効であった。したがって、ハンク (H) の2008年の遺言は、2人の証人を必要とするカリフォルニア州の法律では無効であっても、遺言が執行された州 (X州) の法律に準拠しているため、カリフォルニア州で有効である。

共同財産法

カリフォルニア州は、共同財産法 (community property state) である。共同財産法の下では、婚姻経済共同体 (MEC) は有効な婚姻によって始まり、配偶者の死亡、離婚、または永久別居によって終了します。婚姻中に得た財産、および婚姻中の配偶者の労働と賃金は、共同財産 (CP) である。結婚前、または永久的な別居後に得た財産は、分離財産 (SP) とみなされます。結婚前または結婚中に贈与、相続、deviseによって得た財産もSPとみなされます。形が変わっても性格が変わるわけではないので、SPのみで取得した財産もSPとみなされます。準共同体財産 (QCP) とは、婚姻中に配偶者が非CP州に住んでいた時に取得した財産で、配偶者がカリフォルニアに住んでいたならばCPとみなされたはずのものです。QCPは、権利のある配偶者の死亡時または離婚時にその分類を受けますが、それ以前の財産は非CP州の法律が適用されることになります。QCPは、CPと同様に離婚時に分割されます。

ハンク (H) とウェンディ (W) は、非CP州であるX州で2006年に結婚した。カリフォルニアのコンドミニアムは、HとWが結婚した後、つまり結婚中に購入された。しかし

HとWはカリフォルニアのコンドミニアムを購入したとき、非CP州に住んでいたが、この財産は婚姻中に取得したものであるため、配偶者がカリフォルニアに住んでいればCPとみなされたであろう。したがって、2018年のHの死亡により、コンドミニアムはQCPとなった。しかし、Hの死亡前、コンドミニアムに対するHとWの権利は、X州法に準拠したままでした。

Hは、家とコンドミニアムの両方の所有権を自分一人の名義で取得した。これが州Xで有効であったと仮定すると、Hはその後、その不動産がまだQCPに分類されていなかったため、生前、その不動産の持分を自分とSidに譲渡することができました。しかし、Hが死亡すると、その不動産はQCPに分類されるようになり、Wが遺言の条件に基づいて取得するのではなく、CP法のシェアを取ることを選択した場合、Wの権利のために共有財産として扱われることになる。

a) SID

ジョイントテナンシー

共同借地権は、所有の単一性、移転の単一性、利益の単一性、時間の単一性という4つの単一性を持つという特徴がある。つまり、有効な共同借地権が存在するためには、借地人がすべての財産を一緒に所有する権利を有し、それらの権利を同じ譲渡証書で、同じ時期に等分に受けなければならない。遺留分の権利は、証書中の明示的な文言によってのみ創出される。不動産の持分を譲渡するために対価は必要ない。生存権は、他者が死亡した後、生存する借主に不動産の全権利を帰属させるものである。

Hは、コンドミニアムを自分とSid (S) に生存権付き共同借家人として譲渡した。Hは、同じ譲渡で同時にこれらの権益を設定した。したがって、HがSidに半分、自分には残りの半分の持分を与えたと仮定すると、HとSは、Hが生存権付きジョイント・テナントであることを明示する文言を含む限り、生存権付きジョイント・テナントとして有効であったと言える。

Wが遺言の内容に基づいて、遺留分の代わりに取得することを決定した場合、遺留分の権利はSが全持分を取得することになるので

は、遺言で贈与することはできません。Hの死亡によりHの持分はSに帰属するため、Sは遺族共同借家人として condominium を単純絶対的に所有することになります。SはMECの一員ではなく、Hの債務に対するその他の責任もないため、この場合、債権者は不動産を奪うことはできない。

しかし、WがCP法に基づいて強制的に遺留分を取ることにした場合、マンションを取ることができますが、CPが責任を負い、マンションはQCPとなり、分配や債権者の満足のために事実上CPとして扱われるため、後述のようにHの債権者の請求の対象となる可能性が高いと考えられます。

b) ウェンディ

配偶者の持分

配偶者が死亡した場合、配偶者は死亡した配偶者の遺言の内容で取るか、遺留分を取るかのどちらかを選択することができます。カリフォルニア州では、遺言による選択的相続分はありません。むしろ、共同財産法が分配を定めています。

共同財産法での選択

カリフォルニア州の遺留分法では、配偶者は、亡くなった配偶者の共有財産に対する1/2の権利に加え、生き残った配偶者のCPに対する1/2の権利、合計でCPのすべてを含む遺留分を取得します。さらに、死亡した配偶者に偶数人、親、親の偶数人が生存している場合、生存配偶者は死亡した配偶者の別居財産の半分を取得します。

Hの遺族は息子Sの1人のみであるため、Wがこのオプションを選択した場合、WはCPの全てとHのSPの半分を受け取る権利がある。上述および後述するように、 condominium と州Xの家の両方は、Hの死亡時にQCPとみなされます。したがって、Wは、州Xの家屋と condominium の両方を含むCPの全てと、信託の持分の1/2（\$50,000相当）をHのSPとして取得することを決定できる。

遺言のもと

Wが遺言の条件で取得することにした場合、遺留分によりマンションはすべてSに帰属するため、Wはマンションに対する持分を受け取らない。

配偶者のホームステッド権

遺言書の検認において、配偶者は、遺された配偶者のホームステッドを認めるよう裁判所に申し立てることができ、実質的に配偶者が実家に住み続けることができるようにすることができます。

カリフォルニアのコンドミニアムがHとWの実家であった場合、Wはそれをホームステッドとして認めるよう裁判所に申し立てることができます。しかし、WがCPの取り分を取らない場合、Sはコンドミニアムに対する有効な利益と請求権を持つことになり、裁判所はその申し立てを認めないだろう。

2. ステートXハウス - ウェンディ&ビルの権利

a) 別個の財産としての分類

(i) 共同財産の推定

上記のルールを参照してください。

HとWは結婚中、非CP州に住んでいるときに家を購入した。したがって、タイトル配偶者であるHが死亡したため、Hの死亡時にX州の家屋はQCPと推定されます。Hの遺産が、家の購入に使われた資金をHの結婚前の収入と突き合わせることによって、証拠の優劣によってこの推定を覆すことができない限り、結婚中の配偶者の収入はCPであるため、州Xの家はQCPと正しく推定されることになるでしょう。また、CPの資金で得た財産もCPとみなされる。

しかし、一般的な共同財産推定のような一般的な推定は、以下に挙げるような特別な推定を適用することで覆すことができます。

Hの遺産、またはビル、あるいはその両方は、裁判所がその不動産をHのSPと推定すべきであると、特別名義推定を適用すべきであると主張する可能性があります。

(ii) 特別な共同財産の推定

Wは、特別な共同財産の推定に基づき、離婚または配偶者の死亡時に共同で保有されている財産はCPであると推定される、と実りのない反論をするかもしれません。この推

定は、明確かつ説得力のある証拠によって反証することができます。しかし

というのも、HとWはHの死亡時にX州の家もカリフォルニアのマンションも共同で所有していなかったため、この推定は適用されないからである。

(iii) 特別なタイトルの推定

離婚または配偶者の死亡により、財産はタイトルに記載されたとおりに保有されていると推定されます。この推定は、明確かつ説得力のある証拠によってのみ反証される。カリフォルニア州では、CPのように、タイトルに記載されていない財産を保有する配偶者の意図を示す証書やその他の文書の明確な文言によって反証されなければならない。

不動産がHの名義だけで所有されていたため、裁判所は、明確な文言がない限り、夫婦がこのように不動産を所有することを意図していたと推定する。証書やその他の文書に、HとWが不動産を両名で、あるいはCPとして保有する意図を示す明確な文言がないため、Wはこの推定を覆すことができず、その不動産はHのSPとみなされることとなります。

したがって、裁判所は、州Xの家はHのSPであり、したがって、Wの同意や知識がなくても、遺言によって適切に遺贈することができるかと推定すべきです。しかし、Wがカリフォルニア州共同財産法に基づいて強制的に取り分を取ることを選択した場合、WはHのSPの1/2を受け取る権利がある。

b) 遺言により別個の財産として贈与される

2017年 コーディック

先行する遺言は、コーディックなどの後続の証書によって、その全部または一部を取り消すことができます。

コンサバターによる

遺言者に遺言能力がない場合、裁判所から命じられれば、保佐人は遺言を作成することができます。保佐人は、無能力者に対して受託者としての義務を負っています。無能力者は、無能力になる前に、自分の保佐人として機能する人を指名することができます。

Hは、事前の希望として、Sを指名した。したがって、Sの指名は有効であった。Sは保佐人として、Hの財産の処分と管理について、Hの最善の利益のために行動することが要求された。この役割に従って、SはHの事前の遺言の成案を実行した。Hの2008年の遺言に対する2017年のコーディシルは、ステートXハウスの1/2の持分をビルに譲渡した。

しかし、Sは裁判所からそのように命じられたわけではない。ビルはHが無能力になる前の親友でもあったようなので、Hの前の遺言を変更するSの行為が、Hの可能性の高い意思によって支持されていると示唆する事実はない。この遺言は、Hの全財産をWに残し、ビルはステートXの家の1/2の持分を与えられているので、矛盾によってHの前の遺言を暗に取り消すものである。

Wが遺言ではなくCP法に基づいて遺留分を取ることにした場合、前述のように州Xの家はQCPとみなされるため、Billには1/2の持分が認められません。

しかし、Wが遺言の内容で取ることにした場合、Bは州X家の持分1/2を受け取ることになる。

不当な影響力 - 秘密保持関係

遺言者と秘密関係にある者が遺言作成に参加し、不自然な逸出が生じた場合、不当な影響力の推定が生じる。Wは、Hが無能力になったとき、SはHに受託者としての義務を負っていたため、SはHと秘密関係にあったと主張できる。しかし、Sは、ビルがHの親友であったことから、ステートXの家の持分の1/2をビルに贈与することは自然であり、不自然な贈与は生じないと正しく反論することができるだろう。

したがって、Wは、このような理由で、裁判所を説得して成約を却下させることに成功する可能性は低いでしょう。

代わりに - 遺言によるWの権利

遺贈受益者は、他のすべての贈与が満たされた後、遺言者の遺産に残っているものを受け取ります。

Wが共有財産法の下で自分の取り分を強制することを選択しない場合、彼女はカリフォルニアのコンドミニアムを所有しませんが、ビルに譲渡されなかったステートXハウスの残りの1/2の持分を受け取ることができます。もし、裁判所が遺言書の強制執行ができないと判断した場合、Wは遺言書の遺留分受益者であるため、ステートXハウスを単純絶対で受け取ることになります。しかし、コンドミニアムと家は、Hの債務を満たすためにHの債権者に取られる可能性の方が高いです。従って、債務が満たされた後に信託の一部が残らない限り、Hは実際には何も得られない可能性が高い。

3. ハンクの債権者 - 信託内の資産に手を伸ばす能力 信託の源

泉。分離された財産

上記のルールを参照してください。Hは相続により\$100,000を取得したため、婚姻中に取得したとはいえ、\$100,000はHのSPとみなされることになります。したがって、信託で与えられる利益は、配偶者は共同財産の管理・支配において誠実かつ公正な取引という最高の義務を負うが、配偶者の別個の財産については同じではないため、Hの裁量に委ねられた。

債務に対する責任

MECは、婚姻前および婚姻中に発生した配偶者の債務について責任を負います。ただし、配偶者のSPは、他方の配偶者が婚姻前に負った債務について責任を負いません。

事実によれば、Hは様々な債権者に、州Xの家とカリフォルニアのコンドミニアムの価値を合わせた以上の債務を負っている。MEC、ひいては共有財産の全てがこれらの債務を支払う義務を負うことになる。さらに、遺産を清算する際には、債権者が最初に支払われ、それに応じて遺言者の債務を満たすために、あらゆる贈与が比例的に減額されることになります。したがって、債権者は、州Xとカリフォルニア州Condoの両方を取得することができることになります。この場合、Billへの贈与は、債務のために減殺されるか消滅するので、発生しないことになります。

Hの1/2の持分がSに自動的に帰属するため、Sの持分に到達することはできず、したがって、カリフォルニアのコンドミニアムは債権者に到達することはできない。

を死亡させる。住宅ローンなどマンションそのものに関連する債務があれば、Sがその債務を引き受けることになる。

信頼に応える力

債権者は、信託に属する人の持分を、それが自由に疎外できる場合、設定者が信託を取り消す権利を保持していた場合、または信託の資産が現在の受益者の要求に従う場合、到達することができます。

Hは信託を取り消す権利を保持していたため、Hの死後、債権者が到達できる信託の権益を有していた。しかし、上述のように、MECはHankが負担した債務についても責任を負うため、債権者はCPに手を伸ばすことができる。Wが遺言の条件ではなく、CP法に基づいて遺留分を取ることを選択した場合、彼女は信託にある\$100,000のうち\$50,000をHのSPの1/2として受け取る権利を持つこととなります。債務の一部が生活必需品や共同体の利益のために発生した場合など、彼女のSPにも債務がある場合、終身賃借人として信託から支払いを受ける権利があるため、債権者は彼女の持分に手を付けることができます。